職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月	日 校長名	<u> </u>			所在地		
静岡デザイン専	門学校	昭和51年3月30)日 久保田	₹ 〒	420-08		岡市葵区鷹匠2丁目19	番15号	
設置者名	i	設立認可年月	日代表者	名		(電話) 054-252	<u>2−1766 </u>		
学校法人 静岡理工科:	•	昭和27年3月3	日 杉浦 1	雪	420-8	538 静岡県静 (電話) 054-200	岡市葵区相生町12番18 D-3333	3号	
分野	=3 D/L	定課程名		認定学科			専門士		度専門士
服飾•家政		家政 専門課程		ッションビジ		-	平成10年文部省告: 第179号		
学科の目的	ショップ						進等ファッション業界全線 、業界での即戦力となる		
<u>認定年月日</u> 修業年限	昼夜	- Z月 Z9 ロ 全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	講	美		演習	実習	実験	実技
2	昼間	1980時間	330日	計問		1110時間	540時間	0時間	0時間
生徒総定		生徒実員	留学生数(生	走実員の内	専·	任教員数	兼任教員数		単位時間 総 教員数
40人		55人	0人			2人	22人		24人
学期制度		4月1日~9月30 10月1日~3月31				成績評価	■成績表: ■成績評価の基準・方: 学期末までに課題提出 度等を合わせ、60点以	または試験を実	
長期休み	■夏	始:4月1日~4月1季:7月28日~8月 季:7月28日~8月 季:12月23日~1月末:3月15日~3月	29日 3 5日			卒業·進級 条件	■必須科目の成績評価 ■年間出席時限数が年 ■学納金が未納でない	F間消化時間の8	
学修支援等	■個別相 新入生に な面談を を行った		始めとして、在校生に 犬況を確認したり、学			課外活動	■課外活動の種類 校内球技大会、国内研 は中止) ハロウィンイベント、クラ ■サークル活動: ■国家資格・検定/その	ラブ活動、ボランデ 無	
就職等の 状況※2	等 ■ 就職において 第 業職におり 単一 本就職職者 ■ 本 を 学 者 ■ ・ ・ 進 ■ ・ ・ 進 ■ ・ ・ 進 ■ ・ ・ 進 ■ ・ ・ 進 ■ ・ を ・ を する を する	指導内容 れの適止を見極め、 請座の実施、面接持 者務望者数 者を 部に占める就職者の 也数: 0人	93.3	で行つ。	774	主な学修成果 (資格・検定等) ※3	(令和3年度卒業年次生に影査格・検定名 AFT色彩検定3級 ハーソナルカラー検定初級 フアジュング検定3級 ※種別の欄には、各資・のずれかいに該当するか・①国家資格・検定のうちるもの。③その他(民間検定等) ■自由記述欄ワールドストアパートナ東海地区学生接客ロー	種 受験者数 ③ 16人 ③ 17人 ③ 17人 ③ 17人 17人 17人 17人 18記載する。 5、修了と同時に 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19	合格者数
中途退学 の現状	令和4年: ■中途: 進路変更 ■中退! ・休んだ: ・日頃か	4月1日時点におい 3月31日時点におい 退学の主な理由 5、体調不良のため 防止・中退者支援 当日に本人もしくは らの声掛け、定期的	のための取組 自宅に連絡し、状況を な面談を行い、学生	□4年3月31日 - 把握する。 の変化の早	入学者を 日卒業者 ・スク	を含む)	率 5.5		
経済的支援 制度	・特待生 特待生	:制度 5 : 授業料全額免除 実践教育訓練給何	寸: 非給付対象		6免除	準特待生B:授ӭ	業料の25%免除 準特行	寺生C∶授業料10	00, 000円免除
第三者による 学校評価	※有の地		○男ニ有評価: について任意記載 『価結果又は評価糸	無 吉果を掲載し	したホー	ームページURL)			
当該学科の ホームページ URL	http://w	ww.sdc.ac.jp							

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映 した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2 就職等の状況(※2)

- 「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意 し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。
- (1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
- ②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留 年」「資格取得」などを希望する者は含みません。
- ③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をい います
- ※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の 者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。 (2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について ①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

- ②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職 者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。
- (3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

ファッション流通業界に必要とされる知識・技術・業界マインドを教育課程に取り入れ、即戦力として活躍できる人材を育成するために、教育課程編成委員会を開催し、業界人、企業等の関係者の意見を踏まえ授業科目および授業時間の見直しを検討する。また、教育内容は業界のニーズにマッチするように常に見直し、教育課程およびシラバスの内容を改善している。

- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

企業関係者と学校職員が連携して教育課程の評価と改訂を適切に行い、教育内容及び学校運営の改善と向上を図る ことにより、実践的な職業専門教育を行う教育課程を編成することを目的とする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年6月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
佐藤 壽康	ショッピングセンター協会中部支部副支部長 静鉄プロパティマネジメント 取締役	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	1
小松 真人	株式会社ツヅキ	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	3
岩崎 仁志	株式会社ヒューマンフォーラム 代表取締役 社長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	3
村松 貴	株式会社 京都むらまつ 代表取締役	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	3
久保田 香里	静岡デザイン専門学校 校長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
保科 康浩	静岡デザイン専門学校 教務課長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
大場 厚始	静岡デザイン専門学校 教務課長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
菅 麻紀	静岡デザイン専門学校 ブライダル・ビューティー科 学科長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
金田 真哉	静岡デザイン専門学校 ファッションビジネス科 学科長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
カルフォ 香奈	静岡デザイン専門学校 ファッションデザイン科 学科長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
朝比奈 将人	静岡デザイン専門学校 ブライダル・ビューティー科	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
岩本 ひとみ	静岡デザイン専門学校 ブライダル・ビューティー科	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	

- ※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
- (年間の開催数及び開催時期)

年2回 (3月、8月)

(開催日時(実績))

第1回 令和3年8月3日(火) 10:00~12:00

第2回 令和4年3月29日(火) 10:00~12:00

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
- 授業計画(シラバス)の作成過程及び公表までの流れ
- 12月 ~ 次年度授業計画の策定
 - 1月 ~ 担当教員への授業計画(シラバス)作成依頼・シラバステンプレート配布・シラバスガイドライン配布
 - 2月 ~ 授業計画(シラバス)回収・チェック
 - 3月 ~ 授業計画(シラバス)訂正・公表準備
 - 4月 ~ 授業計画(シラバス)公表

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

ファッションアドバイザーがどのような職種かを体験的な授業を通して指導してもらえる企業を選定している。また、各自 が将来展望を開くきっかけとなるような指導をお願いしている。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

担当教員と企業の講師が事前に、実習内容や学習成果の評価指標等について決める。これに基づき担当教員が事前 指導を行い、企業講師に引き継ぐ。終了時には講師の評価を踏まえ、担当教員が成績評価を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科 目 概 要	連携企業等
ファッションデザイン画 Ⅱ	ドレスファッションにおける意義とルールを理解し作品並びに販売に 繋げる。	株式会社 シバタ

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

「静岡デザイン専門学校 教員研修規程」を定めており、規定に基づき、教員の資質向上、専門分野における知識・技能 の向上を図るために「専攻分野における実務に関する研修」及び「指導力の修得・向上のための研修」と認められる研 修をリサーチし、計画的に参加している。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「ファッション業界の転換点を支える 3D デザイン」(一般社団法人ファッションデザインエンジニアリング協会主 催)

期間:令和3年9月30日 対象:ファッション業界関係者

内容:ファッション業界における3D 技術の活用と、検定試験について ②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「指導力向上研修」学校法人静岡理工科大学専門学校グループ主催

期間:令和4年1月5日(水) 対象:学校所属全教員

内容:PBLによるアクティブラーニングの取り入れ方、今後入学する学生の授業運営に役立てる

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「ファッション・トレンド速報セミナー」(連携企業等:株式会社fプロジェクト)

対象:ファッション業界従事者、クリエーター、デザイナー

内容:ファッション業界の今と将来のトレンド情報を収集し、今後のファッション業界に必要なスキルを得る

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「指導力向上研修」 学校法人静岡理工科大学専門学校グループ主催

期間:未定 対象:学校所属全教員

内容: 学生指導にあたっての指導力向上のための研修を行なう。 具体的な内容は、今後検討する。

- 4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係
- (1)学校関係者評価の基本方針

「静岡デザイン専門学校 学校関係者評価委員会規約」に則り、本委員会は、本校の教育活動や自己評価結果について、自己評価の客観性・透明性を高めるとともに、学校運営の改善、教育力の向上に資することを目的とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

(2) 寺修子校に307る子校計画カイドノイン」	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念•目標
(2)学校運営	(2)教育活動
(3)教育活動	(3)教育成果
(4)学修成果	(4)学生支援
(5)学生支援	(5)教育環境
(6)教育環境	(6)学生の募集と受け入れ
(7)学生の受入れ募集	(7)教職員組織、学校運営・管理、財務、法令等の遵守
(8)財務	(8)社会貢献・地域貢献、国際交流
(9)法令等の遵守	
(10)社会貢献・地域貢献	
(11)国際交流	

- ※(10)及び(11)については任意記載。
- (3)学校関係者評価結果の活用状況
- (1)から(8)までの評価項目に対して自己評価を行い、自己評価に対して各委員より多くの意見をいただいた。これらの意見は学校評価報告書にまとめ、学内並びに学校ホームページ上で公開し、情報の共有化を図っている。 学習環境・施設環境等の改善については、優先順位をつけて適宜対応している。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
青島 千枝美	柴田千枝美事務所 代表 (卒業生)	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	卒業生
浦田 友美	静岡デザイン専門学校 後援会 会長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	保護者代表
塚本 雅英	伝馬町発展会 会長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	近隣住民代表
杉原 徹	T Design 代表	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	企業等委員
松木 徳夫	株式会社 加減乗除 代表取締役	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	企業等委員
品川 誠二郎	株式会社大丸松坂屋百貨店 静岡店 人材開発部 マネージャー	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	企業等委員
	事務局		
久保田 香里	静岡デザイン専門学校 校長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	学内委員
大場 厚始	静岡デザイン専門学校 教務課長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	学内委員
永峯 秀紀	静岡デザイン専門学校 教務課長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	学内委員
守谷 洋子	静岡デザイン専門学校 総務課長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	学内委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL:http://www.sdc.ac.jp 公表時期:令和4年6月30日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育活動、学校運営、学習成果等への理解を深めていただくため、「学校情報」並びに「学校評価報告書」をホームページ上で公開している。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	(1)学校概要、教育理念、教育目標
(2)各学科等の教育	(2)各学科の教育
(3)教職員	(3)教職員
(4)キャリア教育・実践的職業教育	(4)キャリア教育・実践的職業教育
(5)様々な教育活動・教育環境	(5)教育施設・設備、学校行事、様々な教育活動
(6)学生の生活支援	(6)学生の生活支援
(7)学生納付金・修学支援	(7)学生納付金・修学支援
(8)学校の財務	(8)学校の財務
(9)学校評価	(9)学校評価
(10)国際連携の状況	(10)国際連携の状況
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)

URL: http://www.sdc.ac.jp

授業科目等の概要

		3節・家政 専門課程 ファッションビジネス科) 令和4年度													
必	選択	自由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	時	単位数	講	演習	実験	校		専	兼	企業等との連携
0			コミュニケーション活動 Ι	有意義な学生生活を過ごすために、始業式、オリエンテーション、終業式、防災訓練、球技大会、観劇等をとおして、見聞を広げ、協調性を身につける。	1 · 通	60	2			0	0	Δ	0		
0			コミュニケーション活動 Ⅱ	有意義な学生生活を過ごすために、始業式、オリエンテーション、終業式、防災訓練、球技大会、観劇等をとおして、見聞を広げ、協調性を身につける。	2 • 通	60	2			0	0	Δ	0		
0			情報リテラシー	自分のパソコンに必要となるアプリケーションをインストールし、情報機器を連携させて活用することができるようになる。		30	1	0		0	0			0	
0			ファッションビジネス論	単に衣服を生産し販売するというだけではなく、環境問題 もふまえた人々のあり方を考え、服や着こなしに対する消 費者ののニーズを察知し、効果的な方法で消費者に提案・ 購入・満足してもらうためのビジネスである事を理解す る。		30	1	0			0		0		
0			モード史	その時々の社会環境や生活者の思いが表現される『服』というツール。歴史を紐解きながら、過去を知り、先を予見する。スタイリング提案に活かす。	1 • 通	30	1	0			0			0	
0			ファッションブランド研究	ビジネスを意識したブランド企画を行いテーマを練って独 自の発想力を養う。	2 · 通	30	1		0		0			0	
0			マーケティングリサーチ	・商品やサービスの目的を理解しマーケティング・提供価値を構築する考え方を養う。 ・取り巻く環境、市場(企業)の動き、生活者の意識の変化からニーズ・課題に気づく力を養う。	1 · 前	30	1		0		0	Δ		0	
0			ECビジネス I	現状のECビジネスの現状をを学ぶ。 実習にて、自分が普段使ってる「通販」の詳細を知る。 基礎、知識を活かして実践する。	1 · 後	30	1		0		0			0	
0			ECビジネス Ⅱ	ECビジネスの知識を「実習店舗」に活かしECショップの企画立案から開設、収支報告まで行う。	2 · 後	30	1		0		0			0	
0			デジタルマーケティング I	デジタルメディアを理解し、セルフプロモーション力を習得する。	1 · 通	30	1		0		0	Δ		0	
0			デジタルマーケティング Ⅱ	ファッション業界でのデジタルマーケティング活用事例を 理解し、就職先の業務に活かせる。 動画を活用した販売促進を行うことができる。	2 · 前	30	1		0		0	Δ		0	
0			デザインアプリケーション I	販促物を作る上での、デザインアプリillustration、 Photoshopの基礎を理解し使えるようになる。	1 • 通	60	2		0		0			0	
0			デザインアプリケーション Ⅱ	デザインアプリillustration、Photoshopの基礎を、順を 追って説明、実習の反復。1年次で習得した知識を「実習店 舗」で活かし実践する。	2 • 通	30	1		0		0			0	
0			マーチャンダイジング	アパレルショップのMD企画、販売、計数管理までの一連の流れをマーケティング流れの中ですすめていく。単に売上や利益を求めるだけでなく、利益をどのように社会に還元していくかという観点でMD企画をすすめる。	1 · 後	30	1		0		0			0	
0			VMD	店舗、売り場づくりの基本である【商品陳列】から【演出】についての一般的な知識と技術の習得。ブランドコンセプトや商品特性に基づく演出や陳列を学び、VMDを活かした店舗設計やゾーニングができる。	1 · 後	30	1		0		0			0	

0	外国語接遇	1. 接客英語の習得とロールプレイング 2. 道具としての指差し英会話になれる	2 • 通	30	1		0	0	0	
0	接客技術ⅡB	実践トレーニングによる高度な接客技術の習得し就職後は、即戦力になることを目指す。	2 • 通	30	1		0	0	0	
0	接客技術ⅡA	販売現場での即戦力となる具体的な対応手法と高度なテクニックの習得を目指す。全国ロールプレイング大会に向けた実践トレーニングを行う。	2 • 通	30	1		0	0	0	
0	接客技術 I	実践トレーニングによる基礎項目の完全習得。 セルフプロデュース力を兼ね揃えたコミュニケーション能力の 向上を目指す。	1 • 通	90	3		0	0	0	
0	セルフプロデュース	自己分析をポートフォリオ化し、自身のパーソナリティの魅力 を最大限発揮する手法を身につける。	1 · 後	30	1		0	0	0	
0	コミュニケーション技法	・販売技術や接客マナーを習得する上で前提となる、「コミュニケーション」の重要性や基本的な考え方を学び、新しく出会う人達との信頼関係を築くためのスキルを実践する。・ビジネスシーンに求められるプレゼンテーションや就職活動も視野に入れた表現スキルを、具体的にシミュレーションしながら習得する。	1 • 通	30	1		0	0	0	
0	パーソナルカラー	ファッションビジネス業界におけるカラーコーディネートの重要性・関連性に基づき、パーソナルカラーの知識を身につけ、自分ブランディングからお客様にアドバイスできる力を習得。パーソナルカラー検定モジュール1(初級レベル)合格を目指す。	1 • 通	30	1	0		0	0	
0	色彩学	ファッションビジネスに関連する仕事を遂行する上で必要とされる色彩の基礎や配色、イメージにあったカラーコーディネートを習得し、色彩検定3級合格を目指す。	1 · 前	60	2	0		0	0	
0	バイイング演習	バイヤー」という仕事 (機能) が現場でどのような役割を果たしているかをリアルに感じとってもらい、学科で学んだ知識を実際にどのように活かしていけば良いのかを学ぶ。	2 • 前	30	1		0	0	0	
0	ドレスアイテム	1、ドレスファッションのルールを理解する 2、ビジネスシーンやオケージョンによる装いを学ぶ 3、ドレスカジュアルを理解する(トレンド含む)	2 • 後	30	1		0	0	0	0
0	カジュアルアイテム	アパレル商品が豊富に流通する今日、その市場動向を決定しているのはファッションに自己の個性・時代を投影し表現しようとする「成熟した消費者」である。この「成熟した消費者」とメーカーを有機的に結びつけることのできる専門知識を習得。	1 • 前	30	1		0	0	0	
0	商品企画Ⅱ	OLMIC ようとリステナンルな阿田で正画・主座・販売まじて1 う。パーチャルショップも立ち上げるが、単にデジタル化が目 的ではなく、デジタルのメリット・デメリットを体験すること によって、消費者、企業双方にとって理想的な「リアル」と 「バーチャル」の融合の形を追っていく。	2 • 通	30	1		0	0	0	
0	商品企画 I	アパレル生産地としての静岡の歴史を知る。・OEMの業務を学びメーカーや営業職への就職活動をスムーズに行うことができる。・ビジネスによって「伝統」や「理念」を伝えることできる。	1 • 通	30	1		0	0	0	
0	ファッション経済学	1. グローバル化するサプライチェーンを経済学の視点から 理解する。 2. 経済原則と商品価格の関連性を理解する	2 • 前	30	1	0		0	0	
0	アパレル素材論	素材の基礎知識を学び、応用編では、接客コンテストに活かせる、具体的なアイテムを用いて素材感の表現、購入後の管理の仕方などを学ぶ。	1 • 前	30	1	0		0	0	
0	ファッショントレンドⅡ	パラダイムシフトの中におけるファッションの変化を理解 しながら、新時代の業界人の役割を理解する。	2 • 後	30	1	0		0	0	
0	ファッショントレンド I	世界のファッションシーン全体の動向を俯瞰して理解し、 プロの業界人として知っておくべき基礎知識を修得する。	1 • 通	30	1	0		0	0	
0	ショップディスプレイ	VMDの基礎知識を応用して、ブランドのイメージ戦略をビジュアル化する技術を身につける。自ら企画立案、計画に基づくインスタレーションを作成し、売場づくりや展示会において顧客の心を掴む発想力を訓練する。	2 · 前	30	1		0	0	0	

0	ファッションコーディネート	ファッションコーディネートの基礎知識・技術を習得し、シルエット、ディテール、色・柄、素材などが異なる複数の服や服飾雑貨を、バランスよく組み合わせて、統一したイメージをつくりあげる事ができる。	1 · 後	30	1		0		0		0	0	
0	ファッションスタイリング	①トレンドをおさえ消費者の幅広いニーズに対応可能なコーディネート提案力とは。②ドレスアイテムの着こなし+トレンドミックスの手法。③カウンターカルチャーが与えたファッションスタイルとは。	2 · 後	30	1		0		0		0	0	
0	ヘアメイク基礎	メイクの基本となるアイテムや手順を学ぶ。セルフメイクを中心に、フルメイクの基礎メイクアップを習得する。同様にヘア道具の使い方からヘアの基本を習得する。	1 • 前	30	1		0		0			0	
0	ヘアメイク応用	1年時に習得したヘアメイク技術を応用し、様々なテイストやトレンド、素材を取り入れ、活用出来る力を身につける。基礎をおさえ、自由に柔軟な発想でヘアメイク作品を制作する。	2 · 後	30	1		0		0			0	
0	ショップマネージメント I	店舗運営に必要な売上・仕入と在庫、利益等、計数管理に関する基本知識を計算演習により習得する。	1 • 通	30	1		0		0			0	
0	ショップマネージメントⅡ	店舗運営において必要な売上・仕入・在庫・利益等に関する基本知識を、実習店舗の企画・運営・終了後の分析を通し、実践的に理解する。	2 • 通	30	1		0		0			0	
0	ビジネスプランニング I	・「問題意識」をベースにした課題発見力を身につける。・企画に不可欠な要素とそれを組み立てる方法を理解する。・ベーシックな企画書の書き方(構成と表現手法)がわかる。・2年次の「ビジネスブランニングII」に向けてのヒントを得る。	1 • 通	30	1		0		0			0	
0	ビジネスプランニング Ⅱ	・ファッションだけに限らず日常生活から社会全般まで問題意 識を持って課題を発見し、そこを出発点に具体的なビジネスプ ランを組み立てる。・将来的に「起業」も視野に入れた仕事の イメージを作り、新しい価値をビジネスとして提案するプロセ スを学ぶ。	2 • 前	60	2		0		0			0	
0	実習店舗	一般消費者に向けての店舗企画・運営を行う事で今の流行や消費者動向を体感し、より就職に向けての意識を高める事が出来る。就活においての企業へのアピールとなる。	2 • 通	60	2			0		0	0		
0	キャリアプラン I	1. 次年度の就職活動に向けて、自分の特性を客観的に把握しキャリアプランを立てる。2. 就職活動の流れを理解して、活動の準備をする。3. ファッション業界の企業の選考方法を把握して、それぞれの選考に備える。	1	30	1	0			0			0	
0	キャリアプラン ΙΙ	就職活動で経験した自分の体験に、他人の体験を情報として加えることで実践力を高め、就職内定をとる。	2 • 通	30	1	0			0			0	
0	インターンシップ I	就業体験を行い就職活動に役立てることを目的とする。	1 · 後	30	1			0		0		0	
0	産学連携プロジェクト I	企業や行政との連携を図り人、物、コトの活性化を目的とする。	1 • 通	30	1			0		0		0	
0	産学連携プロジェクトⅡ	企業や行政との連携を図り人、物、コトの活性化を目的とす る。	2 • 通	30	1			0		0		0	
0	卒業研究	関連業界に関わるテーマを選定し深く研究する。 研究成果をポートフォリオとして保存する。	2 • 後	60	2			0			0		
0	卒業制作	一般のお客様に、2年間の集大成を評価して頂き、就職後の実 務経験に活用する事ができる。	2 · 通	90	3			0		0	0		
0	ファッションビジネス特別実習 I	業界に関連する知識や技術を習得するためのスポット授業をメ インとする。	1 · 通	30	1			0		0		0	
0	ファッションビジネス特別実習 Ⅱ	業界に関連する知識や技術を習得するためのスポット授業をメ インとする。	2 • 通	30	1			0		0		0	
	 												

0	研修旅行	訪問先の国や地域での文化や生活に触れ、視野を広めると ともに、異文化理解を深めることを目指す。	60	2			0		0	0		
0	色彩検定3級講座	色彩理論の基礎である配色法・伝達法・心理的作用等を確認し、色彩検定3級合格を目指した演習を行なう。	30	1		0		0			0	
0	色彩検定2級講座	3級で学習する配色やイメージについてさらにレベルアップ。ファッションやインテリア、景観色彩など各分野でのカラーコーディネートについて学習し、色彩検定2級合格を目指す。	30	1		0		0			0	
0	色彩検定1級講座	色彩実務担当者として色彩設計に携わることができるレベルの内容を学習する。色彩検定 1 級合格を目指す。	30	1		0		0			0	
0	色彩検定UC級講座	色覚の多様性に配慮した、誰もが見やすい色使い、色のユニバーサルデザインについて学習する。色彩検定UC級合格を目指す。	30	1		0		0			0	
0	パーソナルカラー(モジュール I)講座	パーソナルカラーに必要な色の基礎知識と、色を見分けるポイントを習得する。色彩技能パーソナルカラー検定モジュール I (初級)合格を目指す。	30	1		0		0			0	
0	パーソナルカラー(モジュール ΙΙ)講座	実際にパーソナルカラー診断を行なうために必要な色彩技能について学習する。色彩技能パーソナルカラー検定モジュールⅡ(中級)合格を目指す。	30	1		0		0			0	
0	ビジネス実務マナー検定講座	ビジネス社会の基本ルール(=職場常識)について学習する。ビジネス実務マナー検定合格を目指す。	30	1	0			0			0	
0	マンガ検定講座	マンガ表現の描画技術を磨き、豊かな表現力を養う。漫画 能力検定の合格を目指す。	30	1		0		0			0	
0	イラストレーター基礎講座	adobe Illustratorの基本的な使用方法について学習する。 POP制作等に展開できる力を養う。	30	1		0		0			0	
0	フォトショップ基礎講座	adobe `Photoshopの基本的な使用方法について学習する。 写真加工等に展開できる力を養う。	30	1		0		0			0	
0	イラストレーター検定講座	adobe Illustratorの基本的な使用方法及び様々な機能について学習する。Illustratorクリエイター能力認定試験合格を目指す。	30	1		0		0			0	
0	フォトショップ検定講座	adobe Illustratorの基本的な使用方法及び様々な機能について学習する。Illustratorクリエイター能力認定試験合格を目指す。	30	1		0		0			0	
0	3DCAD基礎講座	機械系または建築系の3次元CADの基本的な使用方法について学習する。`3DCADを用いた設計の基本を学習し簡単な設計図の作成能力を身に付ける。	30	1		0		0			0	
0	2DCAD基礎講座	機械系または建築系の2次元CADの基本的な使用方法について学習する。CADを用いた設計の基本を学習し簡単な設計図の作成能力を身に付ける。	30	1		0		0			0	
0	SNS活用	マーケティングにおけるSNSの活用方法について、実践的に 学ぶ。同時にSNSを活用した顧客エンゲージメント向上につ いて考える。	30	1		0		0			0	
0	写真	シャッタースピード、絞り、被写界深度など、写真の基礎 的項目を学びながら、SNS等で発信する際のビジュアル表現 について演習を行なう。	30	1		0		0			0	
0	映像編集講座	映像撮影から、その編集方法までを学習する。同時に映像 による効果的な演出方法について考え、マーケティングに 活用するための演習を行なう。	30	1		0		0		0		

			 1			1	1		-		
0	ビジネスアプリケーション	ビジネスシーンで一般的に用いられる、ワープロ・表計算 ソフトの使用方法を学ぶ。表計算については、検定試験に 挑戦する。	30	1		0		0	0		
0	デッサン演習	デッサンカ向上を目的とした講座である。それぞれのモチーフに向き合い、物の形をとらえ、表現する基本的な力を養う。	30	1		0		0		0	
0	イラストレーション基礎	様々な画材を用いたイラストレーション手法について学 ぶ。	30	1		0		0		0	
0	イラストレーション演習	イラストレーションの技術を活かした作品制作を行なう。	30	1		0		0		0	
0	ファッションデザイン画	デザイン画を描くための基礎を学習する。絵を描く事の楽しさにふれ、自身のデザインを表現する為の技術を身につける。人体の構造を学び、プロポーションを正しく理解する。	30	1		0		0	0		
0	素材研究(金属)	身近ではあるが加工には特殊な技術が必要になる金属を実際に加工し、素材としての金属の特性や特徴を理解する。	30	1		0		0		0	
0	素材研究(革)	ファッションや雑貨に使われる素材の中から革に注目し、 素材としての特性や特徴を理解し、作品を制作する。	30	1		0		0		0	
0	英会話講座	英会話の基礎を学ぶ。英会話を通じて、グローバル意識を 育み、積極的にコミュニケーションを図る力を養う。	30	1		0		0		0	
0	中国語基礎講座	中国語の基礎並びに中国文化について学習し国際理解を深 める。また、中国語による基本的な接客用語を学び、外国 人旅行客に対応した接客力を身に付ける。	30	1		0		0		0	
0	韓国語基礎講座	韓国語の基礎ならびに韓国文化について学習し国際理解を 深める。また、韓国語による基本的な接客用語を学び、外 国人旅行客に対応した接客力を身に付ける。	30	1		0		0		0	
0	心理学	心理学の基礎を学ぶことで、人の成長・発達と心理との関係、日常生活と心の健康との関係などについて理解する	30	1	0			0		0	
0	アロマテラピー	アロマテラピーの正しい基礎知識を学ぶ。癒しや美容に係 わる仕事を視野に入れ、ビューティー&ヘルスケアの知識 を深める。	30	1		0		0		0	
0	茶道	日本の伝統芸術茶道を通して、自然との関わり方を学ぶ。	30	1			0	0		0	
0	華道	日本の伝統芸術華道を通して、自然との関わり方を学ぶ。	30	1			0	0		0	
0	コピーライティング講座	情報発信をする際の言葉を創作する力を身につける。言葉によって興味を引き付ける方法を考え、創作し、発信するまでの過程を経験する。	30	1		0		0		0	
0	ラッピング講座	商業ラッピングの基礎知識を身に付け、慶弔贈答の基本的 な包装ができるようになることを目的とする。	30	1		0		0		0	
0	服飾造形基礎	人体構造や原型についての基礎知識を学び、縫製について の基礎、応用を習得する。洋服の修繕について実践も行な う。	30	1		0		0		0	
0	知的所有権講座	著作権、意匠権、商標権、不正競争防止法等の事例や法令 を通して、知的所有権に関する基本的な概念について学び ます。	30	1	0			0		0	

0	フラワーアレンジメント講座	フラワー業界の概要について学ぶとともに、様々なデザインやスタイルのバリエーションのアレンジメントを制作できるよう、生花を主に演習する。	;	30	1	0		0			0	
0	モデルウォーキング	ファッションショーを視野に入れ、モデルウォーキングを 学ぶ。美しい立ち振る舞いについて研究し、SNS用の動画発 信等の場面でも活かす。	;	30	1	0		0			0	
0	セルフプロモーション講座	グループ演習を通して、自分自身をプレゼンテーションする能力の向上を目指す。	;	30	1	0		0			0	
0	作品制作	自らの目的に合ったデザイン作品の制作を行なう講座である。ポートフォリオ作品の充実を目指す。	.;	30	1		0	0			0	
0	就職講座	就職活動に向け、自己分析を行ない、キャリア設計を行な う。同時に希望就職先に向けた対策を実施する。	;	30	1	0		0			0	
0	デザインプロジェクト活動	デザインのチカラを活かしたプロジェクト活動を行なう。	.;	30	1		0	0			0	
0	地域連携プロジェクト活動	地域団体主催のプロジェクト活動に、継続的に参加する。	;	30	1		0		0		0	
0	資格取得講座I	デザインに関する資格取得に挑戦し、自らのキャリアアップにつなげる。	;	30	1	0		0			0	
0	資格取得講座Ⅱ	ファッション・ビューティー分野に関する資格取得に挑戦 し、自らのキャリアアップにつなげる。	;	30	1	0		0			0	
0	SDGs推進プロジェクト	SDGs推進プロジェクト活動に継続的に参加し、人と環境がより良く共存できる社会の実現について考え実践する。	;	30	1		0	0			0	
0	ボランティア活動 I	地域のボランティア活動に継続的に参加することで、ボランティアマインドを体得し、人間性やコミュニケーションの向上を図る。		60	2		0		0	0		
0	ボランティア活動Ⅱ	地域のボランティア活動に継続的に参加することで、ボランティアマインドを体得し、人間性やコミュニケーションの向上を図る。	;	30	1		0		0	0		
0	インターンシップ I	関連企業等にて、1週間の職場体験(インターンシップ) を行なう。デザイン・ファッション業界の現場をりあるに 経験する。		60	2		0		0	0		
0	インターンシップⅡ	関連企業等にて、3日間程度の職場体験(インターンシップ)を行なう。デザイン・ファッション業界の現場をりあるに経験する。	;	30	1		0		0	0		
0	チャレンジプログラム I	外部コンテストや、企業とのコラボレーション、地域貢献 に繋がるイベントにチャレンジするプログラム。	;	30	1		0	0		0	0	
0	チャレンジプログラムⅡ	外部コンテストや、企業とのコラボレーション、地域貢献 に繋がるイベントにチャレンジするプログラム。	;	30	1		0	0		0	0	
0	チャレンジプログラムⅢ	外部コンテストや、企業とのコラボレーション、地域貢献 に繋がるイベントにチャレンジするプログラム。	;	30	1		0	0		0	0	
0	チャレンジプログラムⅣ	外部コンテストや、企業とのコラボレーション、地域貢献 に繋がるイベントにチャレンジするプログラム。	;	30	1		0	0		0	0	

0		外部コンテストや、企業とのコラボレーション、地域貢献 に繋がるイベントにチャレンジするプログラム。	30	1		0	0		0	0	
	合計	105科目			198	30単	位氏	寺間	(66	単	位)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
必須科目の成績評価において不可(評価点60点未満)がなく、年間出席時限数が年間消化時間の85%以上	1 学年の学期区分	2期
であり、学納金が未納でないこと。	1 学期の授業期間	18週

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月	日 校長名	í			所在地		
静岡デザイン専	門学校	昭和51年3月30	0日 久保田 名	雪里 □	F420-0	839 静岡県静 (電話) 054-25	·岡市葵区鷹匠2丁目19都 2-1766	番15号	
設置者名	1	設立認可年月	日 代表者	名		(电面) 034 232	所在地		
学校法人 静岡理工科:	大学	昭和27年3月3	日 杉浦	型 .	F420−8	538 静岡県静 (電話) 054-200			
分野	認	定課程名		認定学科	名		専門士	Ē	高度専門士
服飾•家政		家政 専門課程		ッションデー			平成12年文部省 告示第15号	L / 上 7 公 F 全 ナ ' 本 1 °	てへ面の立て士 太昭
学科の目的	のデザイ: ンスも学び	ン、パターン作成、実 <u>バ、業界のスペシャリ</u>		の販売など、	、実務能	カと技術・提案力を	、て、オリジナルブランドを立ち 兼ね備えた人材の育成を目的		
認定年月日 修業年限	平成29年 昼夜	-2月28日 全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	講	É		演習	実習	実験	実技
3	昼間	2970時間	480時	間		510時間	1980時間	0時間	0時間
生徒総定		生徒実員	留学生数(生	非実員の内	車	任教員数	兼任教員数		単位時間 総 教員数
60人		54人	0人			3人	22人		25人
学期制度		4月1日~9月30 10月1日~3月31				成績評価	■成績表: ■成績評価の基準・方法 学期末までに課題提出 度等を合わせ、60点以	または試験を実	
長期休み	■夏 ■冬	台:4月1日~4月1 季:7月28日~8月 季:12月23日~1月 末:3月15日~3月	29日 3 5日			卒業·進級 条件	■必須科目の成績評価 ■年間出席時限数が年 ■学納金が未納でない	間消化時間の	
学修支援等	■個別相 新入生に な面談を		有 応 始めとして、在校生に 犬況を確認したり、学			課外活動	■課外活動の種類 国内研修旅行、海外研校内球技大会、ハロウィア活動等 ■サークル活動:		
就職等の 状況※2	デザイナー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	講座の実施、面接持 者数 希望者数 を数 を を に占める就職者の ・ 也 数: 0人	企業とのマッチングを 指導、履歴書指導、イン 10 8 7 87.5 割合 70.0	/ターンシップ [®] の 人 人 人 外	6	主な学修成果 (資格・検定等) ※3		理する令和4年5月1日 種 受験者数 ③ 10人 ③ 10人 ③ 2人 格・検定についていない。 5、修了と同時に 大会洋裁職種	時点の情報)
中途退学 の現状	令和4年3 ■中途i 進路変更 ■中退I ・休んだi ・日頃か	4月1日時点においる 3月31日時点におい 退学の主な理由 で、体調不良、経済に が止・中退者支援 当日に本人もしくは らの声掛け、定期的	のための取組 自宅に連絡し、状況を な面談を行い、学生	□4年3月31日 - 把握する。 の変化の早	入学者を 日卒業を ・スク	音を含む) 	率 8.6 ½		
経済的支援 制度	•特待生 特待生	制度 三:授業料全額免除 実践教育訓練給何	寸: 非給付対象		6免除	準特待生B:授	業料の25%免除 準特得	∲生C∶授業料10	00, 000円免除
第三者による 学校評価	※有の均		○男ニ者評価: について任意記載 『価結果又は評価約	無き掲載	したホー	ームページURL))		
当該学科の ホームページ URL	http://w	ww.sdc.ac.jp							

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映 した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

- 「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意 し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。
- (1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
- ②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留 年」「資格取得」などを希望する者は含みません。
- ③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をい います
- ※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の 者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。 (2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について ①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

- ②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職 者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。
- (3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について、意見交換などを行い、より実践的な職業教育の質を確保することを目的として、教育課程編成委員会を設け、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。また、広く、ファッション・アパレル業界の動向や必要とする素養等を伺い、本校のカリキュラムに反映する。

- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

企業関係者と学校職員が連携して教育課程の評価と改訂を適切に行い、教育内容及び学校運営の改善と向上を図る ことにより、実践的な職業専門教育を行う教育課程を編成することを目的とする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年6月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
佐藤 壽康	ショッピングセンター協会中部支部副支部長 静鉄プロパティマネジメント 取締役	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	1
小松 真人	株式会社ツヅキ	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	3
岩崎 仁志	株式会社ヒューマンフォーラム 代表取締役 社長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	3
村松 貴	株式会社 京都むらまつ 代表取締役	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	3
久保田 香里	静岡デザイン専門学校 校長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
保科 康浩	静岡デザイン専門学校 教務課長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
大場 厚始	静岡デザイン専門学校 教務課長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
菅 麻紀	静岡デザイン専門学校 ブライダル・ビューティー科 学科長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
金田 真哉	静岡デザイン専門学校 ファッションビジネス科 学科長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
カルフォ 香奈	静岡デザイン専門学校 ファッションデザイン科 学科長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
朝比奈 将人	静岡デザイン専門学校 ブライダル・ビューティー科	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
岩本 ひとみ	静岡デザイン専門学校 ブライダル・ビューティー科	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	

- ※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
- (年間の開催数及び開催時期)

年2回 (3月、8月)

(開催日時(実績))

第1回 令和3年8月3日(火) 10:00~12:00

第2回 令和4年3月29日(火) 10:00~12:00

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
- 授業計画(シラバス)の作成過程及び公表までの流れ
- 12月 ~ 次年度授業計画の策定
 - 1月 ~ 担当教員への授業計画(シラバス)作成依頼・シラバステンプレート配布・シラバスガイドライン配布
 - 2月 ~ 授業計画(シラバス)回収・チェック
 - 3月 ~ 授業計画(シラバス)訂正・公表準備
- 4月 ~ 授業計画(シラバス)公表

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

ファッションデザイナーがどのような職種か、ファッションデザイナーとして学んでおくべきことを、を体験的な授業を通し て指導してもらえる企業を選定している。また、各自が将来展望を開くきっかけとなるような指導をお願いしている。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

担当教員と企業の講師が事前に、実習内容や学習成果の評価指標等について決める。これに基づき担当教員が事前 指導を行い、企業講師に引き継ぐ。終了時には講師の評価を踏まえ、担当教員が成績評価を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

 	(HIXICO CIGIOXIIICO CIIIX)	
科目名	科 目 概 要	連携企業等
	CADシステムの理解とアパレル業界での必要性を認識する。CADの操作の基礎を学ぶ。	AULA SEWING SCHOOL
_	アパレル業界に就職するために必要となるCADの操作スキルを身につける。これまで手で行なっていたパターン作成をCADに置き換える基本的な手順を覚え、効率化の手法を学ぶ。	AULA SEWING SCHOOL

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

「静岡デザイン専門学校 教員研修規程」を定めており、規定に基づき、教員の資質向上、専門分野における知識・技能 の向上を図るために「専攻分野における実務に関する研修」及び「指導力の修得・向上のための研修」と認められる研 修をリサーチし、計画的に参加している。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「ファッション業界の転換点を支える 3D デザイン」(一般社団法人ファッションデザインエンジニアリング協会主 催)

期間:令和3年9月30日 対象:ファッション業界関係者

内容:ファッション業界における3D 技術の活用と、検定試験について ②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「指導力向上研修」 学校法人静岡理工科大学専門学校グループ主催

期間:令和4年1月5日(水) 対象:学校所属全教員

内容:PBLによるアクティブラーニングの取り入れ方、今後入学する学生の授業運営に役立てる

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「ファッション・トレンド速報セミナー」(連携企業等:株式会社fプロジェクト)

期間:未定 対象:ファッション業界従事者、クリエーター、デザイナー

内容:ファッション業界の今と将来のトレンド情報を収集し、今後のファッション業界に必要なスキルを得る

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「指導力向上研修」学校法人静岡理工科大学専門学校グループ主催

期間:未定 対象:学校所属全教員

内容:学生指導にあたっての指導力向上のための研修を行なう。具体的な内容は、今後検討する。

- 4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係
- (1)学校関係者評価の基本方針

「静岡デザイン専門学校 学校関係者評価委員会規約」に則り、本委員会は、本校の教育活動や自己評価結果について、自己評価の客観性・透明性を高めるとともに、学校運営の改善、教育力の向上に資することを目的とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

(2)	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念・目標
(2)学校運営	(2)教育活動
(3)教育活動	(3)教育成果
(4)学修成果	(4)学生支援
(5)学生支援	(5)教育環境
(6)教育環境	(6)学生の募集と受け入れ
(7)学生の受入れ募集	(7)教職員組織、学校運営・管理、財務、法令等の遵守
(8)財務	(8)社会貢献・地域貢献、国際交流
(9)法令等の遵守	
(10)社会貢献・地域貢献	
(11)国際交流	

- ※(10)及び(11)については任意記載。
- (3)学校関係者評価結果の活用状況
- (1)から(8)までの評価項目に対して自己評価を行い、自己評価に対して各委員より多くの意見をいただいた。これらの意見は学校評価報告書にまとめ、学内並びに学校ホームページ上で公開し、情報の共有化を図っている。 学習環境・施設環境等の改善については、優先順位をつけて適宜対応している。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
青島 千枝美	柴田千枝美事務所 代表 (卒業生)	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	卒業生
浦田 友美	静岡デザイン専門学校 後援会 会長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	保護者代表
塚本 雅英	伝馬町発展会 会長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	近隣住民代表
杉原 徹	T Design 代表	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	企業等委員
松木 徳夫	株式会社 加減乗除 代表取締役	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	企業等委員
品川 誠二郎	株式会社大丸松坂屋百貨店 静岡店 人材開発部 マネージャー	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	企業等委員
	事務局		·
久保田 香里	静岡デザイン専門学校 校長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	学内委員
大場 厚始	静岡デザイン専門学校 教務課長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	学内委員
永峯 秀紀	静岡デザイン専門学校 教務課長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	学内委員
守谷 洋子	静岡デザイン専門学校 総務課長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	学内委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL:http://www.sdc.ac.jp 公表時期:令和4年6月30日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育活動、学校運営、学習成果等への理解を深めていただくため、「学校情報」並びに「学校評価報告書」をホームページ上で公開している。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	(1)学校概要、教育理念、教育目標
(2)各学科等の教育	(2)各学科の教育
(3)教職員	(3)教職員
(4)キャリア教育・実践的職業教育	(4)キャリア教育・実践的職業教育
(5)様々な教育活動・教育環境	(5)教育施設・設備、学校行事、様々な教育活動
(6)学生の生活支援	(6)学生の生活支援
(7)学生納付金・修学支援	(7)学生納付金・修学支援
(8)学校の財務	(8)学校の財務
(9)学校評価	(9)学校評価
(10)国際連携の状況	(10)国際連携の状況
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)

URL: http://www.sdc.ac.jp

授業科目等の概要

			政 専門課程ファッションデザイン科)令和4年度 T	1	ı		177	₩ +	2+	18	ar I	±/-		_
	分類				配	授		f文:	業方	実	場	ולז	教	貝	企
必	択	自由	授業科目名	授業科目概要	当年次	業	単位	講	演	験 実	校	校	専	兼	業等と
修	必修	選択			· 学 期	時 数	数	義	習	習・実技	内	外	任	任	の連携
0			コミュニケーション活動 I	有意義な学生生活を過ごすために、始業式、オリエンテーション、終業式、防災訓練、球技大会、観劇等をとおして、見聞を広げ、協調性を身につける。		60	2			0	0	\triangleright	0		
0			コミュニケーション活動Ⅱ	有意義な学生生活を過ごすために、始業式、オリエンテーション、終業式、防災訓練、球技大会、観劇等をとおして、見聞を広げ、協調性を身につける。		60	2			0	0	\triangleright	0		
0			コミュニケーション活動Ⅲ	有意義な学生生活を過ごすために、始業式、オリエンテーション、終業式、防災訓練、球技大会、観劇等をとおして、見聞を広げ、協調性を身につける。		60	2			0	0	Δ	0		
0			服飾造形IA	服造りにおいて、縫製時に使用する基本的な道具の使い方・基礎的な手縫いのテクニック・各始末の仕方などを学習し身につける。		30	1			0	0			0	
0			服飾造形IB	服造りにおいて、縫製時に使用する基本的な道具の使い方・基 礎的な手縫いのテクニック・各始末の仕方などを学習し身につ け、手縫いで基型を補正して自身に合った原型を作る。		30	1			0	0			0	
0			服飾造形IC	基本的なタイトスカートを製図し補正して、体に合わせた原型 を作る。またそれを使用してデザイン展開されたスカートを制 作。		60	2			0	0			0	
0			服飾造形ID	シャツについての基礎知識を踏まえて、その基本構造・基本製図・合理的な縫製法を身に付ける。	1 · 後	90	3			0	0			0	
0			服飾造形IE	ワンピース製作をを通して、縫製工程の手順、素材に対する知識、副資材の扱い等の基礎を学習する。	1 · 後	90	3			0	0			0	
0			服飾造形ⅡA	パンツの基本的な構造を学び、作図・仮縫いを経て体に合わせ たパンツを縫製する。	2 • 前	60	2			0	0		0	0	
0			服飾造形ⅡB	1年次に学んだ知識と技術を応用発展させ、縫製工程を理解した上で工業用パターン、工業用技術を身につける。題材としてジャケットを製作する。	2 • 前	120	4			0	0			0	
0			ハンドテクニック	手芸テクニックを学ぶ事で、独創的なデザインに活かせる技術 の習得を目指す。	2 · 前	30	1			0	0			0	
0			パターンメイキング I	人体の構造に基づくパターンメイキングの基礎並びに立体の展開方法を学習する。さらに工業用パターン、グレーディングを身につける。		120	4			0	0			0	
0			パターンメイキング Ⅱ	パターンメイキング I を発展させ、ジャケットなどのパターン を学習し、パターンメイキング技術検定試験 3 級取得を目指 す。	2	90	3			0	0			0	
0			パターンメイキングⅢ	パターンメイキング技術検定試験 2 級取得を目標に、アパレル 企業のパターンメイキングについて学習する。	3	90	3			0	0			0	
0			ドレーピング I	立体裁断の基礎を学習し、ベーシックスローパーの組立てを身 につける。トワルの取り扱いとピンワーク〜ドラフティングを 学習する。		30	1			0	0			0	
0			ドレーピングⅡ	ドレーピングでシャツ、ジャケット、ドレーブの組立て方を学習する。パターンメイキング検定3級の実物製図と連動させ、ドレーピングの流れを学ぶ。	2 • 前	60	2			0	0			0	

0	アパレルCAD I	CADシステムの理解とアパレル業界での必要性を認識する。 CADの操作の基礎を学ぶ。	2 · 後	30	1		0	(0		0	0
0	アパレルCAD II	アパレル業界に就職するために必要となる CADの操作スキルを身につける。これまで手で行なっていたパターン作成を CADに置き換える基本的な手順を覚え、効率化の手法を学ぶ。		30	1		0	C	0		0	0
0	ファッションデザイン画 I	デザイン画を描くための基礎を学習する。絵を描く事の楽しさにふれ、自身のデザインを表現する為の技術を身につける。人体の構造を学び、プロポーションを正しく理解する。		60	2		0	(0		0	
0	ファッションデザイン画Ⅱ	新しいファッションデザインを創造するための発想方法を身につける。公募のコンクールに応募し入賞を目指すことで、ファッションデザインの感性と理解を高める。	2	60	2		0		0		0	
0	アパレル素材論	アパレル製品の重要な要素である [素材] に興味を持ち、様々な組み合わせ、最新の使いこなし方を学び、総合的な素材に関する知識を得る。		60	2	0		(0		0	
0	アパレル素材研究	『素材』は衣服を構成する要素の一つである。骨組みである他の要素とで、オリジナリティがあり、バランスの良いテキスタイルデザインを表現出来るようになる。		30	1	0		(5		0	
0	デザイン研究 I A	テーマをデザイン展開する上での考え方や実践的なアプローチの方法を学ぶ。 マンツーマン形式の授業により、伝える力を身につけていく。	1 · 後	60	2	0		(5	0		
0	デザイン研究 I B	テーマをデザイン展開する上での考え方や実践的なアプローチの方法を学ぶ。 マンツーマン形式の授業により、伝える力を身につけていく。	1 · 前	30	1	0			0		0	
0	デザイン研究 I C	テーマをデザイン展開する上での考え方や実践的なアプローチの方法を学ぶ。 マンツーマン形式の授業により、伝える力を身につけていく。	1 • 前	30	1	0		(5		0	
0	デザイン研究 I D	テーマをデザイン展開する上での考え方や実践的なアプローチの方法を学ぶ。 マンツーマン形式の授業により、伝える力を身につけていく。	1 • 後	30	1	0			О		0	
0	デザイン研究ⅡA	テーマをデザイン展開する上での考え方や実践的なアプローチの方法を学ぶ。デザインを手を動かしてカタチにすることで、アイディアを発展させることができる。	2 · 後	30	1	0		(0	0		
0	デザイン研究ⅡB	テーマをデザイン展開する上での考え方や実践的なアプローチの方法を学ぶ。デザインを手を動かしてカタチにすることで、アイディアを発展させることができる。	2 · 後	30	1	0		(0		0	
0	デザイン研究ⅡC	テーマをデザイン展開する上での考え方や実践的なアプローチの方法を学ぶ。デザインを手を動かしてカタチにすることで、アイディアを発展させることができる。	2 · 後	30	1	0		(0		0	
0	色彩学 I	色彩理論の基礎を学習する。感性を磨くと共に、色彩検定 3 級合格を目指す。	1 . 後	60	2	0		(0	0		
0	ファッション社会学 I	社会動向や文化から派生するトレンドや 実生活に包括的に拡大するファッションについて学び、業界の 基礎知識の理解を深め、創造に活かせる情報の引き出しを増や す。		30	1	0			О	0		
0	ファッション社会学Ⅱ	多様化する社会的需要に応えて、ファッションの役割と産業構 造を把握し、専門業務の紹介とともに職種選択の指針とする。	2 • 通	30	1	0		(0	0		
0	モード史	移り変わるファッションではあるが、過去のトレンドが今の流行の ベースになる事例も少なくない。知識を説得力あるセールストークに 活かすことが出来るよう事例を交えて学ぶ。		30	1	0			Э		0	
0	デザインアプリケーション I	adobe社のillustratorの基本的な使い方を、ハンガーイラスト やデザイン画を描くことによって理解する。	1	30	1		0		Э		0	
0	デザインアプリケーションⅡ	adobe社のPhotshopを使用し、自分の作品写真等を加工する技術を学習する。adobe社のIllustratorと連携し、自分の製作したアイテムをポートフォリオ(作品集)としてまとめる。		30	1		0	(Э		0	

			T										
0		オリジナルブランド 企画デザイン	ブランドディレクションの土台になる、ファッションリサーチマーチャンダイジング企画を組み立てる。以降、店頭販売に向けた運営方法を段階的に実践学習する。		30	1	0		0		0	0	0
0		オリジナルブランド パターン制作	オリジナルブランド実習における企画に沿い、販売するための サンプルパターン製作を行う。付加価値を高める縫製技術を身 につける。		90	3		0	0		0	0	
0		オリジナルブランド 生産管理	アパレル企業の『MD・デザイナー・パタンナー・生産』の職務を部分的に実践する。商品企画〜サンプル製作〜社内提案の基本的な内容や流れの理解を深める。		60	2		0	0			0	
0		オリジナルブランド サンプル制作	オリジナルブランド実習における企画に沿い、販売するための サンプル製作を行う。付加価値を高める縫製技術を身につけ る。		60	2		0	0		0	0	
0		オリジナルブランド 商品生産	オリジナルブランド実習における企画に沿い、サンプルから修正を加えて、販売するための商品製作を行う。付加価値を高める縫製技術を身につける。		90	3		0	0		0	0	
0		オリジナルブランド 運営	アパレル業界におけるSPA業態の流れを実習により総合的に学ぶ。 消費者を意識した実践的グループワークを行うことで、各部門の業務内容を理解する。	3	60	2		0	0		0	0	
0		キャリアプラン I	自己理解と個々の就職に対する意識を高める。コミュニケーション能力強化を重視し、自己アピールを実践で練習する。 社会人としてのマナーを身につけ、社会に出る準備をする。	1	30	1	0		0			0	
0		キャリアプランⅡ	自己理解と個々の就職に対する意識を高める。コミュニケーション能力強化を重視し、自己アピールを実践で練習する。 社会人としてのマナーを身につけ、社会に出る準備をする。	2	30	1	0		0			0	
0		産学連携プロジェクト	デザインの発想、素材、パターン、造形などの知識を作品製作 を通して身につける。	1	30	1	0		0			0	
0		卒業制作 デザイン	卒業制作にて制作する作品のアイディアや、背景などを発展させてデザインをする。1/2のマネキンを使用してシルエットやドレーピング、ディテールなどのサンプルを研究しデザインに繋げることを学ぶ。		60	2	0		0		0	0	
0		卒業制作 造形	縫製技術力を結集させた集大成として、「デザイン・ア・ラ・モード」にてファッションショー形式で作品を発表する。 素材の特徴を生かした扱い方や、縫製レベルを評価する。	3	360	12		0	0			0	
0		卒業制作 演出	クリエーションにおけるディレクションの集大成として「デザイン・ア・ラ・モード」にて、ショーステージと展示制作を行う。		90	3		0	0		0		
0		卒業制作 ポートフォリオ	卒業制作にて制作する作品のアイディアや、背景などをポートフォリオにまとめる。また、展示のやり方を自分たちで考えることによって、人にどう見せるかを学ぶ。	3	30	1		0	0		0	0	
	0	研修旅行	訪問先の国や地域での文化や生活に触れ、視野を広めるととも に、異文化理解を深めることを目指す。		60	2		0		0	0		
	0	色彩検定3級講座	色彩理論の基礎である配色法・伝達法・心理的作用等を確認 し、色彩検定3級合格を目指した演習を行なう。		30	1	0		0			0	
	0	色彩検定2級講座	3級で学習する配色やイメージについてさらにレベルアップ。 ファッションやインテリア、景観色彩など各分野でのカラー コーディネートについて学習し、色彩検定2級合格を目指す。		30	1	0		0			0	
	0	色彩検定1級講座	色彩実務担当者として色彩設計に携わることができるレベルの 内容を学習する。色彩検定 1 級合格を目指す。		30	1	0		0			0	
	0	色彩検定UC級講座	色覚の多様性に配慮した、誰もが見やすい色使い、色のユニバーサルデザインについて学習する。色彩検定UC級合格を目指す。		30	1	0		0			0	
	0	パーソナルカラー(モジュール I)講座	パーソナルカラーに必要な色の基礎知識と、色を見分けるポイントを習得する。色彩技能パーソナルカラー検定モジュール I (初級)合格を目指す。		30	1	0		0			0	

		パーソナルカラー(モジュール ΙΙ)講座	実際にパーソナルカラー診断を行なうために必要な色彩技能について学習する。色彩技能パーソナルカラー検定モジュール II (中級) 合格を目指す。	30	1		0	C)		0
C)	ビジネス実務マナー検定講座	ビジネス社会の基本ルール (=職場常識) について学習する。 ビジネス実務マナー検定合格を目指す。	30	1	0		C)		0
C)	マンガ検定講座	マンガ表現の描画技術を磨き、豊かな表現力を養う。漫画能力 検定の合格を目指す。	30	1		0	C)		0
)	イラストレーター基礎講座	adobe Illustratorの基本的な使用方法について学習する。POP 制作等に展開できる力を養う。	30	1		0	C)		0
)	フォトショップ基礎講座	adobe `Photoshopの基本的な使用方法について学習する。写真 加工等に展開できる力を養う。	30	1		0	C)		0
)	イラストレーター検定講座	adobe Illustratorの基本的な使用方法及び様々な機能について学習する。Illustratorクリエイター能力認定試験合格を目指す。	30	1		0	C)		0
)	フォトショップ検定講座	adobe Illustratorの基本的な使用方法及び様々な機能について学習する。Illustratorクリエイター能力認定試験合格を目指す。	30	1		0	C)		0
)	3DCAD基礎講座	機械系または建築系の3次元CADの基本的な使用方法について 学習する。、3DCADを用いた設計の基本を学習し簡単な設計図 の作成能力を身に付ける。	30	1		0	C)		0
)	2DCAD基礎講座	機械系または建築系の2次元CADの基本的な使用方法について 学習する。CADを用いた設計の基本を学習し簡単な設計図の作 成能力を身に付ける。	30	1		0	C)		0
)	SNS活用	マーケティングにおけるSNSの活用方法について、実践的に学ぶ。同時にSNSを活用した顧客エンゲージメント向上について考える。	30	1		0	C)		0
	0	写真	シャッタースピード、絞り、被写界深度など、写真の基礎的項目を学びながら、SNS等で発信する際のビジュアル表現について演習を行なう。	30	1		0	C)		0
)	映像編集講座	映像撮影から、その編集方法までを学習する。同時に映像による効果的な演出方法について考え、マーケティングに活用する ための演習を行なう。	30	1		0	C)	0	
)	ビジネスアプリケーション	ビジネスシーンで一般的に用いられる、ワープロ・表計算ソフトの使用方法を学ぶ。表計算については、検定試験に挑戦する。	30	1		0	C)	0	
)	デッサン演習	デッサンカ向上を目的とした講座である。それぞれのモチーフ に向き合い、物の形をとらえ、表現する基本的な力を養う。	30	1		0	C)		0
)	イラストレーション基礎	様々な画材を用いたイラストレーション手法について学ぶ。	30	1		0	C)		0
		イラストレーション演習	イラストレーションの技術を活かした作品制作を行なう。	30	1		0	C)		0
		ファッションデザイン画	デザイン画を描くための基礎を学習する。絵を描く事の楽しさにふれ、自身のデザインを表現する為の技術を身につける。人体の構造を学び、プロポーションを正しく理解する。	30	1		0	C)	0	
C		素材研究(金属)	身近ではあるが加工には特殊な技術が必要になる金属を実際に 加工し、素材としての金属の特性や特徴を理解する。	30	1		0	C)		0
		素材研究(革)	ファッションや雑貨に使われる素材の中から革に注目し、素材 としての特性や特徴を理解し、作品を制作する。	30	1		0	C)		0

0	英会話講座	英会話の基礎を学ぶ。英会話を通じて、グローバル意識を育み、積極的にコミュニケーションを図る力を養う。	30	1		0		0		0
0	中国語基礎講座	中国語の基礎並びに中国文化について学習し国際理解を深める。また、中国語による基本的な接客用語を学び、外国人旅行客に対応した接客力を身に付ける。	30	1		0		0		0
0	韓国語基礎講座	韓国語の基礎ならびに韓国文化について学習し国際理解を深める。また、韓国語による基本的な接客用語を学び、外国人旅行客に対応した接客力を身に付ける。	30	1		0		0		0
0	心理学	心理学の基礎を学ぶことで、人の成長・発達と心理との関係、 日常生活と心の健康との関係などについて理解する	30	1	0			0		0
0	アロマテラピー	アロマテラピーの正しい基礎知識を学ぶ。癒しや美容に係わる 仕事を視野に入れ、ビューティー&ヘルスケアの知識を深め る。	30	1		0		0		0
0	茶道	日本の伝統芸術茶道を通して、自然との関わり方を学ぶ。	30	1			0	0		0
0	華道	日本の伝統芸術華道を通して、自然との関わり方を学ぶ。	30	1			0	0		0
0	コピーライティング講座	情報発信をする際の言葉を創作する力を身につける。言葉に よって興味を引き付ける方法を考え、創作し、発信するまでの 過程を経験する。	30	1		0		0		0
0	ラッピング講座	商業ラッピングの基礎知識を身に付け、慶弔贈答の基本的な包 装ができるようになることを目的とする。	30	1		0		0		0
0	服飾造形基礎	人体構造や原型についての基礎知識を学び、縫製についての基礎、応用を習得する。洋服の修繕について実践も行なう。	30	1		0		0		0
0	知的所有権講座	著作権、意匠権、商標権、不正競争防止法等の事例や法令を通 して、知的所有権に関する基本的な概念について学びます。	30	1	0			0		0
0	フラワーアレンジメント講座	フラワー業界の概要について学ぶとともに、様々なデザインや スタイルのパリエーションのアレンジメントを制作できるよ う、生花を主に演習する。	30	1		0		0		0
0	モデルウォーキング	ファッションショーを視野に入れ、モデルウォーキングを学ぶ。美しい立ち振る舞いについて研究し、SNS用の動画発信等の場面でも活かす。	30	1		0		0		0
0	セルフプロモーション講座	グループ演習を通して、自分自身をプレゼンテーションする能 力の向上を目指す。	30	1		0		0		0
0	作品制作	自らの目的に合ったデザイン作品の制作を行なう講座である。 ポートフォリオ作品の充実を目指す。	30	1			0	0		0
0	就職講座	就職活動に向け、自己分析を行ない、キャリア設計を行なう。 同時に希望就職先に向けた対策を実施する。	30	1		0		0		0
0	デザインプロジェクト活動	デザインのチカラを活かしたプロジェクト活動を行なう。	30	1			0	0		0
0	地域連携プロジェクト活動	地域団体主催のプロジェクト活動に、継続的に参加する。	30	1			0		0	0
0	資格取得講座 I	デザインに関する資格取得に挑戦し、自らのキャリアアップに つなげる。	30	1		0		0		0

0		資格取得講座Ⅱ	ファッション・ビューティー分野に関する資格取得に挑戦し、 自らのキャリアアップにつなげる。		30	1		0		0			0	
0		SDGs推進プロジェクト	SDGs推進プロジェクト活動に継続的に参加し、人と環境がより良く共存できる社会の実現について考え実践する。		30	1			0	0			0	
0		ボランティア活動 I	地域のボランティア活動に継続的に参加することで、ボランティアマインドを体得し、人間性やコミュニケーションの向上を図る。		60	2			0		0	0		
0		ボランティア活動Ⅱ	地域のボランティア活動に継続的に参加することで、ボランティアマインドを体得し、人間性やコミュニケーションの向上を図る。		30	1			0		0	0		
0		インターンシップ I	関連企業等にて、1週間の職場体験(インターンシップ)を行なう。デザイン・ファッション業界の現場をりあるに経験する。		60	2			0		0	0		
0		インターンシップⅡ	関連企業等にて、3日間程度の職場体験(インターンシップ)を行なう。デザイン・ファッション業界の現場をりあるに経験する。		30	1			0		0	0		
0		チャレンジプログラム I	外部コンテストや、企業とのコラボレーション、地域貢献に繋がるイベントにチャレンジするプログラム。		30	1			0	0		0	0	
0		チャレンジプログラムⅡ	外部コンテストや、企業とのコラボレーション、地域貢献に繋がるイベントにチャレンジするプログラム。		30	1			0	0		0	0	
0		チャレンジプログラムⅢ	外部コンテストや、企業とのコラボレーション、地域貢献に繋がるイベントにチャレンジするプログラム。		30	1			0	0		0	0	
0		チャレンジプログラムⅣ	外部コンテストや、企業とのコラボレーション、地域貢献に繋がるイベントにチャレンジするプログラム。		30	1			0	0		0	0	
0		チャレンジプログラム♡	外部コンテストや、企業とのコラボレーション、地域貢献に繋がるイベントにチャレンジするプログラム。		30	1			0	0		0	0	
		合計	103 科目					2970)単位	立時	間(99	単	立)
			卒業要件及び履修方法				<u> </u>		ŧΞ	業業	旧門生	≠		_
1. 必須	科目		产未安什及い復修刀法 D評価の科目がないこと。2. 年間出席時限数が850単位時間(425)	诗限)	以上で	きあ	1:	学年		4.1.1		ग	2期	1
	では、									漢 集			18追	

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
1. 必須科目及び選択必須科目の成績評価において不可の評価の科目がないこと。2. 年間出席時限数が850単位時間(425時限)以上であ	1 学年の学期区分	2期
ること。3. 学納金に未納がないこと	1 学期の授業期間	18调

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名			所在地		
静岡デザイン専	門学校	昭和51年3月30日	久保田 香里	〒420-0		岡市葵区鷹匠2丁目19都	番15号	
設置者名	, 1	設立認可年月日	代表者名		(電話) 054-252	2-1766 所在地		
学校法人 静岡理工科:		昭和27年3月31日	杉浦 哲	〒420−8	538 静岡県静 (電話) 054-200	岡市葵区相生町12番18 1-3333	3号	
分野	認	定課程名	認定学	科名	(电面) 034 200	専門士	Ē	高度専門士
服飾•家政	服飾•	家政 専門課程	ブライダル・ビ	ューティー	一科	平成22年文部省告 第152号	·示	
学科の目的			−ティー分野において専門的 ダルの企画運営を通して実					
認定年月日	平成28年	2月29日 全課程の修了に必要な						
修業年限	昼夜	総授業時数又は総単位 数	講義		演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1920時間	360時間		330時間	1230時間	0時間	0時間 単位時間
生徒総定	員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内	専	F任教員数	兼任教員数		総教員数
60人	1	76人	0人		5人	20人		25人
学期制度		4月1日~9月30日 10月1日~3月31日			成績評価	■成績表: ■成績評価の基準・方 学期末までに課題提出 等を合わせ、60点以上	または試験を実施	施、平素の授業態度
長期休み	■夏	台:4月1日~4月11日 ≶:7月28日~8月29Ⅰ ≶:12月23日~1月5Ⅰ ह:3月15日~3月31Ⅰ	∃ ∃		卒業•進級 条件	■必須科目の成績評値 ■年間出席時限数が年 ■学納金が未納でない	丰間消化時間の8	
学修支援等	新入生に な面談を	目談・指導等の対応 対する個別面談を始め	かとして、在校生においても Rを確認したり、学生生活の		課外活動	■課外活動の種類 国内研修旅行、海外研校内球技大会、ハロウア活動等 ■サークル活動:		
就職等の 状況※2	エスティスト	イクアドバイザー、シュー 音導内容 いの適止を見種め、企 講座の実施、面接指導 音数 音望者数 音数 ・自営業:1名 ・自営業:1名 ・自営業:1名 ・自営業:1名	バイザー、ネイリスト、メイクア ーアドバイザー、サロンスタッフ 業とのマッチンクを行つ。 、、履歴書指導、インターンシップ 41 36 36 36 100.0 合 87.8	/等 の7 _才 人 人 人 96	主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その(令和3年度卒業年次生に) <u>資格・検定名</u> AFT色彩検定3級 ハーソナルカラー検定初級 ハーソナルカラー検定初級 ハーソナルカラー検定初級 シュウウエムラメイクアップ共無検定 セルフメイク検定 ※種別の欄には、するのうけ、国家資格・検定のうけるもの ③その他(民間検定等 ■自由記述欄・一般社団法人 JMA 2021 グランプリ受賞1名名、・20211、ジーナへア名。	関する令和4年5月1日 種 受験者数 ③ 41人 ③ 41人 ③ 36人 ③ 41人 ③ 23人 ※格・検定について、記載する。 ち、修了と同時には う、修了と同時には シュウウエムラメ 特別賞受賞3名 メイクアップフェト、	7 合格者数 29人 39人 30人 30人 43人 38人 23人 7、以下の①~③の 取得可能なもの 受験資格を取得す
中途退学 の現状	令和4年3 ■中途 進路変更 ■中退限 ・休んだ。	1月1日時点において、 1月31日時点において、 退学の主な理由 、体調不良のため。 ち止・中退者支援のが 当日に本人もしくは自写	在学者82名(令和3年4月1日 在学者81名(令和4年3月3年) こめの取組 日に連絡し、状況を把握する 面談を行い、学生の変化の	31日卒業者	者を含む)			
経済的支援 制度	■専門領			%免除:	準特待生B:授業	料の25%免除 準特待	生C:授業料100	,000円免除
第三者による学校評価	※有の均	場合、例えば以下に		載したホー	-ムページURL)			
当該学科の ホームページ URL	http://ww	ww.sdc.ac.jp						

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映 した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意 し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

- ②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留 年」「資格取得」などを希望する者は含みません。
- ③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をい います。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。
(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

(1) 「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。 ②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な火を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職 者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

ブライダル・ビューティー業界に必要とされる知識・技術・業界マインドを教育課程に取り入れ、即戦力として活躍できる人材を育成するために、教育課程編成委員会を開催し、業界人、企業等の関係者の意見を踏まえ授業科目および授業時間の見直しを検討する。また、教育内容は業界のニーズにマッチするように常に見直し、教育課程およびシラバスの内容を改善している。

- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

企業関係者と学校職員が連携して教育課程の評価と改訂を適切に行い、教育内容及び学校運営の改善と向上を図る ことにより、実践的な職業専門教育を行う教育課程を編成することを目的とする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年6月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
佐藤 壽康	ショッピングセンター協会中部支部副支部長 静鉄プロパティマネジメント 取締役	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	1
小松 真人	株式会社ツヅキ	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	3
岩崎 仁志	株式会社ヒューマンフォーラム 代表取締役 社長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	3
村松 貴	株式会社 京都むらまつ 代表取締役	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	3
久保田 香里	静岡デザイン専門学校 校長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
保科 康浩	静岡デザイン専門学校 教務課長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
大場 厚始	静岡デザイン専門学校 教務課長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
菅 麻紀	静岡デザイン専門学校 ブライダル・ビューティー科 学科長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
金田 真哉	静岡デザイン専門学校 ファッションビジネス科 学科長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
カルフォ 香奈	静岡デザイン専門学校 ファッションデザイン科 学科長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
朝比奈 将人	静岡デザイン専門学校 ブライダル・ビューティー科	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
岩本 ひとみ	静岡デザイン専門学校 ブライダル・ビューティー科	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	

- ※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
- (年間の開催数及び開催時期)

年2回 (3月、8月)

(開催日時(実績))

第1回 令和3年8月3日(火) 10:00~12:00

- 第2回 令和4年3月29日(火) 10:00~12:00 (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

授業計画(シラバス)の作成過程及び公表までの流れ

12月 ~ 次年度授業計画の策定

- 1月 ~ 担当教員への授業計画(シラバス)作成依頼 ・シラバステンプレート配布 ・シラバスガイドライン配布
- 2月 ~ 授業計画(シラバス)回収・チェック
- 3月 ~ 授業計画(シラバス)訂正・公表準備
- 4月 ~ 授業計画(シラバス)公表

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

ブライダル・ビューティー業界の重要な分野について、業界が求める能力レベルや重要項目を理解できるよう、企業との協力体制を構築し、教育内容を向上させる。同時に業界で活動している方を講師に招き、現場の声を学校教育の場に 注ぎ込むことにより、学校の指導体制を改善させる。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

サービス分野に属するブライダル業界で重要な科目について、業界人に対する指導を行っている講師の指導を受ける。事前打ち合わせにより、全時間終了後の到達目標の設定、講義と演習の割振り、成績評価方法の決定を行い、これに則って授業を運営していただく。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

	(
科 目 名	科 目 概 要	連携企業等
着付けⅠ	きものの名称、たたみ方等の基礎知識から着付け(自装・他装)を実習。鏡を見ないで手早く美しい浴衣姿を目指す。半幅帯の結い方を創作。	株式会社 東洋きもの文化学院
着付けⅡ	着付けに関する一般知識及び実技を身につけ、美しく装うための技と 心を磨く	株式会社 東洋きもの文化学院

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

- (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
- ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

「静岡デザイン専門学校 教員研修規程」を定めており、規定に基づき、教員の資質向上、専門分野における知識・技能の向上を図るために「専攻分野における実務に関する研修」及び「指導力の修得・向上のための研修」と認められる研修をリサーチし、計画的に参加している。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「JMA認定講師養成セミナー」(連携企業等:一般社団法人JMA)

期間: 令和3年年12月4日~6日、12月18日~20日 対象: ビューティー業界関係者

内容:JMA認定講師(授業実施・検定試験監)になるためのセミナー

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「指導力向上研修」 学校法人静岡理工科大学専門学校グループ主催

期間:令和4年1月5日(水) 対象:学校所属全教員

内容:PBLによるアクティブラーニングの取り入れ方、今後入学する学生の授業運営に役立てる

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「ビューティ・ファッション業界ビジネスセミナー」(連携企業等: WWD)

期間:未定 対象:ビューティー業界

内容:ビューティー業界の2022年に向かうべき展望を探る

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「指導力向上研修」学校法人静岡理工科大学専門学校グループ主催

期間:未定 対象:学校所属全教員

内容: 学生指導にあたっての指導力向上のための研修を行なう。 具体的な内容は、今後検討する。

- 4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係
- (1)学校関係者評価の基本方針

「静岡デザイン専門学校 学校関係者評価委員会規約」に則り、本委員会は、本校の教育活動や自己評価結果について、自己評価の客観性・透明性を高めるとともに、学校運営の改善、教育力の向上に資することを目的とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

(2)	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念・目標
(2)学校運営	(2)教育活動
(3)教育活動	(3)教育成果
(4)学修成果	(4)学生支援
(5)学生支援	(5)教育環境
(6)教育環境	(6)学生の募集と受け入れ
(7)学生の受入れ募集	(7)教職員組織、学校運営・管理、財務、法令等の遵守
(8)財務	(8)社会貢献・地域貢献、国際交流
(9)法令等の遵守	
(10)社会貢献・地域貢献	
(11)国際交流	

- ※(10)及び(11)については任意記載。
- (3)学校関係者評価結果の活用状況
- (1)から(8)までの評価項目に対して自己評価を行い、自己評価に対して各委員より多くの意見をいただいた。これらの意見は学校評価報告書にまとめ、学内並びに学校ホームページ上で公開し、情報の共有化を図っている。 学習環境・施設環境等の改善については、優先順位をつけて適宜対応している。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
青島 千枝美	柴田千枝美事務所 代表 (卒業生)	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	卒業生
浦田 友美	静岡デザイン専門学校 後援会 会長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	保護者代表
塚本 雅英	伝馬町発展会 会長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	近隣住民代表
杉原 徹	T Design 代表	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	企業等委員
松木 徳夫	株式会社 加減乗除 代表取締役	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	企業等委員
品川 誠二郎	株式会社大丸松坂屋百貨店 静岡店 人材開発部 マネージャー	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	企業等委員
	事務局		·
久保田 香里	静岡デザイン専門学校 校長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	学内委員
大場 厚始	静岡デザイン専門学校 教務課長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	学内委員
永峯 秀紀	静岡デザイン専門学校 教務課長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	学内委員
守谷 洋子	静岡デザイン専門学校 総務課長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	学内委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL:http://www.sdc.ac.jp 公表時期:令和4年6月30日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育活動、学校運営、学習成果等への理解を深めていただくため、「学校情報」並びに「学校評価報告書」をホームページ上で公開している。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	(1)学校概要、教育理念、教育目標
(2)各学科等の教育	(2)各学科の教育
(3)教職員	(3)教職員
(4)キャリア教育・実践的職業教育	(4)キャリア教育・実践的職業教育
(5)様々な教育活動・教育環境	(5)教育施設・設備、学校行事、様々な教育活動
(6)学生の生活支援	(6)学生の生活支援
(7)学生納付金・修学支援	(7)学生納付金・修学支援
(8)学校の財務	(8)学校の財務
(9)学校評価	(9)学校評価
(10)国際連携の状況	(10)国際連携の状況
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)

URL: http://www.sdc.ac.jp

授業科目等の概要

			枚養 専門課程 ブライダル・ビューテ				125	AILE		10	==	+/L			
	分類選択	自由	授業科目名	授業科目概要	配当年次		単位		業方	実験・実		<u>所</u>			企業等と
修	必修	選			· 学 期	時数	数	義	習	習	内	外	任		の連携
0			コミュニケーション活動 I	有意義な学生生活を過ごすために、始業式、オリエンテーション、終業式、防災訓練、球技大会、観劇等をとおして、見聞を広げ、協調性を身につける。	1 • 通	60	2			0	0	Δ	0		
0			コミュニケーション活動Ⅱ	有意義な学生生活を過ごすために、始業式、オリエンテーション、終業式、防災訓練、球技大会、観劇等をとおして、 見聞を広げ、協調性を身につける。	2 • 通	60	2			0	0	Δ	0		
0			情報リテラシー Ι	基本的なオフィスアプリの活用法ほか、デザイン系ソフト、Ilustrator・Photoshopの基本操作を習得する。	1 • 後	30	1		0		0			0	
0			情報リテラシー Ⅱ		2 • 通	30	1		0		0			0	
0			ブライダル基礎	ブライダルにおける、儀礼的マナーと調和について 学び、実地研修を通して知識を習得する。 ブライダルファッションプランナー資格取得を 目指す。	1 • 通	90	3	0		Δ	0	Δ	0	0	
0			ブライダルコスチューム	ブライダル業界の現場で役立つ、衣装のメンテナン ス方法と技術を身につける。	1 • 通	30	1		0		0		0		
0			ブライダルプロジェクト	時代に添うウェディングスタイルのプランニング・ 挙行について実践を通じ、ブライダルコーディネー トを学ぶ。	2 • 通	30	1		0		0		0	0	
0			デザイン基礎	ヘアメイクにおけるデザインの変遷から、様々なクリエーションを学ぶことで、テクニックやアレンジの幅を広げる。	1 • 前	30	1		0		0			0	
0			デザイン発想	テーマに基づきオリジナリティー溢れるデザインを 自由に発想する力を身につける。	1 • 通	30	1		0		0			0	
0			化粧品学	皮膚構造学から栄養学まで、心と身体の美と健康を 内面から維持・サポートできる知識を習得する。	1 • 前	30	1	0			0			0	
0			メイク実習I	スキンケアテクニックからノーマルメイク及びモードメイクまで施術できる実践スキルを身につける。 シュウエムラメイクアップ検定取得を目指す	1 • 通	120	4			0	0			0	
0			メイク実習Ⅱ	メイキャップの現場で、お客様または施術者に適切 な知識と技術をもって、対応できるスキルを身につ ける。	2 • 前	90	3			0	0			0	
0			ネイル実習 I	ネイルケアにおける知識・基礎、アート技術の実践スキルを学ぶ。 JNACネイリスト技能検定試験3級取得を目指す。	1 • 通	120	4			0	0			0	
0			ネイル実習Ⅱ	サロンワークで多種多彩に提供できるネイルアート 技術を学ぶ。 JNAジェルネイル技能検定試験初級取得を目指す。	2 • 通	60	2			0	0			0	
0			ヘア実習 I	ヘアデザインの基礎に必要な美容理論を学び、ヘア アレンジにつながる技術を習得する。	1 • 前	90	3			0	0			0	
0			ヘア実習Ⅱ	ヘアデザインの応用技術を学び、より創作的なデザ インアレンジができるテクニックを習得する。	2 • 通	90	3			0	0			0	

					1								-	_
0			和装における日本の心・文化マナーを学び、和の装 いの価値や着物の基礎知識ほか着装技術を学ぶ。	1 • 前	30	1			0	0			0	0
0			和装を通して技と心のスキルアップを求め、式服の 着付けや着せつけの応用技術を身につける。	2 · 後	30	1			0	0			0	0
0		マーケテイング	商品やサービスの目的を理解し、取り巻く環境や市 場の動きから、消費者ニーズに気づく力や共感する センスを磨く。	1 • 前		1		0		0			0	
0		礼法	日本の文化、しきたりを理解するとともに、相手の 気持ちを察するこころと慎みのあるふるまいを身に つけ、円滑な人間関係を築く。	1 • 前		1	0			0		0		
0			接客に求められる基礎的な技術とホスピタリティを 理解し、体現するためのトレーニングを行う。	1 • 前		1		0		0			0	
0			接客の基礎知識と心持をベースに、より実践的に柔 軟に対応できるスキルを身につける。	2 • 後	30	1		0		0			0	
0		色彩学	色彩の基礎を理論的に学び、感性にプラスした確かな知識に基づく提案ができる力を身につける。 色彩検定3級取得を目指す。	1 • 通		2	0			0			0	
0			『その人の似合う色』という印象を理論的に分析 し、見極めるカを身につける。 パーソナルカラー検定中級取得を目指す。	1 • 通		1	0			0			0	
0		パーソナルカラーⅡ	お客様に提案できる『その人の似合う色』という印 象を接客技術に活かし、展開できる力を身につけ る。 パーソナルカラー検定上級取得を目指す。	2 • 通	60	2	0			0			0	
	0	ブライダルプラン	ブライダル業界の現場で役立つ知識やスキルを学 び、プロフェッショナルとしての意識・意欲を高め る。	2 • 前		1			0	0	Δ		0	
	0	着付けⅢ	様々なシュチュエーションにおける和の装いについて、知識や技術を実践的に役立てることが出来る。 きもの講師3級取得を目指す。	2 • 前	30	1			0	0			0	0
	0	メイクトレーニング	ビューティー業界の現場で役立つ知識やスキルを学び、プロフェッショナルとしての意識・意欲を高める。	2 • 通	30	1			0	0			0	
	0	ネイルトレーニン ガ	ネイルスキルが求められる現場で役立つ知識やスキルを学び、多様に活用できるようになる。 JNECネイリスト技能検定試験2級取得を目指す。 (希望者のみ)	2 • 通	30	1			0	0			0	
0		キャリアプラン I	社会人として必要なビジネスマナーを学び、就職に 向けた自己理解や選考に向けた準備をすることで、 就職意識を高め今後の活動に備える。	1 • 前	30	1	0			0			0	
0		キャリアプランⅡ	就職活動を実践しながら自己分析を繰り返し、選考 対策を行い内定を獲得する。ほか社会に出る心構え を身につける。	2 · 後		1	0			0			0	
0		産学連携プロジェクトI	地域社会・企業との外部連携を通し、習得した知識 や技術の価値を体感し、社会性やコミュニケーショ ン力を高める。	1 • 前	30	1			0	0	Δ	0		
0			地域社会・企業との外部連携を通し、実社会の課題 に取り組み、実践力を高める。	2 • 通	30	1			0	0	Δ	0		
0		卒業制作	様々な分野とセッションすることで、高いクオリティーを目指し、よりコンセプチュアルに魅せる手法を学ぶ。	2 · 後	240	8			0	0		0	0	
0		ブライダル・ビューティー特別実習 I	ブライダル業界、ビューティー業界のスペシャリス トによる講演・デモストレーション・実習などを体 験し、向上心を高め視野を広げる。	1 • 通	30	1			0	0			0	

0		ブライダル・ビューティー特別実習Ⅱ	ブライダル業界、ビューティー業界のスペシャリストによる講演・デモストレーション・実習などを体験し、向上心を高め視野を広げる。	2 • 通	30	1			0	0			0	
	0	研修旅行	訪問先の国や地域での文化や生活に触れ、視野を広めるとと もに、異文化理解を深めることを目指す。		60	2			0		0	0		
	0	色彩検定3級講座	色彩理論の基礎である配色法・伝達法・心理的作用等を確認 し、色彩検定3級合格を目指した演習を行なう。		30	1		0		0			0	
	0	色彩検定2級講座	3級で学習する配色やイメージについてさらにレベルアップ。ファッションやインテリア、景観色彩など各分野でのカラーコーディネートについて学習し、色彩検定2級合格を目指す。		30	1		0		0			0	
	0	色彩検定1級講座	色彩実務担当者として色彩設計に携わることができるレベル の内容を学習する。色彩検定 1 級合格を目指す。		30	1		0		0			0	
	0	色彩検定UC級講座	色覚の多様性に配慮した、誰もが見やすい色使い、色のユニ パーサルデザインについて学習する。色彩検定UO級合格を目 指す。		30	1		0		0			0	
	0	パーソナルカラー(モジュール I)講座	パーソナルカラーに必要な色の基礎知識と、色を見分けるポイントを習得する。色彩技能パーソナルカラー検定モジュール I (初級)合格を目指す。		30	1		0		0			0	
	0	パーソナルカラー(モジュール ΙΙ)講座	実際にパーソナルカラー診断を行なうために必要な色彩技能 について学習する。色彩技能パーソナルカラー検定モジュー ル II (中級) 合格を目指す。		30	1		0		0			0	
	0	ビジネス実務マナー検定講座	ビジネス社会の基本ルール (=職場常識) について学習する。ビジネス実務マナー検定合格を目指す。		30	1	0			0			0	
	0	マンガ検定講座	マンガ表現の描画技術を磨き、豊かな表現力を養う。漫画能 力検定の合格を目指す。		30	1		0		0			0	
	0	イラストレーター基礎講座	adobe Illustratorの基本的な使用方法について学習する。 POP制作等に展開できる力を養う。		30	1		0		0			0	
	0	フォトショップ基礎講座	adobe `Photoshopの基本的な使用方法について学習する。写 真加工等に展開できる力を養う。		30	1		0		0			0	
	0	イラストレーター検定講座	adobe Illustratorの基本的な使用方法及び様々な機能について学習する。Illustratorクリエイター能力認定試験合格を目指す。		30	1		0		0			0	
	0	フォトショップ検定講座	adobe Illustratorの基本的な使用方法及び様々な機能について学習する。Illustratorクリエイター能力認定試験合格を目指す。		30	1		0		0			0	
	0	3 D C A D 基礎講座	機械系または建築系の3次元CADの基本的な使用方法について学習する。、3DCADを用いた設計の基本を学習し簡単な設計図の作成能力を身に付ける。		30	1		0		0			0	
	0	2DCAD基礎講座	機械系または建築系の2次元CADの基本的な使用方法について学習する。CADを用いた設計の基本を学習し簡単な設計図の作成能力を身に付ける。		30	1		0		0			0	
	0	SNS活用	マーケティングにおけるSNSの活用方法について、実践的に 学ぶ。同時にSNSを活用した顧客エンゲージメント向上につ いて考える。		30	1		0		0			0	
	0	写真	シャッタースピード、絞り、被写界深度など、写真の基礎的 項目を学びながら、SNS等で発信する際のビジュアル表現に ついて演習を行なう。		30	1		0		0			0	

0	映像編集講座	映像撮影から、その編集方法までを学習する。同時に映像に よる効果的な演出方法について考え、マーケティングに活用 するための演習を行なう。	30	1		0		0	(0	
0	ビジネスアブリケーション	ビジネスシーンで一般的に用いられる、ワープロ・表計算ソフトの使用方法を学ぶ。表計算については、検定試験に挑戦する。	30	1		0		0	(Э	
0	デッサン演習	デッサンカ向上を目的とした講座である。それぞれのモチーフに向き合い、物の形をとらえ、表現する基本的な力を養う。	30	1		0		0		С)
0	イラストレーション基礎	様々な画材を用いたイラストレーション手法について学ぶ。	30	1		0		0		C)
0	イラストレーション演習	イラストレーションの技術を活かした作品制作を行なう。	30	1		0		0		C)
0	ファッションデザイン画	デザイン画を描くための基礎を学習する。絵を描く事の楽しさにふれ、自身のデザインを表現する為の技術を身につける。人体の構造を学び、プロボーションを正しく理解する。	30	1		0		0	(Э	
0	素材研究(金属)	身近ではあるが加工には特殊な技術が必要になる金属を実際 に加工し、素材としての金属の特性や特徴を理解する。	30	1		0		0		С	>
0	素材研究(革)	ファッションや雑貨に使われる素材の中から革に注目し、素 材としての特性や特徴を理解し、作品を制作する。	30	1		0		0		С	>
0	英会話講座	英会話の基礎を学ぶ。英会話を通じて、グローバル意識を育み、積極的にコミュニケーションを図る力を養う。	30	1		0		0		С	>
0	中国語基礎講座	中国語の基礎並びに中国文化について学習し国際理解を深める。また、中国語による基本的な接客用語を学び、外国人旅行客に対応した接客力を身に付ける。	30	1		0		0		С)
0	韓国語基礎講座	韓国語の基礎ならびに韓国文化について学習し国際理解を深める。また、韓国語による基本的な接客用語を学び、外国人旅行客に対応した接客力を身に付ける。		1		0		0		С)
0	心理学	心理学の基礎を学ぶことで、人の成長・発達と心理との関係、日常生活と心の健康との関係などについて理解する	30	1	0			0		С)
0	アロマテラピー	アロマテラピーの正しい基礎知識を学ぶ。癒しや美容に係わる仕事を視野に入れ、ビューティー&ヘルスケアの知識を深める。	30	1		0		0		C)
0	茶道	日本の伝統芸術茶道を通して、自然との関わり方を学ぶ。	30	1			0	0		С)
0	華道	日本の伝統芸術華道を通して、自然との関わり方を学ぶ。	30	1			0	0		С)
0	コピーライティング講座	情報発信をする際の言葉を創作する力を身につける。言葉によって興味を引き付ける方法を考え、創作し、発信するまでの過程を経験する。	30	1		0		0		С)
0	ラッピング講座	商業ラッピングの基礎知識を身に付け、慶弔贈答の基本的な 包装ができるようになることを目的とする。	30	1		0		0		С)
0	服飾造形基礎	人体構造や原型についての基礎知識を学び、縫製についての 基礎、応用を習得する。洋服の修繕について実践も行なう。	30	1		0		0		С)
0	知的所有権講座	著作権、意匠権、商標権、不正競争防止法等の事例や法令を 通して、知的所有権に関する基本的な概念について学びま す。	30	1	0			0		С)

	1												_
0	フラワーアレンジメント講座	フラワー業界の概要について学ぶとともに、様々なデザイン やスタイルのバリエーションのアレンジメントを制作できる よう、生花を主に演習する。	;	30	1	•	0		0			0	
0	モデルウォーキング	ファッションショーを視野に入れ、モデルウォーキングを学ぶ。美しい立ち振る舞いについて研究し、SNS用の動画発信等の場面でも活かす。		30	1	(0		0			0	
0	セルフプロモーション講座	グループ演習を通して、自分自身をプレゼンテーションする 能力の向上を目指す。	;	30	1	(0		0			0	
0	作品制作	自らの目的に合ったデザイン作品の制作を行なう講座であ る。ポートフォリオ作品の充実を目指す。	,	30	1			0	0			0	
0	就職講座	就職活動に向け、自己分析を行ない、キャリア設計を行な う。同時に希望就職先に向けた対策を実施する。	ţ	30	1	•	0		0			0	
0	デザインプロジェクト活動	デザインのチカラを活かしたプロジェクト活動を行なう。	;	30	1			0	0			0	
0	地域連携プロジェクト活動	地域団体主催のプロジェクト活動に、継続的に参加する。	,	30	1			0		0		0	
0	資格取得講座 I	デザインに関する資格取得に挑戦し、自らのキャリアアップ につなげる。	,	30	1	(0		0			0	
0	資格取得講座Ⅱ	ファッション・ビューティー分野に関する資格取得に挑戦 し、自らのキャリアアップにつなげる。	;	30	1		0		0			0	
0	SDGs推進プロジェクト	SDGs推進プロジェクト活動に継続的に参加し、人と環境がより良く共存できる社会の実現について考え実践する。	;	30	1			0	0			0	
0	ボランティア活動 I	地域のボランティア活動に継続的に参加することで、ボラン ティアマインドを体得し、人間性やコミュニケーションの向 上を図る。	•	60	2			0		0	0		
0	ボランティア活動Ⅱ	地域のボランティア活動に継続的に参加することで、ボラン ティアマインドを体得し、人間性やコミュニケーションの向 上を図る。		30	1			0		0	0		
0	インターンシップ I	関連企業等にて、1週間の職場体験(インターンシップ)を 行なう。デザイン・ファッション業界の現場をりあるに経験 する。		60	2			0		0	0		
0	インターンシップⅡ	関連企業等にて、3日間程度の職場体験(インターンシップ)を行なう。デザイン・ファッション業界の現場をりあるに経験する。	;	30	1			0		0	0		
0	チャレンジプログラム I	外部コンテストや、企業とのコラボレーション、地域貢献に 繋がるイベントにチャレンジするプログラム。		30	1			0	0		0	0	
0	チャレンジプログラムⅡ	外部コンテストや、企業とのコラボレーション、地域貢献に 繋がるイベントにチャレンジするプログラム。	;	30	1			0	0		0	0	
0	チャレンジプログラムⅢ	外部コンテストや、企業とのコラボレーション、地域貢献に 繋がるイベントにチャレンジするプログラム。	;	30	1			0	0		0	0	
0	チャレンジプログラムⅣ	外部コンテストや、企業とのコラボレーション、地域貢献に 繋がるイベントにチャレンジするプログラム。	;	30	1			0	0		0	0	

0		外部コンテストや、企業とのコラボレーション、地域貢献に 繋がるイベントにチャレンジするプログラム。	30	1		0	0		0	0	
	合計	91科目			1920	0单	位時	間(64	単	.位)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	F
必須科目の成績評価において不可(評価点60点未満)がなく、年間出席時限数が年間消化時間の85%以上であ	1 学年の学期区分	2期
り、学納金が未納でないこと。	1学期の授業期間	18週

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

令和4年6月28日※1 (前回公表年月日:令和3年6月28日)

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	日 校長名	3			所在地		
静岡デザイン専	門学校	昭和51年3月30	日 久保田 名	香里	〒420−0	839 静岡県静岡 (電話)054-252	司市葵区鷹匠2丁目19番1 1766	5号	
設置者名		設立認可年月日	日 代表者	名		(电码) 034-232	所在地		
学校法人 静岡理工科:		昭和27年3月31	日 杉浦:	哲	〒 420−8	538 静岡県静岡 (電話) 054-200	岡市葵区相生町12番18号 1−3333	,	
分野	=3 =1	定課程名		認定学	科名		専門士	高	度専門士
文化•教養	文化•	教養 専門課程	グラ	ラフィックラ	デザイン科		平成9年文部省告示第18	84号	
学科の目的	応したビ	ジネスセンスも学び	界における総合的な び、業界のスペシャ				客力を兼ね備えた、人材の 1も身につける。	D育成を目的とする	る。また、時代に即
<u>認定年月日</u> 修業年限	平成28年	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位	講	<u> </u>		演習	実習	実験	実技
		数 2940時間	360₽	計		2310時間	270時間	0時間	0時間
3 年	昼間				-				単位時間
生徒総定 180人	<u></u>	生徒実員 251人	留学生数(生	走実員の内	与	「任教員数 5人	兼任教員数	- Ki	3教員数 - 50 J
180人		251人	0人			5人		<u> </u>	50人
学期制度		4月1日~9月30日 10月1日~3月31日				成績評価	■成績表: ■成績評価の基準・方法 学期末までに課題提出。 等を合わせ、60点以上を	または試験を実施。	、平素の授業態度
長期休み	■夏 引 ■冬 引	台:4月1日~4月11 \$:7月28日~8月29 \$:12月23日~1月5 5:3月15日~3月3	9日 5日			卒業·進級 条件	■必須科目の成績評価 ■年間出席時限数が年 ■学納金が未納でないる	間消化時間の85	%以上であること
学修支援等	新入生に	目談・指導等の対応 対する個別面談を始 い、学業の進捗状況	有 え 台めとして、在校生に 記を確認したり、学生:			課外活動	■課外活動の種類 校内球技大会、国内研修中止) ハロウィンイベント、クラコ ■サークル活動:		
就職等の 状況※2	広告関連会計・その場合では、またのではでは、またのではでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは	社等 音導内容 れの適正を見極め、 講座の実施、面接指 替数 所望者数 番数	た、印刷会社、デザイ 企業とのマッチングを 導、履歴書指導、ホー 61 57 56 98.2	- 行う。 - トフォリオ制· -		主な学修成果 (資格・検定等)	■国家資格・検定/その・(令和3年度卒業年次生に関	する令和4年5月1日時/種別 受験者数③ 72人③ 64人	合格者数 68人 42人
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	■その他・進学者・自営業	数: 0人:0名 (令和3年度卒業者	育に関する		70	*3	①国家資格・検定のうち、修 ②国家資格・検定のうち、修 ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 ・静岡新聞広告賞2021/スパ ・第18回ACジャパン広告学 ・第15回メディアユニパーサリ ・静岡県立工科短期大学校 ・第10回静岡県ものづくり競 ・第19回Kawaii 選手権大会。 ほか	了と同時に受験資格を が銀行賞 生賞 審査員特別賞、 レデザインコンペティシ 交章デザイン 採用 技大会 グラフィックデ	:取得するもの 優秀賞 ヨン 特別賞 ザイン部門 2位
	■中途边		時点の情報)	19	名	■中退率	<u> </u> 率 7.6	%	
中途退学 の現状	令和3年4 令和4年3 ■中途〕 進路変更 ■中退队・休んだ計	1月1日時点において 8月31日時点において 2学の主な理由 、体調不良、精神的 5止・中退者支援の 当日に本人もしくは自		13年4月11 和4年3月3 「振、経済的 ・把握する。	日入学者 31日卒業 的な理由 。 ・スク	を含む) 者を含む) ールカウンセラー(・ 7.0		
経済的支援 制度	•特待生 特待生	制度 ∷授業料全額免除 ξ践教育訓練給付	準特待生A:授業: 非給付対象	有 料の50%	6免除 準		4の25%免除 準特待生の	 C:授業料100, 00	00円免除
第三者による 学校評価	※有の均	D評価機関等から 場合、例えば以下に 体、受審年月、評値		無を掲載	 したホー.	<u></u> ムページURL)			
当該学科の ホームページ URL	http://ww	ww.sdc.ac.jp							

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映し た内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、そ れぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます

- ②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」 「資格取得」などを希望する者は含みません。
- ③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいい ます
- ※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の 者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。 (2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について ①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

- ②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者 とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。 (3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同 時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

グラフィックデザインに必要とされる知識・技術・業界マインドを教育課程に取り入れ、即戦力として活躍できる人材を育成するために、教育課程編成委員会を開催し、業界人、企業等の関係者の意見を踏まえ授業科目および授業時間の見直しを検討する。また、教育内容は業界のニーズにマッチするように常に見直し、教育課程およびシラバスの内容を改善している。

- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

企業関係者と学校職員が連携して教育課程の評価と改訂を適切に行い、教育内容及び学校運営の改善と向上を図る ことにより、実践的な職業専門教育を行う教育課程を編成することを目的とする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年10月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
波多野 浩太郎	静岡県広告業協会 理事長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	1
松木 徳夫	株式会社 加減乗除 代表取締役	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	3
坂本 晴敏	株式会社 エスディティーエンタープライズ コンテンツセンター クリエイティブ制作部長兼デザイン室長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	3
榊原 幸弘	有限会社サイズ 代表取締役社長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	3
鈴木 猪三男	ウインホーム株式会社 取締役 総務部長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	3
塩谷 弘子	プランニングルーム 代表	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	3
久保田 香里	静岡デザイン専門学校 校長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
保科 康浩	静岡デザイン専門学校 教務課長 兼 プロダクトデザイン科学科長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
大場 厚始	静岡デザイン専門学校 教務課長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
橋本 明奈	静岡デザイン専門学校 グラフィックデザイン科 学科長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
井上 靖久	静岡デザイン専門学校 プロダクトデザイン科学科長	令和3年10月1日~ 令和4年3月31日	
岩﨑 京子	静岡デザイン専門学校 インテリアデザイン科 学科長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
羽賀 潤平	静岡デザイン専門学校 プロダクトデザイン科	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	

- ※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
- (年間の開催数及び開催時期)

年2回 (3月、8月)

(開催日時(実績))

第1回 令和3年8月3日(火) 13:30~15:30 第2回 令和4年3月29日(火) 13:30~15:30

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
- 授業計画(シラバス)の作成過程及び公表までの流れ
- 12月 ~ 次年度授業計画の策定
- 1月 ~ 担当教員への授業計画(シラバス)作成依頼 ・シラバステンプレート配布 ・シラバスガイドライン配布
- 2月 ~ 授業計画(シラバス)回収・チェック
- 3月 ~ 授業計画(シラバス)訂正・公表準備
- 4月 ~ 授業計画(シラバス)公表

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

広告・デザイン業界に就職する学生に対し、関連する業界内での仕事への取組み方(基本行動)や発想力を演習・実習 を通して経験し体得することができるよう企業等との協力体制を構築し、教育内容を向上させる。同時に業界で活動して いる方を講師に招き、現場の声を学校教育の場に注ぎ込むことにより、学校の指導体制を改善させる。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

グラフィックデザイン科が目指す進路である広告・デザイン業界での重要な科目について、業界の経験豊富な講師の指 導を受ける。実施にあたり事前打ち合わせにより、全時間終了後の到達目標の設定、講義と演習の割振り、成績評価 方法の決定を行い、これに則って授業を運営していただく。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

`		(HIDS) CONTOCHIDIC COLON		
	科目名	科 目 概 要	連携企業等	
	広告メディア論	時代背景の中で放送や印刷媒体等の広告メディアと表現がどのように駆使されてきたかを事例研究し、時代に合った表現を見出すための「論理の組立て方」を演習を通して習得する。	有限会社 岡本戦略広告事務所	

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

「静岡デザイン専門学校 教員研修規程」を定めており、規定に基づき、教員の資質向上、専門分野における知識・技能 の向上を図るために「専攻分野における実務に関する研修」及び「指導力の修得・向上のための研修」と認められる研 修をリサーチし、計画的に参加している。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「Adobe Education Forum Online 2021」(主催:アドビ株式会社) 対象:クリエーター、デザイナー 期間:令和3年年1月8日(金)

内容:新しい価値を創造する力を育む大学・専門学校教育について~ Consumer から Creator へ~

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「指導力向上研修」 学校法人静岡理工科大学専門学校グループ主催

期間:令和4年1月5日(水) 対象:学校所属全教員

内容:PBLによるアクティブラーニングの取り入れ方、今後入学する学生の授業運営に役立てる

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等 研修名!クリエイティフ研究会」(連携企業等:静岡県広告業協会)

期間:10月 対象:広告業界従事者、クリエーター、デザイナー

内容:最新の広告事例の紹介、SNSやウェブ動画といった消費者の活動を巻き込んでの広告展開するためのヒントを得

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「指導力向上研修」学校法人静岡理工科大学専門学校グループ主催

期間:未定 対象:学校所属全教員

内容: 学生指導にあたっての指導力向上のための研修を行なう。 具体的な内容は、今後検討する。

- 4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係
- (1)学校関係者評価の基本方針

「静岡デザイン専門学校 学校関係者評価委員会規約」に則り、本委員会は、本校の教育活動や自己評価結果について、自己評価の客観性・透明性を高めるとともに、学校運営の改善、教育力の向上に資することを目的とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

(2) 寺修子校に307 3子校計画カイドノイン」	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念•目標
(2)学校運営	(2)教育活動
(3)教育活動	(3)教育成果
(4)学修成果	(4)学生支援
(5)学生支援	(5)教育環境
(6)教育環境	(6)学生の募集と受け入れ
(7)学生の受入れ募集	(7)教職員組織、学校運営・管理、財務、法令等の遵守
(8)財務	(8)社会貢献・地域貢献、国際交流
(9)法令等の遵守	
(10)社会貢献・地域貢献	
(11)国際交流	

- ※(10)及び(11)については任意記載。
- (3)学校関係者評価結果の活用状況
- (1)から(8)までの評価項目に対して自己評価を行い、自己評価に対して各委員より多くの意見をいただいた。これらの意見は学校評価報告書にまとめ、学内並びに学校ホームページ上で公開し、情報の共有化を図っている。 学習環境・施設環境等の改善については、優先順位をつけて適宜対応している。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
青島 千枝美	柴田千枝美事務所 代表 (卒業生)	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	卒業生
浦田 友美	静岡デザイン専門学校 後援会 会長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	保護者代表
塚本 雅英	伝馬町発展会 会長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	近隣住民代表
杉原 徹	T Design 代表	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	企業等委員
松木 徳夫	株式会社 加減乗除 代表取締役	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	企業等委員
品川 誠二郎	株式会社大丸松坂屋百貨店 静岡店 人材開発部 マネージャー	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	企業等委員
	事務局		
久保田 香里	静岡デザイン専門学校 校長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	学内委員
大場 厚始	静岡デザイン専門学校 教務課長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	学内委員
永峯 秀紀	静岡デザイン専門学校 教務課長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	学内委員
守谷 洋子	静岡デザイン専門学校 総務課長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	学内委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL:http://www.sdc.ac.jp 公表時期:令和4年6月30日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育活動、学校運営、学習成果等への理解を深めていただくため、「学校情報」並びに「学校評価報告書」をホームページ上で公開している。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	(1)学校概要、教育理念、教育目標
(2)各学科等の教育	(2)各学科の教育
(3)教職員	(3)教職員
(4)キャリア教育・実践的職業教育	(4)キャリア教育・実践的職業教育
(5)様々な教育活動・教育環境	(5)教育施設・設備、学校行事、様々な教育活動
(6)学生の生活支援	(6)学生の生活支援
(7)学生納付金・修学支援	(7)学生納付金・修学支援
(8)学校の財務	(8)学校の財務
(9)学校評価	(9)学校評価
(10)国際連携の状況	(10)国際連携の状況
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)

URL: http://www.sdc.ac.jp

授業科目等の概要

_		_	養 専門課程 グラフィックデザ	イン学科)令和4年度				1=	Alle I				14		
	分類	Į			配	拇		授	業方	法実	場	肵	教	頁	企
	選択必修	由選	授業科目名	授業科目概要	当年次・学		単位数		演習	天験・実習・実技		校 外		兼任	業等との
0			コミュニケーション活動 I	有意義な学生生活を過ごすために、始業式、オリエンテーション、終業式、防災訓練、球技大会、観劇等をとおして、 見聞を広げ、協調性を身につける。	1 • 通	60	2			0	0	◁	0		
0			コミュニケーション活動Ⅱ	有意義な学生生活を過ごすために、始業式、オリエンテーション、終業式、防災訓練、球技大会、観劇等をとおして、 見聞を広げ、協調性を身につける。	2 • 通	60	2			0	0	Δ	0		
0			コミュニケーション活動皿	有意義な学生生活を過ごすために、始業式、オリエンテーション、終業式、防災訓練、球技大会、観劇等をとおして、 見聞を広げ、協調性を身につける。	3 • 通	90	3			0	0	Δ	0		
0			情報リテラシー	データの整理方法、セキュリティに関する知識など、パソコンを使用していく上で必要な取り扱いや利用の基本的知識を 理解する。		30	1	0	Δ					0	
0			美術・デザイン史	時代ごとの美術様式や作品を学び、内容を図解することで、 まとめる力を養い情報伝達の基礎を学ぶ。また、デザインの 発祥や歴史、現代に影響を与えているデザイナーについて学 び、デザインワークの参考にする。		30	1	0			0			0	
0			色彩学	色彩理論の基礎を学び配色法・伝達法・心理的作用等を学習 する。色彩検定3級合格を目指す。	1 • 前	60	2	0			0		0		
0			DTP・WEB概論	印刷の各工程におけるポイントを正しくおさえ、印刷製版における基本的な知識やルールについて習得する。また、Web デザインに必要なURL・HTTP・HTMLなどの仕組みについて学ぶ。	l :	30	1	0			0		0		
0			マーケティング	マーケティングの基礎知識と考え方を学ぶ。社会との接点を意識し、環境・市場・企業の動向や消費者の意識・ニーズに対する感度を磨く。		30	1	0			0			0	
0			マーケティング実践	企業の実例をもとにマーケティング戦略を学び、成功例や手法を知ることでビジネスやデザイン表現の視野を広げる。グループワークやディスカッションを通して経験値を高める。	3 • 前	30	1	0	Δ		0			0	
0			ソーシャルデザイン	地域社会が抱える問題を考え、その問題に対し "デザインの カによる社会問題の解決"をテーマに、解決策を考え企画・ デザイン化し、プレゼンテーションを行う。	2 • 前	30	1	0	Δ		0			0	
0			広告メディア論	時代背景の中で放送や印刷媒体等の広告メディアと表現がどのように駆使されてきたかを事例研究し、時代に合った表現を見出すための「論理の組立て方」を演習を通して習得する。	_	30	1	0			0			0	0
0			知的所有権	著作権、意匠権、商標権、不正競争防止法等の事例や法令を 通して、知的所有権に関する基本的な概念について学びま す。		30	1	0			0			0	
0			デッサン・クロッキー	立方体、円柱などの幾何形態を描写することによって遠近法 などをしっかり身につける。ガラス、金属、布など質感の違 いを表現する技法を修得する。		90	3		0		0			0	
0			平面構成	平面デザインにおける、線・形・色彩の構成をとおして、配置の基本と視覚効果について学び、アクリル絵具による着彩を行なう。		30	1		0		0			0	
0			立体構成	身近な素材である「紙」を中心に、簡単なペーパークラフトの課題を進めていく中で、立体感覚・空間把握の感覚を養っていく。作業の正確さや計画性の重要性なども身に着けていく。	1 · 後	30	1		0		0			0	

0	クレイ	粘土により奥行きのある作品を造形することで、立体の感覚を身につけ、キャラクターを創造する思考方法の確立と技術の習得を行なう。クレイを用いた作品を企画から編集までの総合的取り組みを学習する。	il '.	60	2	0	(0		0	
0	デザイン発想	デザインとは何かを学び、発想する脳を作り、発想し、編集 し伝える感覚を養う。	1 • 全	30	1	0	(0		0	
0	ビジュアルデザインI	様々なビジュアル表現を通してデザインする意味を理解する。	. 1 · 前	30	1	0	(0		0	
0	コミュニケーションデザインI	発想の幅を広げながら、自分なりの表現切り口(斬り口)を 見つけていく。	1 • 前	30	1	0	C	0		0	
0	コミュニケーションデザインⅡ	線、色、形、文字、写真など、さまざまなメディアを用い、 「伝わる・わかる」をテーマに、実践的な表現制作を行う。	1 • 後	30	1	0	(0		0	
0	コミュニケーションデザインⅢ	静岡新聞広告賞公募部門や静岡鉄道のサイネージ広告を通して、広告の基礎を学び、課題分析力と伝わる表現力、造形力を身につける。		60	2	0	(0		0	0
0	コピーライティング	広告表現に欠かせないコピーの働きを理解するとともに、発 想および制作の作法を身につけて、クリエイティブの質を高 める。		30	1	0	(0		0	
0	イラストレーション	イラストは多くの場面で登場するが、授業ではイラストレーションとは何かについて、テーマや画材を通して探究しなから学び、様々なモチーフの基本的な描き方を習得する。		60	2	0	C	0		0	
0	タイポグラフィー I	レタリングについて学ぶとともに、グラフィックデザインに おける文字の重要性を知る。	1 • 前	30	1	0	C	0		0	
0	レイアウト演習	作品作りを通して、文字や写真を平面上に配置する、レイアウトの演習を行う。	1 · 後	30	1	0	C	5		0	
0	写真 I	シャッタースピード、絞り、被写界深度など、写真の基礎的項目を学びながら、カメラを操り写真を撮る事を楽しんで、自分のイメージを表現する。		60	2	0	C	0		0	
0	デザインアプリケーション I A	デザインの現場での必須アプリであるデザイン系ソフトを学習し、基本的な操作方を習得する。企画書やレイアウトデサインを要する印刷物制作の技術力・応用力を身につける。		120	4	0	C	5		0	
0	デザインアプリケーション I B	Webデザインの現場で必須であるHTMLおよびCSSの基本知識と 基本的なコーディング技術を学び、Adobe XDを使用した小規 模サイトの基礎的なデザイン設計ができる力を身につける。		60	2	0	(0		0	
0	デザインアプリケーション I C	iMovieやAfterEffectsの基本的な操作方法や活用方法を学び、映像業界やデジタルコンテンツへ興味・関心を広げる。また、3DCG業界では必須であるMAYA3DCGでのモデリングに必要な基本的な技術の習得をする。	1 !	30	1	0	C	0		0	
0	Web実践	WEB制作の現場において即戦力の知識・技術の習得を行なう。	3 • 通	90	3	0	(0		0	
0	C I	企業イメージを構築するデザインについて、学習し、実際の テーマを題材として製作を試みる。	2 • 前	30	1	0	(0		0	
0	セールスプロモーション	「商品」と「エンドユーザー」をつなげるための総合的なデザイン展開力を学ぶ。	2 • 後	30	1	0	(0		0	
0	ポートフォリオ制作	就職活動に用いるためのポートフォリオの制作を行う。自分 の作品をより効果的にみせるための手法を学ぶ。	2 • 後	30	1	0	(5	0		

		<u> </u>										
	ユニバーサルデザイン	人のためのデザインを心がけられる人間力を養う。	3 • 前	30	1	0	Δ		0			0
)	メディアユニバーサルデザイン			30	1		0		0			0
)	キャラクタービジネス			30	1		0		0			0
)	企画論			30	1	0			0			0
)	ビジュアルデザインⅡ			30	1		0		0			0
)	ビジュアルデザインⅢ	さまざまなグラフィックツールを企画制作しながらデザイン 能力を養う。	3 • 前	30	1		0		0			0
)	ビジュアルデザインⅣ			30	1		0		0		0	
)	タイポグラフィー Ⅱ	グラフィックデザインにおける文字の重要性を知る。	2 • 前	30	1		0		0			0
)	アドバタイジング I	啓蒙広告を題材として、新聞広告の企画を近いする。モノクロ表現とカラー表現の可能性を認識する。	2 • 前	60	2		0		0			0
)	アドバタイジングⅡ			30	1		0		0			0
)	広告ゼミI	実際に企業から依頼される仕事を通して、クライアントの求めるモノを制作する力を養い、実践力を身に付ける。	2 • 通	60	1		0		0			0
)	広告ゼミⅡ	企業から依頼される仕事を通して、クライアントの求めるモノを制作する力を養い、実践力を身に付ける。	3 • 通	60	2		0		0			0
)	パッケージデザイン I	パッケージの機能や基本的な素材と技術に関する知識を演習 課題を通じて体験し、考察する。	2 • 前	30	1		0		0			0
)	パッケージデザインⅡ	2年次に学習したパッケージデザインの力をより高め、完成 度の高い作品作りを目指す。	3 • 前	30	1		0		0			0
)	デザインアプリケーションⅡ	や操作方法を習得する。 また、ページもののレイアウトデ	-	60	2		0		0			0
)	デザインアプリケーションⅢ			60	2		0		0		0	
)	デザインアプリケーションⅣ			90	3		0		0			0
)	DTP演習 I A			60	2		0		0		0	
		メディアユニバーサルデザイン キャラクタービジネス 企画論 ビジュアルデザインⅢ ビジュアルデザインⅣ タイポグラフィーⅡ アドバタイジング I アドバタイジング I アドバタイジング I アドバタイジング I アドバタイジング I オ告ゼミ I パッケージデザイン I デザインアプリケーション II デザインアプリケーション II デザインアプリケーション II	前半の「ユニパーサルデザイン」で習得した知識や情報を実際の形に可限化するコンペティンシンへ参加する事で、デザイナーと社会とのつなかりをより時間に実施する。 クライアントから求められるキャラクターとその役割について解文し、キャラクターを用いた企業広告や服促物について解文し、キャラクターを用いた企業広告や服促物などを企画、推案し、企画書を完成させる。 企画論	カース・パーサルデザイン 人のためのデザインを心が付られる人間力を養う。 前 前半の「ユニバーサルデザイン」で習得した知識や情報を至 3 前の形に可携化するコンペティションへ参加する事で、デザ イケーと社会をのつながりをより明細に意識する。 前 中キャラクタービジネス 関係の形に可携化するコンペティションへ参加する事で、デザ イケーと社会をのつながりをより明細に意識する。 前 日本生活から社会を飽まて問題意識と持って課題発見する理 クース・スラロセスを学ぶ。 中島・東菜上、定曲番を完成させる。 市 中学生活から社会を飽まて問題意識を持って課題発見する理 クース・スラロセスを学ぶ。 中島・大き 大き 大	コニバーサルデザイン	コニバーサルデザイン	コニバーサルデザイン	コニバーサルデザイン	コニバーサルデザイン	コニバーサルデザイン 人のためのデザインを心がけられる人間がを乗う。 前 30 1 ○ ○ ○ ○ メディアユニバーサルデザイン 節中の 「ユニバーサルデザイン」で習得した知識や情報を表 3 の 1 ○ ○ ○ ○ イナーと社会 で 3 の 1 ○ ○ ○ ○ ○ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	コニハーサルデザイン 人のためのデザインを心がけられる人間力を養う。 前 初 1 ○ △ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	コニバーサルデザイン 人のためのデザインを必がけられる人間力を装う。 前 30 1 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

0	DTP演習IB	DTPアプリケーションIllustrator、Photpshopを使用し、日刷物の実習課題を制作。オペレーション、デザイン知識を覚習する。		30	1	0	C			0
0	DTP演習Ⅱ	DTPアプリケーションIllustrator、Photpshopを使用し、F 刷物の実習課題を制作。オペレーション、デザイン知識を学 習する。		30	1	0	C)		0
0	DTP演習Ⅲ	DTPアプリケーションIllustrator、Photpshopを使用し、日 刷物の実習課題を制作。オペレーション、デザイン知識を学 習する。		30	1	0	C)		0
0	エディトリアルデザイン	現場で使用するInDesignの基本的な知識や操作方法を習得する。また、ページもののレイアウトデザインを学ぶことで、雑誌等の印刷物への応用力を身に つける。	· 3 • 通	90	3	0	C		0	
0	デザインスケッチ	パースや製品デザインを鉛筆やボールペンで描き、マーカーを中心した画材を使い手描きのスケッチ技術を習得する。	2 • 前	30	1	0	C			0
0	広告イラストI	雑誌やチラシ等、幅広い広告物に使用されるイラスト。クライアントの求めるイラスト提供ができるよう、様々なシチェエーションやタッチのイラスト表現に挑戦する。		30	1	0	C			0
0	広告イラストⅡ	雑誌やチラシ等、幅広い広告物に使用されるイラスト。クライアントの求めるイラスト提供ができるよう、様々なシチェエーションやタッチのイラスト表現に挑戦する。		60	2	0	C			0
0	デジタルイラスト I	ペン・タブレットを用い、その設定方法やデジタル描画技術を学ぶ。ペイントソフトとペン・タブレットの組み合せによる新しい画材を体験する場として捉えてほしい。		30	1	0	C			0
0	デジタルイラストⅡ	ペン・タブレットを用い、その設定方法やデジタル描画技術を学ぶ。ペイントソフトとペン・タブレットの組み合せによる新しい画材を体験する場として捉えてほしい。		30	1	0	C			0
0	写真Ⅱ	デザインをする過程において 写真の撮り方(カメラマンへの 指示の方法)を理解した上で、紙面構成を出来る様にする。	2 · 前	30	1	0	(0
0	写真Ⅲ	写真 I ・ II で得た知識・技術を元に、自らの意図するデザインに使用するための作品を撮影できる技術を身につける。	3 • 通	30	1	0	C			0
0	フォトレタッチ I	デジタルでの現像方法を学ぶことで適切な補正方法を理解する。	2 • 前	30	1	0	C			0
0	フォトレタッチⅡ	2年次に学習した現像技術のスキルをより高める。デジタルでの現像方法を学ぶことで適切な補正方法を理解するとともに、写真加工の応用力を身につける。		30	1	0				0
0	コマーシャルフォトI	細やかなテクニックを駆使し 物のシズル感を表現出来る村にする。ストロボやスタジオ機材の使用方法を身につける。	2 • 後	30	1	0	C			0
0	コマーシャルフォトⅡ	2年次に学習した撮影技術をもとに、新たなモチーフの撮景にチャレンジする。細やかなテクニックを駆使し 物のシスル感を表現出来る様にする。		30	1	0	C			0
0	ファッションフォト	写真 I で得た基礎知識を元に、自らの意図通りにファッション風作品を撮影できる技術を身につける。	2 • 通	30	1	0	C)		0
0	写真表現	ファッションフォトで撮影した写真をもとに、写真集を① 画・編集・制作し、印刷物として完成させる。編集作業一選 の流れを通し、写真の見せ方を学ぶ。		30	1	0	C)		0
0	3 Dデザイン I	国内外の現場で広く使用されている3DCGツールを使用したモーショングラフィックスに必要な基本的な技術とモデリングの技術を習得し、なぜ3DCGが必要かを制作しながら理解する。	1 :	60	2	0	C			0

0	3 DデザインⅡ	国内外の現場で広く使用されている3DCGツールを使用したモーショングラフィックスに必要な基本的な技術とモデリングの技術を習得し、なぜ3DCGが必要かを制作しながら理解する。	/ š	90	3		0	0		0	
0	デジタル造形	デジタル表現での立体造形を通して、形や構造の複雑やを観察する力を養う。	2 · 前	30	1		0	0		0	
0	編集技術	撮影した動画をもとに動画編集ソフトを使用し、デジタル的に切り貼りを行い編集する技術を習得する。	2 · 通	30	1		0	0	(5	
0	映像企画	テレビCMにおけるプランニングのノウハウや映像作品の構成について学び、テーマ選び・効果や意味づけなどを踏まえて企画立案し、絵コンテを完成させる。		30	1		0	0		0	
0	映像演出	プランニングに基づき、CM作品を完成させる。撮影機材や投影テクニックを学び、効果的なカメラワークや編集方法を見につける。		60	2		0	0		0	
0	音楽演習	コンピュータを活用した音楽、音声の制作基礎を学ぶ。	2 • 前	30	1		0	0		0	
0	PV企画	プロモーションムービー等の動画作品を作るための企画や 成の仕方を学ぶ。	3 · 前	30	1		0	0		0	
0	動画実習	企画に基づいて撮影を実施し、編集作業も行い、プロモ- ションムービーを完成させる。	3 · 後	30	1		0	0		0	
0	動画研究	今までに学習した映像制作の知識をベースに映像コンテンとの企画・制作を行う。	/ 3 · 後	30	1		0	0		0	
0	モバイルコンテンツ制作	マルチデバイスへ対応したコンテンツ制作の需要は、昨今急速に増加している。本授業ではスマートフォンに焦点をきて、デバイスの特性の理解とコンテンツ制作の基本知識が 応用までを学習する。	á .	90	3		0	0		0	
0	CM制作	学校CMの制作を通して、CM制作の考え方・制作方法等を学習する。	3 · 前	60	2		0	0		0	
0	Web基礎A	Webデザインに必要な基本的なリテラシー(専門知識)と、 ソフトウェアオペレーション、その他専門技術を学ぶ。	2 • 通	60	2		0	0		0	
0	Web基礎B	Webデザインに必要な基本的なリテラシー(専門知識)と、 ソフトウェアオペレーション、その他専門技術を学ぶ。	2 • 通	90	3		0	0		0	
0	WebレイアウトI	実習課題を通して、Webサイトのデザインに必要な色使いや構成、見せ方など、レイアウトの表現力を学び、技術を高める。	b 2 · 前	60	2		0	0		0	
0	WebレイアウトII	Webサイトのデザインの中でも特に、UIについての知識を認め、表現方法について学ぶ。同時に、UXについても触れることで、ユーザー側の視点に立ったデザイン提案ができる技術を身につける。	- -	60	2		0	0		0	
0	Web概論	Webデザインに必要なHTTP・HTMLなどの仕組みについてより 専門的な部分への学びを深め、Webデザインやサイト運営I 必要な基礎知識についての理解を深める。		30	1	0	Δ	0		0	
0	Web企画	サイトデザインを考え、提案する実習を通して企画力を身につける。	2 · 後	30	1		0	0		0	
0	W e b マーケティング	SEOをはじめとするWebマーケティングや通販サイト運営には ける手法について学ぶ。	3 · 前	30	1	0	Δ	0		0	

	0	Webプログラミング	HTML∕CSSに加え、JavascriptやPHPなどのプログラミング言語を使用して様々なWebコンテンツを制作。プログラミングの基本概念からその応用までを学習する。		90	3		0		0			0	
	0	WebPR	Webサイト企画に基づいてデザイン・制作・完成までの一連 の流れを経験し、技術力を向上させる。	3 • 前	60	2		0		0			0	
	0	Web企画・運営	Webサイトの運営実習を通して、サイト完成後の運営の一連 の流れを理解し、作業工程や知識を身につける。	3 • 通	90	3		0		0			0	
	0	ストーリー構成	ページものの漫画作品に必要なストーリー構成の組み立て方 を学ながら、漫画制作における「企画力」「アイデア出し」 「プレゼンカ」を高める。	2 · 前	30	1		0		0			0	
	0	マンガ制作	ページものの作品を制作しながら、マンガ制作に必要な知識・技術・要領を体得する。また、マンガ制作ソフト「クリップスタジオ」の使用方法を習得する。		30	1		0		0			0	
	0	サインデザイン	空間や誘導に必要なサインデザインの必要性を理解し、見る 側の視点に立ったサインデザインを考え、制作を行う。	2 · 後	30	1		0		0			0	
	0	映像制作	ファッションショーの映像を担当するなど、イベント映像制作の技法を学ぶ。依頼内容に基づき映像編集を行い、映像制作一環のノウハウを学習する。		30	1		0		0			0	
0		キャリアプラン	特に就職活動に直接結び付くための社会人意識を身につけ、 働くことへの意識向上や自分自身の強みを知り自己PR表現の 実践を行い、社会人としてのマナー、コミュニケーション能 力を身につける。		30	1	0	Δ		0			0	
0		産学連携プロジェクトI	連携先企業よりテーマ提供を受け、デザインを使って問題解 決にあたる。	1 · 後	30	1		0		0			0	
0		産学連携プロジェクトⅡ	地域貢献を題材として、仕掛けや仕組み、考え方や行動まで デザインすることを通して地域の未来を支える力を育てる。	2 • 前	30	1		0		0			0	
0		産学連携プロジェクトⅢ	地域貢献を題材として、仕掛けや仕組み、考え方や行動まで デザインすることを通して地域の未来を支える力を育てる。	3 · 前	60	2		0		0			0	
0		卒業制作	卒業制作のテーマとなる内容を考え企画を研究・立案。3年間で身につけた技術の集大成として、各自のテーマに沿ったデザイン制作を行い、作品を効果的に演出、展示する。		240	8		0		0			0	
	0	研修旅行	訪問先の国や地域での文化や生活に触れ、視野を広めるとと もに、異文化理解を深めることを目指す。		60	2			0		0	0		
	0	色彩検定3級講座	色彩理論の基礎である配色法・伝達法・心理的作用等を確認 し、色彩検定3級合格を目指した演習を行なう。		30	1		0		0			0	
	0	色彩検定2級講座	3級で学習する配色やイメージについてさらにレベルアップ。ファッションやインテリア、景観色彩など各分野でのカラーコーディネートについて学習し、色彩検定2級合格を目指す。		30	1		0		0			0	
	0	色彩検定1級講座	色彩実務担当者として色彩設計に携わることができるレベル の内容を学習する。色彩検定 1 級合格を目指す。		30	1		0		0			0	
	0	色彩検定UC級講座	色覚の多様性に配慮した、誰もが見やすい色使い、色のユニ 彩検定UC級講座 パーサルデザインについて学習する。色彩検定UC級合格を目 指す。		30	1		0		0			0	
	0	パーソナルカラー(モジュール I)講座	パーソナルカラーに必要な色の基礎知識と、色を見分けるポイントを習得する。色彩技能パーソナルカラー検定モジュール I (初級)合格を目指す。		30	1		0		0			0	
	0	パーソナルカラー(モジュール I)講座	イントを習得する。色彩技能パーソナルカラー検定モジュー		30	1		0		0			С)

0	パーソナルカラー(モジュール II) 講座	実際にパーソナルカラー診断を行なうために必要な色彩技能について学習する。色彩技能パーソナルカラー検定モジュール II (中級) 合格を目指す。	30	1		0		0		0
0	ビジネス実務マナー検定講座	ビジネス社会の基本ルール (=職場常識) について学習する。ビジネス実務マナー検定合格を目指す。	30	1	0			0		0
0	マンガ検定講座	マンガ表現の描画技術を磨き、豊かな表現力を養う。漫画能 力検定の合格を目指す。	30	1		0		0		0
0	イラストレーター基礎講座	adobe Illustratorの基本的な使用方法について学習する。 POP制作等に展開できる力を養う。	30	1		0		0		0
0	フォトショップ基礎講座	adobe `Photoshopの基本的な使用方法について学習する。写 真加工等に展開できる力を養う。	30	1		0		0		0
0	イラストレーター検定講座	adobe Illustratorの基本的な使用方法及び様々な機能について学習する。Illustratorクリエイター能力認定試験合格を目指す。	30	1		0		0		0
0	フォトショップ検定講座	adobe Illustratorの基本的な使用方法及び様々な機能について学習する。Illustratorクリエイター能力認定試験合格を目指す。	30	1		0		0		0
0	3DCAD基礎講座	機械系または建築系の3次元CADの基本的な使用方法について学習する。3DCADを用いた設計の基本を学習し簡単な設計図の作成能力を身に付ける。	30	1		0	,	0		0
0	2DCAD基礎講座	機械系または建築系の2次元CADの基本的な使用方法について学習する。CADを用いた設計の基本を学習し簡単な設計図の作成能力を身に付ける。	30	1		0		0		0
0	SNS活用	マーケティングにおけるSNSの活用方法について、実践的に 学ぶ。同時にSNSを活用した顧客エンゲージメント向上につ いて考える。	30	1		0		0		0
0	写真	シャッタースピード、絞り、被写界深度など、写真の基礎的 項目を学びながら、SNS等で発信する際のビジュアル表現に ついて演習を行なう。	30	1		0		0		0
0	映像編集講座	映像撮影から、その編集方法までを学習する。同時に映像に よる効果的な演出方法について考え、マーケティングに活用 するための演習を行なう。	30	1		0		0	0	
0	ビジネスアプリケーション	ビジネスシーンで一般的に用いられる、ワープロ・表計算ソフトの使用方法を学ぶ。表計算については、検定試験に挑戦する。	30	1		0	,	0	0	
0	デッサン演習	デッサンカ向上を目的とした講座である。それぞれのモチーフに向き合い、物の形をとらえ、表現する基本的な力を養う。	30	1		0		0		0
0	イラストレーション基礎	様々な画材を用いたイラストレーション手法について学ぶ。	30	1		0		0		0
0	イラストレーション演習	イラストレーションの技術を活かした作品制作を行なう。	30	1		0		0		0
0	ファッションデザイン画	デザイン画を描くための基礎を学習する。絵を描く事の楽しさにふれ、自身のデザインを表現する為の技術を身につける。人体の構造を学び、プロポーションを正しく理解する。	30	1		0		0	0	
0	素材研究(金属)	身近ではあるが加工には特殊な技術が必要になる金属を実際 に加工し、素材としての金属の特性や特徴を理解する。	30	1		0		0		0

素材研究(革)	ファッションや雑貨に使われる素材の中から革に注目し、素 材としての特性や特徴を理解し、作品を制作する。	30	1		0		0		0	
英会話講座	英会話の基礎を学ぶ。英会話を通じて、グローバル意識を育 み、積極的にコミュニケーションを図る力を養う。	30	1		0		0		0	
中国語基礎講座		30	1		0		0		0	
韓国語基礎講座		30	1		0		0		0	
心理学	心理学の基礎を学ぶことで、人の成長・発達と心理との関係、日常生活と心の健康との関係などについて理解する	30	1	0			0		0	
アロマテラピー		30	1		0		0		0	
茶道	日本の伝統芸術茶道を通して、自然との関わり方を学ぶ。	30	1			0	0		0	
華道	日本の伝統芸術華道を通して、自然との関わり方を学ぶ。	30	1			0	0		0	
コピーライティング講座		30	1		0		0		0	
ラッピング講座	商業ラッピングの基礎知識を身に付け、慶弔贈答の基本的な 包装ができるようになることを目的とする。	30	1		0		0		0	
服飾造形基礎	人体構造や原型についての基礎知識を学び、縫製についての 基礎、応用を習得する。洋服の修繕について実践も行なう。	30	1		0		0		0	
知的所有権講座		30	1	0			0		0	
フラワーアレンジメント講座		30	1		0		0		0	
モデルウォーキング		30	1		0		0		0	
セルフプロモーション講座	グループ演習を通して、自分自身をプレゼンテーションする 能力の向上を目指す。	30	1		0		0		0	
作品制作	自らの目的に合ったデザイン作品の制作を行なう講座である。ポートフォリオ作品の充実を目指す。	30	1			0	0		0	
就職講座	就職活動に向け、自己分析を行ない、キャリア設計を行な う。同時に希望就職先に向けた対策を実施する。	30	1		0		0		0	
デザインプロジェクト活動	デザインのチカラを活かしたプロジェクト活動を行なう。	30	1			0	0		0	
	英会話講座 中国語基礎講座 中国語基礎講座 心理学 アロマテラピー 茶道 華道 コピーライティング講座 服飾造形基礎 知的所有権講座 マラワーアレンジメント セルフプロモーション セルフプロモーション 作品制作 就職講座		対としての特性や特徴を理解し、作品を制作する。	# おもしての特性や特徴を理解し、作品を制作する。 英会話講座	茶の物外、(本) 材としての特性や特徴を理解し、作品を制作する。 30	対しての特性や特徴を理解し、作品を制作する。	対としての特性や特徴を理解し、作品を制作する。	対象といての特性や特徴を理解し、作品を制作する。	対としての特性や特徴を理解し、作品を制作する。 30 1 0 0 0 0 0 0 0 0	接合しての特性や特徴を理解し、作品を制作する。

0	地域連携プロジェ	クト活動	地域団体主催のプロジェクト活動に、継続的に参加する。		30	1		0		0		0	
0	資格取得講	· E	デザインに関する資格取得に挑戦し、自らのキャリアアップにつなげる。	f	30	1	0		0			0	
0	資格取得講	座 Ⅱ	ファッション・ビューティー分野に関する資格取得に挑戦 し、自らのキャリアアップにつなげる。	Š	30	1	0		0			0	
0	SDGs推進プロ	1ジェクト	SDGs推進プロジェクト活動に継続的に参加し、人と環境がより良く共存できる社会の実現について考え実践する。	W.	30	1		0	0			0	
0	ボランティア	活動 I	地域のボランティア活動に継続的に参加することで、ボランティアマインドを体得し、人間性やコミュニケーションの向上を図る。		60	2		0		0	0		
0	ボランティア	活動Ⅱ	地域のボランティア活動に継続的に参加することで、ボランティアマインドを体得し、人間性やコミュニケーションの向上を図る。		30	1		0		0	0		
0	インターンシ	ップ I	関連企業等にて、1週間の職場体験(インターンシップ)を 行なう。デザイン・ファッション業界の現場をりあるに経験 する。		60	2		0		0	0		
0	インターンシ	ップⅡ	関連企業等にて、3日間程度の職場体験(インターンシップ)を行なう。デザイン・ファッション業界の現場をりあるに経験する。		30	1		0		0	0		
0	チャレンジプロ・	グラム I	外部コンテストや、企業とのコラボレーション、地域貢献に 繋がるイベントにチャレンジするプログラム。	:	30	1		0	0		0	0	
0	チャレンジプロ・	グラムⅡ	外部コンテストや、企業とのコラボレーション、地域貢献に 繋がるイベントにチャレンジするプログラム。	-	30	1		0	0		0	0	
0	チャレンジプロ・	グラムⅢ	外部コンテストや、企業とのコラボレーション、地域貢献に 繋がるイベントにチャレンジするプログラム。		30	1		0	0		0	0	
0	チャレンジプロ・	グラムⅣ	外部コンテストや、企業とのコラボレーション、地域貢献に 繋がるイベントにチャレンジするプログラム。	-	30	1		0	0		0	0	
0	チャレンジプロイ	 グラム∇	外部コンテストや、企業とのコラボレーション、地域貢献に 繋がるイベントにチャレンジするプログラム。		30	1		0	0		0	0	_ _
	合計		154科目	1			29)40È	单位	時間](9	8単	位)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
必須科目の成績評価において不可(評価点60点未満)がなく、年間出席時限数が年間消化時間の85%以	1 学年の学期区分 2 対	期
上であり 学納金が未納でないこと	1 学 期 の 埓 幸 期 問 1 1 1 1 1 2 3	泪

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

¹ 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月1	日 校長名			所在地					
	DD 34 14			∓ 420−0	839 静岡県静	<u> </u>					
静岡デザイン専		昭和51年3月30	77777		(電話) 054-252	2–1766					
設置者名		設立認可年月1	日 代表者名			<u>所在地</u>	_				
学校法人 静岡理工科		昭和27年3月31	日 杉浦 哲	〒420−8	538 静岡県静 (電話)054-200	岡市葵区相生町12番18 5 1–2222	5				
分野		 定課程名	認定学	科名	(電話) 054-200	専門士	高	度専門士			
文化・教養	文化・	教養 専門課程	プロダクトラ	デザイン科	1	平成12年文部省告示领 号	第15				
学科の目的			雑貨、ステーショナリー、ホ び、モノ作りを総合的に行う				様々な製品の企園	画・デザインから制			
認定年月日	平成28年	2月29日				1					
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	講義		演習	実習	実験	実技			
3 -	昼間	2940時間	330時間		1800時間	810時間	0時間	0時間			
生徒総定		生徒実員	留学生数(生徒実員の内	専	任教員数	兼任教員数		単位時間 総 教員数			
60人		58人	0人		3人	31人		34人			
学期制度		4月1日~9月30月 10月1日~3月31日			成績評価	■成績表: ■成績評価の基準・方法 学期末までに課題提出 等を合わせ、60点以上を	または試験を実施	、平素の授業態度			
長期休み	■夏 ■	台: 4月1日~4月11 季: 7月28日~8月2 季: 12月23日~1月 末: 3月15日~3月3	9日 5日		卒業·進級 条件	■必須科目の成績評価 ■年間出席時限数が年 ■学納金が未納でない	間消化時間の85				
学修支援等	■個別相 新入生に な面談を	目談・指導等の対応 対する個別面談を対	有	た実期的 サポート	課外活動	ハロウィンイベント、クラブ活動、ボランティア活動等					
就職等 の 状況※2	■主な就職先、業界等(令和3年度卒業生) プロダクトデザイナー、家具企画販売、CADオペレーター等 ■就職指導内容 ・それぞれの適止を見極め、企業とのマッチンクを行つ。 ・身嗜み講座の実施、面接指導、履歴書指導、ホートフォリオ制作指 適 ■卒業者数 15 人 ■就職希望者数 14 人 ■就職者数 13 人 ■就職者数 13 人 ■就職者数 13 人 ■就職者数 13 人 ■就職本 192.9 %6 ■卒業者に占める就職者の割合							合格者数			
中途退学 の現状	令和4年3 ■中途3 体調不良 ■中退限 ・休んだ。	4月1日時点において 3月31日時点におい 8学の主な理由 4、進路変更 坊止・中退者支援の 当日に本人もしくは自 らの声掛け、定期的	、在学者54名(令和3年4月1 て、在学者53名(令和4年3月) のための取組 3宅に連絡し、状況を把握するな面談を行い、学生の変化の	31日卒業者	者を含む)	シテリアデザイン科より転科	の学生1名あり				
経済的支援 制度	•特待生 特待生	制度 ::授業料全額免除 実践教育訓練給付		 %免除 ≥	——— 集特待生B∶授業	料の25%免除 準特待生	EC:授業料100,	000円免除			
第三者による 学校評価	※有の均	D評価機関等から 場合、例えば以下に 体、受審年月、評		載したホー	-ムページURL)						

当該学科の ホームページ URI

http://www.sdc.ac.jp

(留意事項)

1 公表年月日(×1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映 した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

- 「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意 し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。
- (1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について
- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます
- ②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留 年」「資格取得」などを希望する者は含みません
- ③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をい います。
- ※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の 者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。
- (2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について
- ①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます
- ②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。
 (3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と 同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的 な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

プロダクトデザインに必要とされる知識・技術・業界マインドを教育課程に取り入れ、即戦力として活躍できる人材を育成するために、教育課程編成委員会を開催し、業界人、企業等の関係者の意見を踏まえ授業科目および授業時間の見直しを検討する。また、教育内容は業界のニーズにマッチするように常に見直し、教育課程およびシラバスの内容を改善している。

- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

企業関係者と学校職員が連携して教育課程の評価と改訂を適切に行い、教育内容及び学校運営の改善と向上を図る ことにより、実践的な職業専門教育を行う教育課程を編成することを目的とする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年10月1日現在

名 前	所属	任期	種別
波多野 浩太郎	静岡県広告業協会 理事長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	1
松木 徳夫	株式会社 加減乗除 代表取締役	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	3
坂本 晴敏	株式会社 エスディティーエンタープライズ コンテンツセンター クリエイティブ制作部長兼デザイン室長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	3
榊原 幸弘	有限会社サイズ 代表取締役社長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	3
鈴木 猪三男	ウインホーム株式会社 取締役 総務部長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	3
塩谷 弘子	プランニングルーム 代表	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	3
久保田 香里	静岡デザイン専門学校 校長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
保科 康浩	静岡デザイン専門学校 教務課長 兼 プロダクトデザイン科 学科長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
大場 厚始	静岡デザイン専門学校 教務課長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
橋本 明奈	静岡デザイン専門学校 グラフィックデザイン科 学科長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
井上 靖久	静岡デザイン専門学校 プロダクトデザイン科 学科長	令和3年10月1日~ 令和4年3月31日	
岩﨑 京子	静岡デザイン専門学校 インテリアデザイン科 学科長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
羽賀 潤平	静岡デザイン専門学校 プロダクトデザイン科	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	

- ※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
- (年間の開催数及び開催時期)

年2回 (3月、8月)

(開催日時(実績))

第1回 令和3年8月3日(火) 13:30~15:30 第2回 令和4年3月29日(火) 13:30~15:30

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
- 授業計画(シラバス)の作成過程及び公表までの流れ
- 12月 ~ 次年度授業計画の策定
- 1月 ~ 担当教員への授業計画(シラバス)作成依頼・シラバステンプレート配布・シラバスガイドライン配布
- 2月 ~ 授業計画(シラバス)回収・チェック
- 3月 ~ 授業計画(シラバス)訂正・公表準備
- 4月 ~ 授業計画(シラバス)公表

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

商品・製品が作られていく過程を学べるように、商品企画、アイデア展開、図面制作、モデル制作、プレゼン資料制作等 の実際の業務に携わり、職業人としての基本知識を身につけることができる内容としている。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

担当教員と企業の講師が事前に、実習内容や学習成果の評価指標等について決める。授業は企業講師が打合せに基 づき実施し、授業終了後には企業講師が打合せした評価指標に沿って成績評価を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

_	0 / 2 C T F 0 X = 123 0 2 12 1/1	(PIDXICO CIGIOXI) COPIDICO CIETA	
	科目名	科 目 概 要	連携企業等
		クライアントを設定し、より現実的な家具デザインの提案を行なうことで、より実践的なデザイン能力を養う。	有限会社 環プロダクツ

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

「静岡デザイン専門学校 教員研修規程」を定めており、規定に基づき、教員の資質向上、専門分野における知識・技能 の向上を図るために「専攻分野における実務に関する研修」及び「指導力の修得・向上のための研修」と認められる研 修をリサーチし、計画的に参加している。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「はじめてのカラーユニバーサルデザイン」(連携企業等:一般社団法人カラーコーディネーター協会)

対象:クリエーター、デザイナー 期間:令和3年8月1日

内容:色覚の多様性、カラーユニハ゛ーサルテ゛ザ・インを知る

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「指導力向上研修」学校法人静岡理工科大学専門学校グループ主催

期間:令和4年1月5日(水) 対象:学校所属全教員

内容:PBLによるアクティブラーニングの取り入れ方、今後入学する学生の授業運営に役立てる

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「JIDAデザインセミナー」(連携企業等:日本インダストリアルデザイナー協会) 期間:未定対象:インダストリアルデザイナー、プロダクトデザイナー

内容:日本インダストリアルデザイナー協会が主催する会員向けのセミナーを受講し、授業運営の参考にする

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「指導力向上研修」 学校法人静岡理工科大学専門学校グループ主催

対象:学校所属全教員 期間:未定

内容: 学生指導にあたっての指導力向上のための研修を行なう。 具体的な内容は、今後検討する。

- 4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係
- (1)学校関係者評価の基本方針

「静岡デザイン専門学校 学校関係者評価委員会規約」に則り、本委員会は、本校の教育活動や自己評価結果について、自己評価の客観性・透明性を高めるとともに、学校運営の改善、教育力の向上に資することを目的とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

	グラストー
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念•目標
(2)学校運営	(2)教育活動
(3)教育活動	(3)教育成果
(4)学修成果	(4)学生支援
(5)学生支援	(5)教育環境
(6)教育環境	(6)学生の募集と受け入れ
(7)学生の受入れ募集	(7)教職員組織、学校運営・管理、財務、法令等の遵守
(8)財務	(8)社会貢献・地域貢献、国際交流
(9)法令等の遵守	
(10)社会貢献・地域貢献	
(11)国際交流	
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	

- ※(10)及び(11)については任意記載。
- (3)学校関係者評価結果の活用状況
- (1)から(8)までの評価項目に対して自己評価を行い、自己評価に対して各委員より多くの意見をいただいた。これらの意見は学校評価報告書にまとめ、学内並びに学校ホームページ上で公開し、情報の共有化を図っている。 学習環境・施設環境等の改善については、優先順位をつけて適宜対応している。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成3年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
青島 千枝美	柴田千枝美事務所 代表 (卒業生)	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	卒業生
浦田 友美	静岡デザイン専門学校 後援会 会長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	保護者代表
塚本 雅英	伝馬町発展会 会長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	近隣住民代表
杉原 徹	T Design 代表	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	企業等委員
松木 徳夫	株式会社 加減乗除 代表取締役	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	企業等委員
品川 誠二郎	株式会社大丸松坂屋百貨店 静岡店 人材開発部 マネージャー	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	企業等委員
	事務局		
久保田 香里	静岡デザイン専門学校 校長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	学内委員
大場 厚始	静岡デザイン専門学校 教務課長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	学内委員
永峯 秀紀	静岡デザイン専門学校 教務課長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	学内委員
守谷 洋子	静岡デザイン専門学校 総務課長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	学内委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL:http://www.sdc.ac.jp 公表時期:令和4年6月30日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育活動、学校運営、学習成果等への理解を深めていただくため、「学校情報」並びに「学校評価報告書」をホームページ上で公開している。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	(1)学校概要、教育理念、教育目標
(2)各学科等の教育	(2)各学科の教育
(3)教職員	(3)教職員
(4)キャリア教育・実践的職業教育	(4)キャリア教育・実践的職業教育
(5)様々な教育活動・教育環境	(5)教育施設・設備、学校行事、様々な教育活動
(6)学生の生活支援	(6)学生の生活支援
(7)学生納付金・修学支援	(7)学生納付金・修学支援
(8)学校の財務	(8)学校の財務
(9)学校評価	(9)学校評価
(10)国際連携の状況	(10)国際連携の状況
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)

URL: http://www.sdc.ac.jp

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程プロダクトデザイン学科) 令和 4 年度 分類															
	選択	自由	授業科目名	授業科目概要	配当年次	授業	単位		<u>兼万</u> 演	実験・実		校			企業等と
修	必修	選択			· 学 期	時 数	数	義	習	習・実技	内	外	任	任	の連携
0			コミュニケーション活動 I	有意義な学生生活を過ごすために、始業式、オリエンテーション、終業式、防災訓練、球技大会、観劇等をとおして、 見聞を広げ、協調性を身につける。	1 · 通	60	2			0	0	Δ	0		
0			コミュニケーション活動Ⅱ	有意義な学生生活を過ごすために、始業式、オリエンテーション、終業式、防災訓練、球技大会、観劇等をとおして、 見聞を広げ、協調性を身につける。	2 • 通	60	2			0	0	Δ	0		
0			コミュニケーション活動皿	有意義な学生生活を過ごすために、始業式、オリエンテーション、終業式、防災訓練、球技大会、観劇等をとおして、 見聞を広げ、協調性を身につける。	3 • 通	60	2			0	0	Δ	0		
0			デッサン	遠近法がどのようなものであるかを理解する。 また、3次元で空間に存在する形を正確に描写する力を身に つける。	1 • 前	60	2		0		0			0	
0			アイディアスケッチ	レタリング技能検定に挑戦し、文字の基本とデザイン用具の 使用方法を習得する。また様々な画材を使い、手描きスケッ チ技術を習得する。		60	2		0		0		0		
0			デザイン図学	図面の意義、基本的な線の引き方を訓練する。また、実線、破線、寸法線など、それぞれの線種の意味を理解する。	1 • 前	30	1		0		0			0	
0			平面構成	立体・空間デザインに共通する発想・表現・配置・配色の基本を、様々な平面課題を通して学ぶ。	1 · 前	60	2		0		0			0	
0			伝統技法	竹細工・漆・染色・指物・挽物・・・静岡には優れた伝統工 芸士が多く存在する。研ぎ澄まされた技術とモノづくりに対 する考え方、そして伝統技術と今後のモノづくりが向かうべ き道とはなにかを学ぶ。匠宿との連携。	١.	30	1		0		0			0	
0			立体造形	三面図を読み取りながら実際の形状がどのようになっている かを実際に制作し、多角的な立体構成力を身につける。	1 • 前	90	3		0		0		0	0	
0			色彩学	色彩の基礎知識を学習し、理論的な色彩計画の提案・プランを立てる手助けとする。また、インテリア・ライフスタイル デザインにも関連付けて学習する。色彩検定習得を目標とする。	l :	60	2	0			0			0	
0			デザイン史	デザインの歴史を学び、デザインという領域への理解を深め、デザイン活動にその考え方を活かせるようにする。	1 · 前	30	1	0			0		0		
0			巨匠デザイン学	個性ある新旧の巨匠たちのデザインをとおして、その時代背景、デザインの成り立ち、製作のプロセスを知る。	2 · 通	30	1	0			0			0	
0			UXデザイン I	U X デザインの基礎やユニバーサルデザインの基礎を習得する。	1 · 通	60	2	Δ	0		0		0	0	
0			UXデザインⅡ	U X デザインの基礎やユニバーサルデザイン、S D G s の概念の応用を習得する。	2 • 通	60	2	Δ	0		0		0	0	
0			UXデザインⅢ	UXデザインの基礎やユニバーサルデザイン、SDGsの概念の応用を活用して、学生が実際に作品を制作する。	3 • 前	90	3	Δ	0		0		0	0	

ビジネスプラン			60	2		0		0		0	0	
シューズデザイン	人間の体を支える足についての基礎知識を学ぶ。また靴をデザインすることで、靴作りのノウハウを学ぶ。	3 · ·	30	1		0		0		0		
家具デザイン			120	4		0		0		0	0	0
ホビーデザイン			60	2		0		0			0	
雑貨デザイン	雑貨の基礎知識をもとに雑貨店に必要な販売促進アイテムを リサーチし、実際の店舗を想定して試作を行う。	2 • 通	30	1		0		0			0	
インダストリアルデザイン			90	3		0		0			0	
クラフトデザイン			30	1		0		0			0	
パッケージデザイン			30	1		0		0			0	
素材演習 I	木、ガラス、金属の素材を体験しながら、基礎を習得する。 多種多様ながら身近な素材であるプラスチックの基礎知識を 学ぶ。	1 • 後	90	3		0	Δ	0			0	
素材演習Ⅱ		2 • 通	90	3		0	Δ	0			0	
プロダクトデザイン基礎 I	プロダクトデザインの基礎に沿って、デザインの基礎を習得 する。	1 · 前	60	2	0	Δ		0		0	0	
プロダクトデザイン基礎 Ⅱ	プロダクトデザイン『商品開発に関わるすべての人へ』のに 沿って、デザインの応用を習得する。	2 • 前	60	2	0	Δ		0		0	0	
デザインアプリケーション I	デザインの現場で必須アプリであるデザイン系ソフトウェア を学習し、基本的な操作法を習得する。	1 • 通	120	4		0		0			0	
デザインアプリケーションⅡ			30	1		0		0			0	
デザインアプリケーションⅢ			60	2		0		0			0	
デザインCAD I	製品をデザインし、形にしていく上で図面の制作は欠かせない。必要となるCADによる製図の描画方法を身に付ける。	1 · 前	60	2		0		0			0	
デザインCAD II	3 D特有の操作方法、表現方法を身に付けて製品作りの理解 を深める。またそれをプレゼンテーションにまで展開する。	2 • 通	90	3		0		0			0	
デザインCADⅢ	3 DCADソフトのオペレーションを習得する中で、より高度な製品図面の描画法を習得する。	3 . 後	90	3		0		0			0	
	ジューズデザイン 家具デザイン ホビーデザイン 雑貨デザイン インダストリアルデザイン クラフトデザイン パッケージデザイン 素材演習 I 素材演習 I デザイン基礎 I プロダクトデザイン基礎 I デザインアプリケーション I デザインアプリケーション II デザインアプリケーション II デザインアプリケーション II デザインアプリケーション II	はならない。マーケティング手法を実際に体験しながら目的を持った商品開発の意識を理解する。 シューズデザイン	世ジネスブラン はならない。マーケティングチ法を実際に体験しながら目的を持った商品開発の言葉を理解する。 シューズデザイン 人間の体を支支る足についての基礎知識を学ぶ。また教をデザインすることで、批作りのノウハウを学ぶ。 第具デザイン がおけるをあり、そのモノを形にする表対なび技術が必要。基本的な存在理由(コンセブト)を 2 がにするをあります。 またまりなみないまれ、スタイロフォームを使って原で大のモクアップを製作する。その論をマスタイリングの大切さについても学ぶ。	だジネスブラン はならない。マーケディングラ法を無限に体験しながら目的・通 3		はならない。マーケティング手法を実際に体験しながら自的 通 60 2 シューステザイン	はらない。マーケティング手法を実際に体験しながら目的 通 60 2 ○ 2 ○ 2 2 2 2 3 3 3 3 3 3	はならない。マーケライング手法を実際に体験しながら自治 1	世ジネスプラン はならない。マーケティング音法を考験に体験しながら目的 : 語 : 語 : 語 : 語 : 語 : : : : : : : : :	世ジネスプラン はならない。マーケティングデ法を実際に体験しながら目的 通 の 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	世ジネスプラン はならない。マーケティングテ法を実際に体験しながら目的 通 60 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	世ジネスプラン はならない。マーケティングラは変更を持ちられる。

	П		7	_										ĺ
0		ポートフォリオ制作 I	自分の情報を伝える手段として、就職面接の際に実践的に活用できる作品集の制作手法を身につける。	前	30	1		0		0			0	
0		ポートフォリオ制作 エ	就職活動に必要なポートフォリオをそれぞれの個性が伝わる ように改善する手法を学び完成度を高める。	3 • 通	30	1		0		0			0	
0		プレゼンテーション技法	自分の考えを論理的にまとめる手法や、相手に分かりやすく 伝えるための方法を総合的に学ぶ。	3 • 前	30	1		0		0			0	
0		キャリアプラン I	「自分自身を知ること」から始め、働くことに対する意識を 高める。	1 · 後	30	1	0			0			0	
0		キャリアプランⅡ	特にコミュニケーション能力を強化することを重視し、様々 な場面で対応できる能力形成を目的とする。	2 · 通	30	1	0			0			0	
0		キャリアプランⅢ	就職活動を念頭におき、面接時の対応、適正な履歴書の書き 方などを体得する。	3 • 通	30	1	0			0			0	
0		インターンシップⅡ	企業とのコラボレーションにより企画から製品までの一連の 商品開発を学ぶ。コラボレーションする企業側の要望をヒヤ リングし、それにそった提案やデザインをしていき商品化を 目指す。	·	30	1			0	0		0		
0		卒業制作	3年間で学んできたのことの集大成として、実社会へ踏み出す前の実績をつくる。研究成果に対しては外部の人や企業からの評価を受ける。		330	11			0	0		0	0	
0		卒業制作/マーケティング	「モノ」と「コト」の新しい価値を提案する「ライフスタイル提案シート」を作成、発表する。卒業研究のテーマに沿って、マーケティング活動を実施する。		30	1			0	0			0	
0		卒業制作/展示計画	卒業研究に取り組むにあたり、材料・素材の研究と加工の演習を実施し、各自の研究・制作に備える。 プロダクト検定に基づいたデザイン開発の習得とプロダクト 検定の取得を目指す。		30	1			0	0			0	
0		産学連携プロジェクト I	外部で開催されるイベントの目的に合わせたインスタレーションを製作。発案から製作、設置までをクラス全員で力を合わせて作り上げる大切さと難しさを習得する。		30	1			0	0		0		
0		産学連携プロジェクトⅡ	テーマの掘り下げからコンセプト立案・レンダリング・モデリングという一連のデザインプロセスを経て、産業界であるbud brand及び関連企業にプレゼンテーションを行う。		30	1			0	0			0	
0		産学連携プロジェクトⅢ	地域で開催されるイベントに参加することにより、販売されるクオリティーまでのスキルアップと材料費のコスト計算による原価計算や販売方法を習得する。		30	1			0	0			0	
0		産学連携プロジェクトⅣ	企業と共同開発を目指し、発案から製作した作品を外部企業にプレゼンテーションすることで、よりリアルで客観的な評価を受けることができ、スキルアップを習得する。		60	2			0	0		0		
	0	研修旅行	訪問先の国や地域での文化や生活に触れ、視野を広めるとと もに、異文化理解を深めることを目指す。		60	2			0		0	0		
	0	色彩検定3級講座	色彩理論の基礎である配色法・伝達法・心理的作用等を確認 し、色彩検定3級合格を目指した演習を行なう。		30	1		0		0			0	
	0	色彩検定 2 級講座	3級で学習する配色やイメージについてさらにレベルアップ。ファッションやインテリア、景観色彩など各分野でのカラーコーディネートについて学習し、色彩検定2級合格を目指す。		30	1		0		0			0	
	0	色彩検定1級講座	色彩実務担当者として色彩設計に携わることができるレベル の内容を学習する。色彩検定 1 級合格を目指す。		30	1		0		0			0	

0	色彩検定UC級講座	色覚の多様性に配慮した、誰もが見やすい色使い、色のユニバーサルデザインについて学習する。色彩検定UC級合格を目指す。	3	0	1	(0		0
0	パーソナルカラー(モジュール I)講座	パーソナルカラーに必要な色の基礎知識と、色を見分けるポイントを習得する。色彩技能パーソナルカラー検定モジュール I (初級)合格を目指す。	3	0	1	()	0		0
0	パーソナルカラー(モジュールⅡ)講座	実際にパーソナルカラー診断を行なうために必要な色彩技能について学習する。色彩技能パーソナルカラー検定モジュール II (中級)合格を目指す。		0	1	(0		0
0	ビジネス実務マナー検定講座	ビジネス社会の基本ルール (=職場常識) について学習する。ビジネス実務マナー検定合格を目指す。	3	0	1 (0		0		0
0	マンガ検定講座	マンガ表現の描画技術を磨き、豊かな表現力を養う。漫画能 力検定の合格を目指す。	3	0	1	()	0		0
0	イラストレーター基礎講座	adobe Illustratorの基本的な使用方法について学習する。 POP制作等に展開できる力を養う。	3	0	1	()	0		0
0	フォトショップ基礎講座	adobe `Photoshopの基本的な使用方法について学習する。写 真加工等に展開できる力を養う。	3	0	1	()	0		0
0	イラストレーター検定講座	adobe Illustratorの基本的な使用方法及び様々な機能について学習する。Illustratorクリエイター能力認定試験合格を目指す。	3	0	1	(0		0
0	フォトショップ検定講座	adobe Illustratorの基本的な使用方法及び様々な機能について学習する。Illustratorクリエイター能力認定試験合格を目指す。	3	0	1	()	0		0
0	3DCAD基礎講座	機械系または建築系の3次元CADの基本的な使用方法について学習する。`3DCADを用いた設計の基本を学習し簡単な設計図の作成能力を身に付ける。	3	0	1	(0		0
0	2DCAD基礎講座	機械系または建築系の2次元CADの基本的な使用方法について学習する。CADを用いた設計の基本を学習し簡単な設計図の作成能力を身に付ける。	3	0	1	()	0		0
0	SNS活用	マーケティングにおけるSNSの活用方法について、実践的に 学ぶ。同時にSNSを活用した顧客エンゲージメント向上につ いて考える。	3	0	1	()	0		0
0	写真	シャッタースピード、絞り、被写界深度など、写真の基礎的 項目を学びながら、SNS等で発信する際のビジュアル表現に ついて演習を行なう。	3	0	1	()	0		0
0	映像編集講座	映像撮影から、その編集方法までを学習する。同時に映像に よる効果的な演出方法について考え、マーケティングに活用 するための演習を行なう。	3	0	1	()	0	0	
0	ビジネスアプリケーション	ビジネスシーンで一般的に用いられる、ワープロ・表計算ソ フトの使用方法を学ぶ。表計算については、検定試験に挑戦 する。	3	0	1	()	0	0	
0	デッサン演習	デッサンカ向上を目的とした講座である。それぞれのモチーフに向き合い、物の形をとらえ、表現する基本的な力を養う。	3	0	1	()	0		0
0	イラストレーション基礎	様々な画材を用いたイラストレーション手法について学ぶ。	3	0	1	()	0		0
0	イラストレーション演習	イラストレーションの技術を活かした作品制作を行なう。	3	0	1	()	0		0

0	ファッションデザイン画	デザイン画を描くための基礎を学習する。絵を描く事の楽しさにふれ、時のデザインを表現する為の技術を身につける。	30	1		0		0	0	
0	素材研究(金属)	る。人体の構造を学び、プロポーションを正しく理解する。 身近ではあるが加工には特殊な技術が必要になる金属を実際 に加工し、素材としての金属の特性や特徴を理解する。	30	1		0		0	С)
0	素材研究(革)	ファッションや雑貨に使われる素材の中から革に注目し、素 材としての特性や特徴を理解し、作品を制作する。	30	1		0		0	С)
0	英会話講座	英会話の基礎を学ぶ。英会話を通じて、グローバル意識を育み、積極的にコミュニケーションを図る力を養う。	30	1		0		0	С)
0	中国語基礎講座	中国語の基礎並びに中国文化について学習し国際理解を深める。また、中国語による基本的な接客用語を学び、外国人旅 行客に対応した接客力を身に付ける。	30	1		0		0	С)
0	韓国語基礎講座	韓国語の基礎ならびに韓国文化について学習し国際理解を深める。また、韓国語による基本的な接客用語を学び、外国人旅行客に対応した接客力を身に付ける。	30	1		0		0	С)
0	心理学	心理学の基礎を学ぶことで、人の成長・発達と心理との関係、日常生活と心の健康との関係などについて理解する	30	1	0			0	С)
0	アロマテラピー	アロマテラピーの正しい基礎知識を学ぶ。癒しや美容に係わる仕事を視野に入れ、ビューティー&ヘルスケアの知識を深める。	30	1		0		0	С)
0	茶道	日本の伝統芸術茶道を通して、自然との関わり方を学ぶ。	30	1			0	0	С)
0	華道	日本の伝統芸術華道を通して、自然との関わり方を学ぶ。	30	1			0	0	C	
0	コピーライティング講座	情報発信をする際の言葉を創作する力を身につける。言葉によって興味を引き付ける方法を考え、創作し、発信するまでの過程を経験する。	30	1		0		0	С)
0	ラッピング講座	商業ラッピングの基礎知識を身に付け、慶弔贈答の基本的な 包装ができるようになることを目的とする。	30	1		0		0	С)
0	服飾造形基礎	人体構造や原型についての基礎知識を学び、縫製についての 基礎、応用を習得する。洋服の修繕について実践も行なう。	30	1		0		0	С)
0	知的所有権講座	著作権、意匠権、商標権、不正競争防止法等の事例や法令を 通して、知的所有権に関する基本的な概念について学びま す。	30	1	0			0	С)
0	フラワーアレンジメント講座	フラワー業界の概要について学ぶとともに、様々なデザイン やスタイルのパリエーションのアレンジメントを制作できる よう、生花を主に演習する。	30	1		0		0	С)
0	モデルウォーキング	ファッションショーを視野に入れ、モデルウォーキングを学ぶ。美しい立ち振る舞いについて研究し、SNS用の動画発信等の場面でも活かす。	30	1		0		0	С)
0	セルフプロモーション講座	グループ演習を通して、自分自身をプレゼンテーションする 能力の向上を目指す。	30	1		0		0	С)
0	作品制作	自らの目的に合ったデザイン作品の制作を行なう講座である。ポートフォリオ作品の充実を目指す。	30	1			0	0	С	

0	就職講座	就職活動に向け、自己分析を行ない、キャリア設計を行な う。同時に希望就職先に向けた対策を実施する。	30	1		0		0			0	
0	デザインプロジェクト活動	デザインのチカラを活かしたプロジェクト活動を行なう。	30	1			0	0		,	0	
0	地域連携プロジェクト活動	地域団体主催のプロジェクト活動に、継続的に参加する。	30	1			0		0	,	0	
0	資格取得講座 I	デザインに関する資格取得に挑戦し、自らのキャリアアップ につなげる。	30	1		0		0		,	0	
0	資格取得講座Ⅱ	ファッション・ビューティー分野に関する資格取得に挑戦 し、自らのキャリアアップにつなげる。	30	1		0		0		,	0	
0	SDGs推進プロジェクト	SDGs推進プロジェクト活動に継続的に参加し、人と環境がより良く共存できる社会の実現について考え実践する。	30	1			0	0			0	
0	ボランティア活動 I	地域のボランティア活動に継続的に参加することで、ボラン ティアマインドを体得し、人間性やコミュニケーションの向 上を図る。	60	2			0		0	0		
0	ボランティア活動Ⅱ	地域のボランティア活動に継続的に参加することで、ボラン ティアマインドを体得し、人間性やコミュニケーションの向 上を図る。	30	1			0		0	0		
0	インターンシップ I	関連企業等にて、1週間の職場体験(インターンシップ)を 行なう。デザイン・ファッション業界の現場をりあるに経験 する。	60	2			0		0	0		
0	インターンシップⅡ	関連企業等にて、3日間程度の職場体験(インターンシップ)を行なう。デザイン・ファッション業界の現場をりある に経験する。	30	1			0		0	0		
0	チャレンジプログラム I	外部コンテストや、企業とのコラボレーション、地域貢献に 繋がるイベントにチャレンジするプログラム。	30	1			0	0		0	0	
0	チャレンジプログラムⅡ	外部コンテストや、企業とのコラボレーション、地域貢献に 繋がるイベントにチャレンジするプログラム。	30	1			0	0		0	0	
0	チャレンジプログラムⅢ	外部コンテストや、企業とのコラボレーション、地域貢献に 繋がるイベントにチャレンジするプログラム。	30	1			0	0		0	0	
0	チャレンジプログラムⅣ	外部コンテストや、企業とのコラボレーション、地域貢献に 繋がるイベントにチャレンジするプログラム。	30	1			0	0		0	0	
0	チャレンジプログラムⅤ	外部コンテストや、企業とのコラボレーション、地域貢献に 繋がるイベントにチャレンジするプログラム。	30	1			0	0		0	0	
	合計	101科目			2	940	単位	時間	引(98	3単位	立)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	

│必須科目の成績評価において不可(評価点60点未満)がなく、年間出席時限数が年間消化時間の85%以 │	1 学年の学期区分	2期
上であり、学納金が未納でないこと。	1 学期の授業期間	18调

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

¹ 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について〇を付し、その他の方法について△を付すこと。

令和4年6月28日※1 (前回公表年月日:令和3年6月28日)

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月	日 校長名			所在地		
静岡デザイン専	門学校	昭和51年3月30	日 久保田 香里	₹420-0	0839 静岡県静原 (電話) 054-252	岡市葵区鷹匠2丁目19番19 ?−1766	5 号	
設置者名	7	設立認可年月	日 代表者名		(电阳) 004 202	所在地		
学校法 <i>)</i> 静岡理工科		昭和27年3月31	日 杉浦 哲	〒420− 8	3538 静岡県静原 (電話) 054-200	岡市葵区相生町12番18号)-3333		
分野	=3 pri	定課程名		忍定学科名		専門士	高月	度専門士
文化·教養	文化・	教養 専門課程	インテ	リアデザイン	科	平成23年文部省 告示第166号		
学科の目的						きる空間デザイナーの育成を 提案方法を実際の制作活動		
認定年月日	平成28年							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	講義		演習	実習	実験	実技
3 年	昼間	2910時間	960時間		270時間	1680時間	0時間	0時間 単位時間
生徒総定		生徒実員	留学生数(生徒実)	員の内 耳	 事任教員数	兼任教員数	W.	教員数
60人		67人	2人		3人	23人		26人
学期制度		4月1日~9月30日 10月1日~3月31日			成績評価	■成績表: 存 ■成績評価の基準・方法 学期末までに課題提出ま 等を合わせ、60点以上を	たは試験を実施、	平素の授業態度
長期休み	■夏 雪 ■冬 雪 ■学年ラ	台:4月1日~4月11 ≦:7月28日~8月2 ≦:12月23日~1月 長:3月15日~3月3	9日 5日 1日		卒業·進級 条件	■必須科目の成績評価に ■年間出席時限数が年間 ■学納金が未納でないこ	間消化時間の859	%以上であること
学修支援等	■個別村 新入生に	目談・指導等の対応 対する個別面談を い、学業の進捗状況	有 5 台めとして、在校生におし えを確認したり、学生生活		課外活動	■課外活動の種類 校内球技大会、国内研修中止) ハロウィンイベント、クラブ ■サークル活動:		
就職等の 状況※2	住宅・店舗でよります。 ・身本 では、 ・身本 では、 ・身本 では、 ・身本 では、 ・身本 では、 ・身本 では、 ・身本 では、 ・のは、 ・のは、 ・のは、 ・のは、 ・のは、 ・のは、 ・のは、 ・の	設計施工等 音導内容 れの適正を見極め、 講座の実施、面接指 音数 音数 医 に占める就職者の に	100 皆に関する	5 。	主な学修成果 (資格・検定等) ※3	インテリアコーディネーター 資格試験 AFT色彩検定3級 AFT色彩検定2級	重別 受験者数 ① 8人 ③ 7人 ③ 1人 ③ 8人 ・ 検定について、はする。 修了と同時に受験 2021 優秀賞3:	合格者数 1人 6人 1人 6人 5人 以下の①~③のい 等可能なもの 検資格を取得する
	■中途边		付点の 月報/	2 名	■中退	<u>I</u> 率 3.7 %	6	
中途退学 の現状	令和3年4 令和4年3 ■中途 体調不良 ・休んだ。 ・日頃か	月1日時点において 8月31日時点においる 2学の主な理由 、経済的な理由 ち止・中退者支援の 当日に本人もしくはほ らの声掛け、定期的	つための取組 自宅に連絡し、状況を把抗な面談を行い、学生の変	4月1日入学者を E3月31日卒業 握する。 ・スタ 化の早期発見	を含む) 者を含む) 年度途の ウールカウンセラー(・ 3.7ヶ 中にプロダクトデザイン科に東 による個別相談に応じている	云科の学生1名	
経済的支援 制度	•特待生 特待生	制度 ∷授業料全額免除 ξ践教育訓練給付	: 非給付対象	の50%免除 🧵	隼特待生B∶授業 ≭	斗の25%免除 準特待生C	∷授業料100, 00	00円免除
第三者による 学校評価	※有の均	D評価機関等から 場合、例えば以下し 体、受審年月、評		-	-ムページURL)			
当該学科の ホームページ URL	http://w	ww.sdc.ac.jp						

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映し た内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、そ れぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます

- ②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」 「資格取得」などを希望する者は含みません。
- ③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいい ます
- ※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の 者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。 (2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について ①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

- ②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者 とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。 (3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同 時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

インテリアデザインに必要とされる知識・技術・業界マインドを教育課程に取り入れ、即戦力として活躍できる人材を育成するために、教育課程編成委員会を開催し、業界人、企業等の関係者の意見を踏まえ授業科目および授業時間の見直しを検討する。また、教育内容は業界のニーズにマッチするように常に見直し、教育課程およびシラバスの内容を改善している。

- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

企業関係者と学校職員が連携して教育課程の評価と改訂を適切に行い、教育内容及び学校運営の改善と向上を図る ことにより、実践的な職業専門教育を行う教育課程を編成することを目的とする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年10月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
波多野 浩太郎	静岡県広告業協会 理事長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	1
松木 徳夫	株式会社 加減乗除 代表取締役	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	3
坂本 晴敏	株式会社 エスディティーエンタープライズ コンテンツセンター クリエイティブ制作部長兼デザイン室長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	3
榊原 幸弘	有限会社サイズ 代表取締役社長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	3
鈴木 猪三男	ウインホーム株式会社 取締役 総務部長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	3
塩谷 弘子	プランニングルーム 代表	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	3
久保田 香里	静岡デザイン専門学校 校長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
保科 康浩	静岡デザイン専門学校 教務課長 兼 プロダクトデザイン科学科長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
大場 厚始	静岡デザイン専門学校 教務課長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
橋本 明奈	静岡デザイン専門学校 グラフィックデザイン科 学科長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
井上 靖久	静岡デザイン専門学校 プロダクトデザイン科学科長	令和3年10月1日~ 令和4年3月31日	
岩﨑 京子	静岡デザイン専門学校 インテリアデザイン科 学科長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
羽賀 潤平	静岡デザイン専門学校 プロダクトデザイン科	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	

- ※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
- (年間の開催数及び開催時期)

年2回 (3月、8月)

(開催日時(実績))

第1回 令和3年8月3日(火) 13:30~15:30 第2回 令和4年3月29日(火) 13:30~15:30

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
- 授業計画(シラバス)の作成過程及び公表までの流れ
- 12月 ~ 次年度授業計画の策定
- 1月 ~ 担当教員への授業計画(シラバス)作成依頼・シラバステンプレート配布・シラバスガイドライン配布
- 2月 ~ 授業計画(シラバス)回収・チェック
- 3月 ~ 授業計画(シラバス)訂正・公表準備
- 4月 ~ 授業計画(シラバス)公表

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実践的な授業実施について協力的で、最新の技術習得に意欲的な企業を選定している。演習課題では様々なデザイン事例を活用し、新しい生活スタイルの提示法とプレゼンの方法を身につけられるよう要請している。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

担当教員と企業の講師が事前に、実習内容や学習成果の評価指標等について決める。これに基づき企業講師が本校で授業を行なう。修了時には講師の評価を踏まえ、担当教員が成績評価を行なう。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	科 目 概 要	連携企業等
全间ナザインB (建筑設備)	建築設備の用語、各設備の方式の概要、特徴及び設備計画の法令等を理解する。建築全体の省エネルキー対策で、設備で必要とされることを理解する。	(株)ビー・コンセプト

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

「静岡デザイン専門学校 教員研修規程」を定めており、規定に基づき、教員の資質向上、専門分野における知識・技能の向上を図るために「専攻分野における実務に関する研修」及び「指導力の修得・向上のための研修」と認められる研修をリサーチし、計画的に参加している。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「暮らしスタイルセミナー2022」(連携企業等: (株)サンゲツ)

期間:令和4年2月8日(火) 対象:デザイナー

内容:「サンゲツ商品の説明と暮らしからみた2022年のインテリア動向」

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「指導力向上研修」 学校法人静岡理工科大学専門学校グループ主催

期間:令和4年1月5日(水) 対象:学校所属全教員

内容:PBLによるアクティブラーニングの取り入れ方、今後入学する学生の授業運営に役立てる

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「インテリアコンシェルジュ資格認定講座(1級)」(連携企業等:一般社団法人日本ライフスタイル協会)

期間:未定 対象:建築・インテリア業界従事者、クリエーター、デザイナー

内容:家具の相談・助言業務に携わるスキルを身につけた人材育成について学ぶ

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「指導力向上研修」 学校法人静岡理工科大学専門学校グループ主催

期間:未定 対象:学校所属全教員

内容:学生指導にあたっての指導力向上のための研修を行なう。具体的な内容は、今後検討する。

- 4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係
- (1)学校関係者評価の基本方針

「静岡デザイン専門学校 学校関係者評価委員会規約」に則り、本委員会は、本校の教育活動や自己評価結果について、自己評価の客観性・透明性を高めるとともに、学校運営の改善、教育力の向上に資することを目的とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

(2)	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念・目標
(2)学校運営	(2)教育活動
(3)教育活動	(3)教育成果
(4)学修成果	(4)学生支援
(5)学生支援	(5)教育環境
(6)教育環境	(6)学生の募集と受け入れ
(7)学生の受入れ募集	(7)教職員組織、学校運営・管理、財務、法令等の遵守
(8)財務	(8)社会貢献・地域貢献、国際交流
(9)法令等の遵守	
(10)社会貢献・地域貢献	
(11)国際交流	

- ※(10)及び(11)については任意記載。
- (3)学校関係者評価結果の活用状況
- (1)から(8)までの評価項目に対して自己評価を行い、自己評価に対して各委員より多くの意見をいただいた。これらの意見は学校評価報告書にまとめ、学内並びに学校ホームページ上で公開し、情報の共有化を図っている。 学習環境・施設環境等の改善については、優先順位をつけて適宜対応している。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
青島 千枝美	柴田千枝美事務所 代表 (卒業生)	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	卒業生
浦田 友美	静岡デザイン専門学校 後援会 会長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	保護者代表
塚本 雅英	伝馬町発展会 会長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	近隣住民代表
杉原 徹	T Design 代表	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	企業等委員
松木 徳夫	株式会社 加減乗除 代表取締役	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	企業等委員
品川 誠二郎	株式会社大丸松坂屋百貨店 静岡店 人材開発部 マネージャー	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	企業等委員
	事務局		·
久保田 香里	静岡デザイン専門学校 校長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	学内委員
大場 厚始	静岡デザイン専門学校 教務課長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	学内委員
永峯 秀紀	静岡デザイン専門学校 教務課長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	学内委員
守谷 洋子	静岡デザイン専門学校 総務課長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	学内委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL:http://www.sdc.ac.jp 公表時期:令和4年6月30日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育活動、学校運営、学習成果等への理解を深めていただくため、「学校情報」並びに「学校評価報告書」をホームページ上で公開している。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	(1)学校概要、教育理念、教育目標
(2)各学科等の教育	(2)各学科の教育
(3)教職員	(3)教職員
(4)キャリア教育・実践的職業教育	(4)キャリア教育・実践的職業教育
(5)様々な教育活動・教育環境	(5)教育施設・設備、学校行事、様々な教育活動
(6)学生の生活支援	(6)学生の生活支援
(7)学生納付金・修学支援	(7)学生納付金・修学支援
(8)学校の財務	(8)学校の財務
(9)学校評価	(9)学校評価
(10)国際連携の状況	(10)国際連携の状況
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)

URL: http://www.sdc.ac.jp

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程インテリアデザイン学科) 令和4年度															
必		自由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講	演習	実験・実習	校		事 任	兼	企業等との連携
0			コミュニケーション活動I	有意義な学生生活を過ごすために、始業式、オリエンテーション、終業式、防災訓練、球技大会、観劇等をとおして、見聞を広げ、協調性を身につける。	1 · 通	60	2			0	0	Δ	0		
0			コミュニケーション活動Ⅱ	有意義な学生生活を過ごすために、始業式、オリエンテーション、終業式、防災訓練、球技大会、観劇等をとおして、 見聞を広げ、協調性を身につける。	2 • 通	60	2			0	0	Δ	0		
0			コミュニケーション活動皿	有意義な学生生活を過ごすために、始業式、オリエンテーション、終業式、防災訓練、球技大会、観劇等をとおして、 見聞を広げ、協調性を身につける。	3 · 通	60	2			0	0	Δ	0		
0			色彩学	色彩の基礎知識を学習し、理論的な色彩計画の提案・ブランを立てる手助けとする。また、インテリア・ライフスタイル デザインにも関連付けて学習する。色彩検定習得を目標とする。	1 · 前	60	2	0	Δ		0			0	
0			デザインアプリケーション I	デザインの現場で必須アプリであるデザイン系ソフト、 Illustrator、Photoshopの基本操作を習得する。	1 • 前	120	4	Δ		0	0			0	
0			デザインアプリケーション ΙΙ	Adobe ソフトを使用したグラフィックデザイン応用力の習得。プレゼンテーションツール(メインビジュアル・ロゴタイプ・パンフレットなど)の制作や指示ができるデザイナー育成を目指す。	2 • 通	30	1	Δ		0	0			0	
0			図学 I	遠近法を正しく理解し、物の形や、質感を正しく描写できる 技法を習得する。また、平面デザインにおける線・形・色彩 の構成を通して、視覚的効果について学ぶ。		120	4			0	0			0	
0			図学Ⅱ	理論的かつ実践的な空間造形力を身につける。グラフィック デザイン応用力の習得。クライアントを想定したコミュニ ケーションツールの製作を行う。		90	3			0	0			0	
0			構造力学	素材の特徴を捉えら上で、チカラの流れとカタチの関係を考え、模型で建物本体の構造について理解を深める。建築本体、建材、インテリア材料に掛かる積算方法を学ぶ。	· 通	90	3	0	Δ		0			0	
0			建築材料I	建材メーカーショールームの見学を行い、インテリア・建築の材料について理解を深める。建築物本体(木造)の構造について学び木材の特性、生産現場を調査する。		120	4	0	Δ		4	0	0	0	
0			建築材料Ⅱ	エクステリアプランナー検定3級に対応した作図、パース、プレゼン手法他、外部空間に伴う材料の基本知識などを身につける。素材の知識、加工法知識を学び、卒業制作の作品製作に繋げる。	3 • 通	120	4	0	Δ		0	4	0	0	
0			基礎製図I	インテリア空間を表現するためのパース手法、着彩手法を学ぶ。また建築 CAD検定3級取得に向けて、jw-CADの基本操作を学ぶ。インテリアコーディネーター一次試験合格に向け、建築・インテリアの基礎知識を学ぶ。	1 • 通	180	6	Δ	0		0		0		
0			基礎製図Ⅱ	手描きでのインテリアパーススキルの向上及び3DCADを使った三次元パースが描けるスキルを習得する。産学連携を主体とした実践的な計画を行う。	2 • 通	120	4		Δ	0	0		0		
0			基礎製図Ⅲ	2級建築士製図試験対策としての製図の練習方法を習得する。空間感覚、また作図手法を身につけ、手画きでのインテリアパースのさらなる向上を目指す。		90	3		Δ	0	0		0		
0			設計製図I	インテリア基礎製図の知識と表現力を身につける。	1 • 通	120	4		Δ	0	0			0	

	設計製図Ⅱ	らプランニングができるスキルを身につける。インテリア	-	180	6	0	Δ		0		0	0	
	環境工学	光や風の環境実験を通し、建物と環境の関係性について理解 を深める。立体造形演習を通じ、物や空間の立体的な認識・ 理解を深める。	1 • 通	120	4	0		Δ	0			0	
	一般構造			120	4	0		Δ	0	Δ		0	
	建築法規	建築行為を行うために守らなければならない法令の内容や具体的な数値を覚える。	2 • 通	30	1	0	Δ		0			0	
	建築生産	外部空間に関する材料・施工方法の知識を学ぶ。	2 • 通	30	1	0		Δ	0	Δ		0	
	建築設備	建築設備の用語、各種方式・概要・特徴を理解する。設備計 画の法令等の知識を習得する。	2 前	30	1	0	Δ		0			0	0
	ビジネスプラン	マーケティング・企画、収支計算など店舗づくりに必要なビ ジネスプランの基本要素を学ぶ。	2 • 通	30	1	0		Δ	0			0	
	ポートフォリオ制作 I	就職活動に備え、印象的なポートフォリオ制作の手法について学び製作を行う。	2 • 後	30	1	Δ		0	0			0	
	ポートフォリオ制作Ⅱ	就職活動に備え、印象的なポートフォリオ制作のさらなるブラッシュアップを行い、早期内定に繋げる。	3 • 前	30	1	Δ		0	0		0		
	建築計画			570	19			0	0	Δ	0	0	
	キャリアプラン	社会人してのビジネスマナーを身につけるため、ビジネス実務マナー検定3級を取得を目指す。社会に出て行く準備や、就職活動に向けた心構えを身につける。	2 • 通	30	1	0			0			0	
	産学連携プロジェクト I	企業・地域との外部連携では、実際の仕事の流れを体験する ことで、実践的な学びを得る。	1 • 前	30	1			0	0	Δ	0		
	産学連携プロジェクトⅡ	ことで、実践的な学びを得る。企業と連携することで、デザ	-	30	1			0	0	Δ	0		
	産学連携プロジェクトⅢ			60	2			0	0	Δ	0		
0	研修旅行	訪問先の国や地域での文化や生活に触れ、視野を広めるとと もに、異文化理解を深めることを目指す。		60	2			0		0	0		
0	色彩検定3級講座	色彩理論の基礎である配色法・伝達法・心理的作用等を確認 し、色彩検定3級合格を目指した演習を行なう。		30	1		0		0			0	
0	色彩検定 2 級講座	3級で学習する配色やイメージについてさらにレベルアップ。ファッションやインテリア、景観色彩など各分野でのカラーコーディネートについて学習し、色彩検定2級合格を目指す。		30	1		0		0			0	
0	色彩検定1級講座	色彩実務担当者として色彩設計に携わることができるレベル の内容を学習する。色彩検定 1 級合格を目指す。		30	1		0		0			0	
	0	□ 環境工学 一般構造 建築法規 建築生産 建築登備 ビジネスプラン ポートフォリオ制作 I ボートフォリオ制作 I ボートフォリオ制作 I を学連携プロジェクト I 産学連携プロジェクト I を学連携プロジェクト I を学連携プロジェクト I の 研修旅行 の 色彩検定3級講座	お計製図Ⅱ コーディイスター・一次試験合格に向け、選集・インテリアの基礎知識を学ぶ。 漫功度で学ぶ。 漫功度で学ぶ。 漫功度で学ぶ。 漫功度を学ぶ。 漫功度を学ぶ。 漫功度を学ぶ。 光や風の環境実験を選出、建物と環境の関係性について埋郷を深める。立体連形浴室を通じ、物や空間の互体的な認識・理解を深める。立体連形浴室を通じ、物や空間の互体的な認識・インテリアに繋がる歴史的機会と販売促発に繋がるWのの観点から作り出す店舗設計について学ぶ。 建築法規 建築行為を行うために守らなければならない法令の内容や具体的な数値を受える。 建築協会の用語、各種方式・概要・特徴を理解する。 建築設備の用語、各種方式・概要・特徴を理解する。 ボートフォリオ制作 対験活動に備え、印象的なポートフォリオ制作のきらなるブジネスブラン ジネスブランの基本要素を学ぶ。 ボートフォリオ制作 対験活動に備え、印象的なポートフォリオ制作のきらなるブッシュファップを行い、早期内定に繋げる。クライアントを指令させるブレゼン手法、ブランニング手法を学ぶ。 東京 世接計画 一個人テーマを開拓し、個名作品を表記させる。クライアントを指令させるブレゼン手法、ブランニング手法を学ぶ。 オャリアブラン 対会人してのビジネスマナーを身につける。か、クライアントを指令させるブレゼン手法、ブランニング手法を学ぶ。 オャリアブラン 対会人してのビジネスマナーを身につける。か、グライアントを対象活動に向けたの構えを身につける。 定学連携プロジェクト 企業・地域との外部連携では、実際の仕事の流れを体験することで、実践的な学びを得る。企業と連携することで、実践的な学びを得る。 企業・地域との外部連携では、実際の仕事の流れを体験することで、実践的な学びを得る。の第47アントが求める要件をで、実施はとの外部連携では、実際の仕事の流れを体験することで、実践的な学びを得る。のライアントが求める要件を対象に対象を構造を目指した実際を手をはあるとともに、美文の中ででするが表記をはるを発音を目出した。第5 次の中ででするの事件を通知の基礎である配を出ました。でまたいのアーコーディートについて学を見、色彩検定を最初音を目して、ファーコーディートについて学をし、色彩検定を最初音を目り、ファーコーディートについて学をし、色彩検定を必然音を目	設計製図1 コーディーター・一次観音作品に同じ、建築・インテリアの通過	設計製図目	設計製図	投計製製	のプランニングができるスキルを会につける。インテリアの	日本	放射製剤	お計製図目 コーディイック 100 0 0 0 0 0 0 0 0	独特報回	設計報回日

										1	
色彩検定UC級講座	色覚の多様性に配慮した、誰もが見やすい色使い、色のユニパーサルデザインについて学習する。色彩検定UC級合格を目指す。		30	1		0		0		0	
パーソナルカラー(モジュール I)講座			30	1		0		0		0	
パーソナルカラー(モジュール ΙΙ)講座			30	1		0		0		0	
ビジネス実務マナー検定講座	ビジネス社会の基本ルール (=職場常識) について学習する。ビジネス実務マナー検定合格を目指す。		30	1	0			0		0	
マンガ検定講座	マンガ表現の描画技術を磨き、豊かな表現力を養う。漫画能 力検定の合格を目指す。		30	1		0		0		0	
イラストレーター基礎講座	adobe Illustrator の基本的な使用方法について学習する。 POP制作等に展開できる力を養う。		30	1		0		0		0	
フォトショップ基礎講座	adobe `Photoshop の基本的な使用方法について学習する。写 真加工等に展開できる力を養う。		30	1		0		0		0	
イラストレーター検定講座	adobe Illustrator の基本的な使用方法及び様々な機能について学習する。Illustrator クリエイター能力認定試験合格を目指す。		30	1		0		0		0	
フォトショップ検定講座			30	1		0		0		0	
3DCAD基礎講座	機械系または建築系の3次元CADの基本的な使用方法について学習する。`3DCADを用いた設計の基本を学習し簡単な設計図の作成能力を身に付ける。		30	1		0		0		0	
2DCAD基礎講座			30	1		0		0		0	
SNS活用	マーケティングにおけるSNSの活用方法について、実践的に 学ぶ。同時にSNSを活用した顧客エンゲージメント向上につ いて考える。		30	1		0		0		0	
写真	シャッタースピード、絞り、被写界深度など、写真の基礎的 項目を学びながら、SNS等で発信する際のビジュアル表現に ついて演習を行なう。		30	1		0		0		0	
映像編集講座	映像撮影から、その編集方法までを学習する。同時に映像に よる効果的な演出方法について考え、マーケティングに活用 するための演習を行なう。		30	1		0		0	C)	
ビジネスアプリケーション	ビジネスシーンで一般的に用いられる、ワープロ・表計算ソフトの使用方法を学ぶ。表計算については、検定試験に挑戦する。		30	1		0		0	C)	
デッサン演習	デッサンカ向上を目的とした講座である。それぞれのモチーフに向き合い、物の形をとらえ、表現する基本的な力を養う。		30	1		0		0		0	
イラストレーション基礎	様々な画材を用いたイラストレーション手法について学ぶ。		30	1		0		0		0	
イラストレーション演習	イラストレーションの技術を活かした作品制作を行なう。		30	1		0		0		0	
	パーソナルカラー(モジュール II)講座 パーソナルカラー(モジュール II)講座 ビジネス実務マナー検定講座 マンガ検定講座 イラストレーター基礎講座 フォトショップ検定講座 3 D C A D 基礎講座 S N S 活用 写真 映像編集講座 ビジネスアプリケーション デッサン演習	トーサルデザインについて学習する。色彩検定US級合格を目指す。 バーツナルカラー(モジュール1)講座 バーツナルカラーに必要な色の基礎知識と、色を見分けるボイントを習得する。色彩技能パーツナルカラー検定モジュール1 (初級)合格を目指す。 ドジネス実務マナー検定講座 ビジネス実務マナー検定講座 ビジネス実務マナー検定講座 ロッカ検定講座 マンガ検定講座 イラストレーター基礎講座 ロッカ検定講座 ロッカ検定講座 ロッカ検定講座 ロッカ検定講座 ロッカ検定講座 ロッカ検定講座 ロッカ検定講座 ロッカ検に関節できる力を奏う。 フォトショッブ基礎講座 ロッカ検定講座 ロッカ検に関節できる力を奏う。 ロッカルコーチに展開できる力を奏う。 ロッカルコーチに展開できる力を奏う。 ロッカルコーチに展開できる力を奏う。 ロッカルコーチに展開できる力を奏う。 ロッカルコーチに展開できる力を奏う。 ロッカルコーチに展開できる力を表がな使用方法について学習する。ロッス・ドルコークー地が表述は極合格を目指す。ロッカルコーチに展開できる力を奏う。 ロッカストレーター検定講座 ロッカルコーチに展開できる力を奏う。 ロッカルコーチに表が様々な機能について学習する。Illustrator クリエイター能力認定試験合格を目指す。 ロッカールコンで学習する。Illustrator クリエイター能力認定試験合格を目指す。ロッカルカールト設計の基本を学習し簡単な設計を目前する。ロッカルカールト設計の基本を学習し簡単な設計図の作成能力を身に付ける。 ロッカースピード、絞り、被写界深度など、写真の基礎的の作成能力を身に付ける。ロット・クースピード、絞り、被写界深度など、写真の基礎的である。のいで考える。ロット・クースピード、絞り、被写界深度など、写真の基礎的である。マーケティングに対けるSMSの活用方法について、実践的に学ぶ、同時にNSを活用した顧客エンゲージメントの上について考える。 ロット・クースピード、絞り、被写界深度など、写真の基礎的の手を学が、成別を行るう。 ロット・クースピード、絞り、被写界深度など、写真の基礎的にであえる。 ロット・クースピード、絞り、被写界深度など、写真の基礎的にであえる。 ロット・クースピード、絞り、はずりを表現にある。それぞれのエーチを表の演習を行るう。 ロット・クースピート、検に観を目が表現については、検定試験に提取する。 ロット・ファット・ファット・ファット・ファット・ファット・ファット・ファット・ファ	他多検定UC級議座 バーツナルカラーに必要な色の基礎知識と、色を見分けるボイントを習得する。他野技能パーツナルカラー検定をジュール I (相) (別) 合格を目指す。 バーツナルカラー(モジュール I) 講座 バーツナルカラー(モジュール I) 講座 大阪にバーツナルカラー診断を行なうために必要な色彩技能 バーツナルカラー(モジュール I) 講座 大阪にバーツナルカラー診断を行なうために必要な色彩技能 について学習する。他野技能パーツナルカラー検定をジュール I (中級) 合格を目指す。 ビジネス実務マナー検定講座 マンガ表現の描画技術を磨き、豊かな表現力を養う。漫画能力検定の合格を目指す。 マンガ表現の描画技術を磨き、豊かな表現力を養う。漫画能力検定の合格を目指す。 マンガ表現の描画技術を磨き、豊かな表現力を養う。漫画能力検定の合格を目指す。 マンガ表現の描画技術を磨き、豊かな変現力を養う。漫画能力検定の合格を目指す。 マンガ表現の描画技術を磨き、豊かな変現力を養う。漫画能力検定の合格を目指す。 コオトショップ基礎講座 は他的・「Photoshop の基本的な使用方法について学習する。写真加工等に展開できる力を美う。 マンオトショップ検定講座 は他ができる力を美力。 コオトショップ検定講座 は他がまずる。Illustrator クリエイター能力設定試験合格を目指す。 コナトショップ検定講座 は他が表示を見まれている基本的な使用方法とび様々な機能について学習する。Illustrator クリエイター能力認定試験合格を目指す。 コナトショップ検定講座 は他素または建築系の3次元CADの基本的な使用方法について学習する。200ADを用いた設計の基本を学習し簡単な設計図の作成能力を身に付ける。 地域系または建築系の3次元CADの基本的な使用方法について学習する。200ADを用いた設計の基本を学習し簡単な設計図の作成能力を身に付ける。 地域系書たは建築系の2次元CADの基本的な使用方法について学者の4の形式を発出した認識をエグデージメント向上について学者の5、同時に影響をアルファル表現について漢書を介が5、別等で発信する際のピジュアル表現について漢書を介が5、同時に影響をエグデージメントの上に同じ用いられる、ワープロ・表計業リフトの企画が表示が表示していまえ、マーケティングに活力ないついて、検定額続に挑戦する6。 ビジネスアプリケーション ビジネスアプリケーション ビジネスアプリケーション ビジネスアプリケーション ビジネスアプリケーション ビジネスアプリケーション ボタインの使用がよる手が、表が異する基本的な力を養力。のの影をとらえ、表現する基本的な力を養力。		### (パーナルデザインについて宇宙する。色彩検定の核合格を目 指す。	 企彩核定UC熱構度 バーナルデザインについて学習する。色彩核定収斂合格を目指す。 バーソナルカラーに必要な色の単磁知識と、色を見分けらポイントを習得する。色彩核能パーソナルカラー検定モジュール 1 (初級) 合格を目指す。	 企影検定UC機構施 パーサルデザインについて学習する。色彩検定収益合格を目 30 1 ○ ○ パーソナルカラーに必要な色の基礎知識と、色を見分けられて イントを習得する。色彩技能パーソナルカラー検定でジュー パーソナルカラーに必要な色の基礎知識と、色を見分けられて イントを習得する。色彩技能パーソナルカラー検定でジュー ル 1 (初始)合格 自指す。 パーソナルカラーが勝を行なうために必要な色彩技能 について学習する。色彩技能パーソナルカラー検定でジュー ル 1 (中他)合格 を目指す。 ビジネス支機マナー検定講座 プンネス大会の基本ルール (一能場条素法) について学習する。 ビジネス大会様マナー検定信を目指す。 マンガ教定講座 カール (一能場条素法) について学習する。 グース大会の音楽ルール (一能場条素法) について学習する。 ビジネス大会様マナー検定合格を目指す。 オラストレーター基礎課産 が表定の信格を目指す。 かめた (旧はtrator の基本的な使用方法について学習する。 のが終件等に展開できる力を養力。 30 1 ○ ○ のが終件等に展開できる力を養力。 30 1 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	色彩検定UC級議権	(ペーサルカラーに必要な色の基礎知識と、色を見分では最も名を目 30 1 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	日初待文には議論

0	ファッションデザイン画	デザイン画を描くための基礎を学習する。絵を描く事の楽しさにふれ、自身のデザインを表現する為の技術を身につける。人体の構造を学び、プロポーションを正しく理解する。	30	1		0		0	0	
0	素材研究(金属)	身近ではあるが加工には特殊な技術が必要になる金属を実際 に加工し、素材としての金属の特性や特徴を理解する。	30	1		0		0		0
0	素材研究(革)	ファッションや雑貨に使われる素材の中から革に注目し、素 材としての特性や特徴を理解し、作品を制作する。	30	1		0		0		0
0	英会話講座	英会話の基礎を学ぶ。英会話を通じて、グローバル意識を育 み、積極的にコミュニケーションを図る力を養う。	30	1		0		0		0
0	中国語基礎講座	中国語の基礎並びに中国文化について学習し国際理解を深める。また、中国語による基本的な接客用語を学び、外国人旅行客に対応した接客力を身に付ける。	30	1		0		0		0
0	韓国語基礎講座	韓国語の基礎ならびに韓国文化について学習し国際理解を深める。また、韓国語による基本的な接客用語を学び、外国人旅行客に対応した接客力を身に付ける。	30	1		0		0		0
0	心理学	心理学の基礎を学ぶことで、人の成長・発達と心理との関係、日常生活と心の健康との関係などについて理解する	30	1	0			0		0
0	アロマテラピー	アロマテラビーの正しい基礎知識を学ぶ。癒しや美容に係わる仕事を視野に入れ、ビューティー&ヘルスケアの知識を深める。	30	1		0		0		0
0	茶道	日本の伝統芸術茶道を通して、自然との関わり方を学ぶ。	30	1			0	0		0
0	華道	日本の伝統芸術華道を通して、自然との関わり方を学ぶ。	30	1			0	0		0
0	コピーライティング講座	情報発信をする際の言葉を創作する力を身につける。言葉によって興味を引き付ける方法を考え、創作し、発信するまでの過程を経験する。	30	1		0		0		0
0	ラッピング講座	商業ラッピングの基礎知識を身に付け、慶弔贈答の基本的な 包装ができるようになることを目的とする。	30	1		0		0		0
0	服飾造形基礎	人体構造や原型についての基礎知識を学び、縫製についての 基礎、応用を習得する。洋服の修繕について実践も行なう。	30	1		0		0		0
0	知的所有権講座	著作権、意匠権、商標権、不正競争防止法等の事例や法令を 通して、知的所有権に関する基本的な概念について学びま す。	30	1	0			0		0
0	フラワーアレンジメント講座	フラワー業界の概要について学ぶとともに、様々なデザイン やスタイルのバリエーションのアレンジメントを制作できる よう、生花を主に演習する。	30	1		0		0		0
0	モデルウォーキング	ファッションショーを視野に入れ、モデルウォーキングを学ぶ。美しい立ち振る舞いについて研究し、SNS用の動画発信等の場面でも活かす。	30	1		0		0		0
0	セルフプロモーション講座	グループ演習を通して、自分自身をプレゼンテーションする 能力の向上を目指す。	30	1		0		0		0
0	作品制作	自らの目的に合ったデザイン作品の制作を行なう講座である。ポートフォリオ作品の充実を目指す。	30	1			0	0		0

○ 数数講座 試報課金に同け、自己分析を存在し、キャリア型社を行なう。 30 1 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○														
○ 地域連携プロジェクト活動 地域団体主催のプロジェクト活動に、機械的に参加する。 30 1 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	0	就職講座			30	1		0		0			0	
○ 資格取得議匿 I デザインに関する資格取得に挑戦し、自らのキャリアアップ 30 1 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	0	デザインプロジェクト活動	デザインのチカラを活かしたプロジェクト活動を行なう。		30	1			0	0			0	
C つ	0	地域連携プロジェクト活動	地域団体主催のプロジェクト活動に、継続的に参加する。		30	1			0		0		0	
○ 日本の本・リアアップにつなげる。	0	資格取得講座 I			30	1		0		0			0	
おり食く共存できる社会の実現について考え実践する。	0	資格取得講座Ⅱ			30	1		0		0			0	
○ ボランティア活動 1 ティアマインドを体得し、人間性やコミュニケーションの向 1 ○ </td <td>0</td> <td>SDGs推進プロジェクト</td> <td></td> <td></td> <td>30</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td>	0	SDGs推進プロジェクト			30	1			0	0			0	
○ ボランティア活動Ⅱ ディアマインドを体得し、人間性やコミュニケーションの向 上を図る。 30 1 ○ <	0	ボランティア活動 I	ティアマインドを体得し、人間性やコミュニケーションの向		60	2			0		0	0		
○ インターンシップ I 行なう。デザイン・ファッション業界の現場をりあるに経験する。 60 2 ○ <td< td=""><td>0</td><td>ボランティア活動Ⅱ</td><td>ティアマインドを体得し、人間性やコミュニケーションの向</td><td></td><td>30</td><td>1</td><td></td><td></td><td>0</td><td></td><td>0</td><td>0</td><td></td><td></td></td<>	0	ボランティア活動Ⅱ	ティアマインドを体得し、人間性やコミュニケーションの向		30	1			0		0	0		
○ インターンシップⅡ プ)を行なう。デザイン・ファッション業界の現場をりある (E経験する。 30 1 ○	0	インターンシップ I	行なう。デザイン・ファッション業界の現場をりあるに経験		60	2			0		0	0		
日本ヤレンジプログラム I 繋がるイベントにチャレンジするプログラム。 30 I 0 O 0 O 日本ヤレンジプログラム II 外部コンテストや、企業とのコラボレーション、地域貢献に繋がるイベントにチャレンジするプログラム。 30 I 0 O 0 O 日本ヤレンジプログラム II 外部コンテストや、企業とのコラボレーション、地域貢献に繋がるイベントにチャレンジするプログラム。 30 I 0 O 0 O 日本ヤレンジプログラム IV 外部コンテストや、企業とのコラボレーション、地域貢献に繋がるイベントにチャレンジするプログラム。 30 I 0 O 0 O 日本ヤレンジプログラム IV 外部コンテストや、企業とのコラボレーション、地域貢献に繋がるイベントにチャレンジするプログラム。 30 I 0 O 0 O	0	インターンシップⅡ	プ)を行なう。デザイン・ファッション業界の現場をりある		30	1			0		0	0		
○ チャレンジプログラムⅡ 繋がるイベントにチャレンジするプログラム。 30 1 ○	0	チャレンジプログラム I			30	1			0	0		0	0	
O チャレンジプログラムII 繋がるイベントにチャレンジするプログラム。 30 I O O O O O O O O O O O O O O O O O O O	0	チャレンジプログラムⅡ			30	1			0	0		0	0	
O チャレンジプログラムIV 繋がるイベントにチャレンジするプログラム。 30 I O O O O O O O O O O O O O O O O O O O	0	チャレンジプログラムⅢ			30	1			0	0		0	0	
マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マ	0	チャレンジプログラムⅣ			30	1			0	0		0	0	
合計 84科目 2910単位時間(97単位)	0	チャレンジプログラムⅤ			30	1			0	0		0	0	
		合計	84科目	<u> </u>			<u> </u>	29	I 910È	単位に	持間	(9	7単	位)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
必須科目の成績評価において不可(評価点60点未満)がなく、年間出席時限数が年間消化時間の85%以上	1 学年の学期区分	2期
であり、学納金が未納でないこと。	1 学期の授業期間	18週

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

⁽留意事項)
1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

令和4年6月28日※1 (前回公表年月日:令和3年6月28日)

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月	日 校:	長名			所在地			
静岡デザイン専	門学校	昭和51年3月30	日 久保田	· 香里	〒420−0	839 静岡県静 (電話) 054-252	岡市葵区鷹匠2丁目19番 2-1766	\$15号		
設置者名	1	設立認可年月	日 代表	者名		(电面) 004 202	所在地			
学校法人 静岡理工科:		昭和27年3月31	日杉浦	哲	∓ 420−8	538 静岡県静 (電話) 054-200	岡市葵区相生町12番18∙)-3333	号		
分野	訊	定課程名		認定学	科名		専門士		高度	専門士
文化・教養		教養 専門課程		フラワーテ			平成27年文部省告 第14号			
学科の目的	デッサン とする。	や色の知識を習得					たる幅広い学習をする。 と業をはじめとするフラワ			
認定年月日	平成28年									
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数		講義		演習	実習		実験	実技
2 年	昼間	1950時間	42	0時間		1080時間	450時間		0時間	0時間 単位時間
生徒総定	員	生徒実員	留学生数	(生徒実員の内	專	任教員数	兼任教員数		総	教員数
40人		38人	0	人		4人	25人		2	29人
学期制度		4月1日~9月30 10月1日~3月31日				成績評価	■成績表: ■成績評価の基準・方: 学期末までに課題提出 等を合わせ、60点以上:	または		平素の授業態度
長期休み	■夏	台:4月1日~4月11 ≶:7月28日~8月2 ≶:12月23日~1月 末:3月15日~3月3	9日 5日			卒業·進級 条件	■必須科目の成績評価 ■年間出席時限数が年 ■学納金が未納でない	F間消化		6以上であること
学修支援等	■個別相 新入生に な面談を	担任制: 目談・指導等の対応対する個別面談を 行い、学業の進捗や りしている。	始めとして、在校			課外活動	■課外活動の種類 国内研修旅行、海外研 校内球技大会、ハロウィ 活動等 ■サークル活動:	ィンイベ		
就職等の 状況※2	フローリンフラワー! ■ 就職 ** ■ 就職 ** ■ 就職 ** ■ 就職 ** ■ 本	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	フープランナー、 企業とのマッチン な導、履歴書指導 22 21 20 95.2 割合 90.9	クを行う。 、インターンシッフ		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その(令和36年度 を	O他・R 可以 種 ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ○ <td>間検定等 和4年5月1日時点 受験者数 21 人 1人 21人 21人 22人 13人 こついて、以下 同時にこ受験者 デフーンコン名</td> <td>合格者数 19人 1人 21人 18人 18人 12人 の①~③のいず 能なもの 格を取得するもの 動 関賞 021</td>	間検定等 和4年5月1日時点 受験者数 21 人 1人 21人 21人 22人 13人 こついて、以下 同時にこ受験者 デフーンコン名	合格者数 19人 1人 21人 18人 18人 12人 の①~③のいず 能なもの 格を取得するもの 動 関賞 021
中途退学 の現状	令和3年4 令和4年3 ■中途3 ■中退0 ・休んだ3 ・日頃か	4月1日時点において 3月31日時点におい 退学の主な理由 方止・中退者支援の 当日に本人もしくはに るの声掛け、定期的	て、在学者36名(のための取組 自宅に連絡し、状 な面談を行い、学	3和3年4月1 令和4年3月 記を把握する でまる。	日入学者で 31日卒業を る。 ・スク	を含む) 者を含む) クールカウンセラー	・による個別相談に応じてし			
経済的支援 制度	•特待生 特待生	::授業料全額免除 実践教育訓練給付	柒 準特待生A∶± ∵ 非給付対象	受業料の50	%免除 🤄	集特待生B∶授業	料の25%免除 準特待生	±C∶授	業料100, 0	00円免除
第三者による 学校評価	※有の均	D評価機関等から 易合、例えば以下! 体、受審年月、評	こついて任意記		載したホー	-ムページURL)				

当該学科の ホームページ URI

http://www.sdc.ac.jp

(留意事項)

1 公表年月日(×1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映 した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

- 「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意 し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。
- (1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について
- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます
- ②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留 年」「資格取得」などを希望する者は含みません
- ③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をい います。
- ※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の 者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。
- (2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について
- ①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます
- ②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。
 (3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と 同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的 な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

フラワー業界に必要とされる知識・技術・業界マインドを教育課程に取り入れ、即戦力として活躍できる人材を育成するために、教育 課程編成委員会を開催し、業界人、企業等の関係者の意見を踏まえ授業科目および授業時間の見直しを検討する。また、教育内 容は業界のニーズにマッチするように常に見直し、教育課程およびシラバスの内容を改善している。

- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

企業関係者と学校職員が連携して教育課程の評価と改訂を適切に行い、教育内容及び学校運営の改善と向上を図る ことにより、実践的な職業専門教育を行う教育課程を編成することを目的とする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年6月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
竹崎 亨	一般社団法人 花の国日本協議会理事 株式会社イーフローラ 代表取締役	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	1
田代 穏徳	フィオーレ田代 代表取締役	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	3
青山 孝好	株式会社 するが花き 代表取締役	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	3
佐野 純子	クリエイティブアートフラワーデザインスクール学院長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	3
久保田 香里	静岡デザイン専門学校 校長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
保科 康浩	静岡デザイン専門学校 教務課長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
大場 厚始	静岡デザイン専門学校 教務課長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	
鈴木 裕美	静岡デザイン専門学校 フラワーデザイン科 学科長	令和3年4月1日~ 令和4年3月31日	

- ※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
- (年間の開催数及び開催時期)

年2回 (3月、8月)

(開催日時(実績))

第1回 令和3年8月3日(火) 16:30~17:30

第2回 令和4年3月29日(火) 16:30~17:30

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

授業計画(シラバス)の作成過程及び公表までの流れ

12月 ~ 次年度授業計画の策定

1月 ~ 担当教員への授業計画(シラバス)作成依頼・シラバステンプレート配布・シラバスガイドライン配布

2月 ~ 授業計画(シラバス)回収・チェック

3月 ~ 授業計画(シラバス)訂正・公表準備

4月 ~ 授業計画(シラバス)公表

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

生花店等の実際の業務に携わり、職業人としての基本行動を理解することができる連携先を選定している。また、学生の就職希望に繋げることが可能な連携先を選定している。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

実習前に研修先より受入表を作成し、生花店での基本的な店員の振舞いを知るための実習となるよう行っている。期間中または期間後に、担当教員が巡回し指導担当者と面会し、学生の学習状況を確認する。実習後に実習評価表等の報告を受け、担当教員が成績評価を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科 目 概 要	連携企業等
インターンシップ I	生化店や園云店、生化巾場寺、お化関連企業に出向さ研修先現場 において業務研修な5月間行う	(株KAZ企画 ㈱するが花き卸売市場 (株)辻雄貴空間研究所 ㈱花チュール 花のむらせ ㈱日比谷花壇

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

「静岡デザイン専門学校 教員研修規程」を定めており、規定に基づき、教員の資質向上、専門分野における知識・技能の向上を図るために「専攻分野における実務に関する研修」及び「指導力の修得・向上のための研修」と認められる研修をリサーチし、計画的に参加している。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名 フラワービジネス講座(連携企業等:日本フローラルマーケティング協会)

期間:令和3年5月~11月の間の対象:フラワー業界従事者

内容:フラワー業界のマーケティングについてのセミナーを受講し、今後の指導に役立てる

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「ファッション業界の転換点を支える 3D デザイン」(一般社団法人ファッションデザインエンジニアリング協会主

催)

期間: 令和3年9月30日 対象: ファッション業界関係者

内容:ファッション業界における3D 技術の活用と、検定試験について

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名 フラワービジネス講座(連携企業等:日本フローラルマーケティング協会)

期間:2022年5月~6月 対象:フラワー業界従事者

内容:フラワー業界のマーケティングについてのセミナーを受講し、今後の指導に役立てる

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「指導力向上研修」学校法人静岡理工科大学専門学校グループ主催

期間:未定 対象:学校所属全教員

内容:学生指導にあたっての指導力向上のための研修を行なう。具体的な内容は、今後検討する。

- 4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係
- (1)学校関係者評価の基本方針

「静岡デザイン専門学校 学校関係者評価委員会規約」に則り、本委員会は、本校の教育活動や自己評価結果について、自己評価の客観性・透明性を高めるとともに、学校運営の改善、教育力の向上に資することを目的とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

(2) 寺修子校に307る子校計画カイドノイン」	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念•目標
(2)学校運営	(2)教育活動
(3)教育活動	(3)教育成果
(4)学修成果	(4)学生支援
(5)学生支援	(5)教育環境
(6)教育環境	(6)学生の募集と受け入れ
(7)学生の受入れ募集	(7)教職員組織、学校運営・管理、財務、法令等の遵守
(8)財務	(8)社会貢献・地域貢献、国際交流
(9)法令等の遵守	
(10)社会貢献・地域貢献	
(11)国際交流	

- ※(10)及び(11)については任意記載。
- (3)学校関係者評価結果の活用状況
- (1)から(8)までの評価項目に対して自己評価を行い、自己評価に対して各委員より多くの意見をいただいた。これらの意見は学校評価報告書にまとめ、学内並びに学校ホームページ上で公開し、情報の共有化を図っている。 学習環境・施設環境等の改善については、優先順位をつけて適宜対応している。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
青島 千枝美	柴田千枝美事務所 代表 (卒業生)	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	卒業生
浦田 友美	静岡デザイン専門学校 後援会 会長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	保護者代表
塚本 雅英	伝馬町発展会 会長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	近隣住民代表
杉原 徹	T Design 代表	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	企業等委員
松木 徳夫	株式会社 加減乗除 代表取締役	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	企業等委員
品川 誠二郎	株式会社大丸松坂屋百貨店 静岡店 人材開発部 マネージャー	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	企業等委員
	事務局		
久保田 香里	静岡デザイン専門学校 校長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	学内委員
大場 厚始	静岡デザイン専門学校 教務課長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	学内委員
永峯 秀紀	静岡デザイン専門学校 教務課長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	学内委員
守谷 洋子	静岡デザイン専門学校 総務課長	令和4年4月1日~ 令和5年3月31日	学内委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL:http://www.sdc.ac.jp 公表時期:令和4年6月30日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育活動、学校運営、学習成果等への理解を深めていただくため、「学校情報」並びに「学校評価報告書」をホームページ上で公開している。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	(1)学校概要、教育理念、教育目標
(2)各学科等の教育	(2)各学科の教育
(3)教職員	(3)教職員
(4)キャリア教育・実践的職業教育	(4)キャリア教育・実践的職業教育
(5)様々な教育活動・教育環境	(5)教育施設・設備、学校行事、様々な教育活動
(6)学生の生活支援	(6)学生の生活支援
(7)学生納付金・修学支援	(7)学生納付金・修学支援
(8)学校の財務	(8)学校の財務
(9)学校評価	(9)学校評価
(10)国際連携の状況	(10)国際連携の状況
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)

URL: http://www.sdc.ac.jp

授業科目等の概要

			枚養 専門課程フラワーデザイン												
	分類	Į			西口	授		授	業方	法実	場	所	教.		企
	選択必修	由選	授業科目名	授業科目概要	当年次・学		単位数		演習	験・実習			専任	兼	業等との
0			コミュニケーション活動I	有意義な学生生活を過ごすために、始業式、オリエンテーション、終業式、防災訓練、球技大会、観劇等をとおして、 見聞を広げ、協調性を身に着ける。	1 • 通	60	2			0	0	Δ	0		
0			コミュニケーション活動Ⅱ	有意義な学生生活を過ごすために、始業式、オリエンテーション、終業式、防災訓練、球技大会、観劇等をとおして、 見聞を広げ、協調性を身に着ける。	2 • 通	60	2			0	0	Δ	0		
0			IT活用 I	パソコンリテラシー教育として、インターネット、表計算、 ワープロ、プレゼンテーションツールを使い自分の考えをま とめ発表することを学習する。	1 · 前	30	1		0	Δ	0			0	
0			IT活用Ⅱ	インターネット上のサービスを効率よく利用することや、 SNSに拠る情報発信について学ぶ。プレゼンテーションスキ ル向上に役立たせる。	2 · 後	30	1		0	Δ	0			0	
0			フラワーデザイン画 I	人に伝える手段としての『描くこと』を体得し、まずは対象 を正確に捉える技術を身に付ける。	1 · 通	30	1		0		0			0	
0			フラワーデザイン画 Ⅱ	人に伝える手段としての『描くこと』をより習慣化して体得する。実践的な対象を描くことにより仕事の上でも活用できる技術を身に付ける。		30	1		0		0			0	
0			デザイン発想・造形基礎実技 I	様々な創作活動に共通する基本的なデザイン感覚を身につける。また多くの素材や既存の作品に触れ、表現方法の幅を広げていく。		30	1		0	Δ	0		0	0	
0			デザイン発想・造形基礎実技 Ⅱ	1年次で学んだ素材知識をもとに、より幅のあるデザインに 発展させ、作品の質を向上し、完成度の高い制作をする。	2 · 通	30	1		0	Δ	0			0	
0			デザイン研究	フラワーアレンジメントをはじめ、様々な造形物をつくる際の発送の手がかりとなり、美的センスの良い作品づくりが出来るようになる。また、芸術作品の鑑賞方法が分かるようになる。	1 · 後	30	1		0		0		0		
0			デザインアプリケーション I	デザインの現場で必須アプリであるデザイン系ソフト、 Illustrator、Photoshopの基本操作を習得する。 ポートフォリオの制作スキルを身に付ける。	1 · 後	30	1		0		0			0	
0			デザインアプリケーションⅡ	PCを使用したグラフィックデザイン応用力の習得。専門スキルとの連動として、オリジナルフラワーショップのロゴデザインなどを行う。		30	1		0		0			0	
0			色彩学 I	色彩の知識を基礎に、顧客のニーズに応え、満足いただける アレンジや花束等をデザインする方法を学んでいく。また、 色の持つイメージと効果も学び、配色のコツを覚える。	1 • 前	60	2	0			0		0	0	
0			フラワーアレンジメント I	花を通して、高齢者施設等での植物のあり方や植物を介して 人と接することの役割を演習からが学ぶ。	1 · 通	##	4		0	0	0			0	
0			フラワーアレンジメントⅡ	生産者から消費者への広い花の業界の中で様々なデザインや スタイルのバリエーションのアレンジメントを制作できるよ う生花を主に、レッスン1から発展していく。		##	4		0	0	0			0	
0			フラワー装飾法 I	国家試験であるフラワー装飾技能検定3級合格を目指し、花 東やアレンジの基本を身につける。また、技能五輪出場者 は、2級合格を目指して訓練する。	1 • 通	30	1		0		0			0	

0	フラワー装飾法 Ⅱ	国家試験であるフラワー装飾技能検定3級合格を目指し、花東やアレンジの基本を身につける。また、技能五輪出場者は、2級合格を目指して訓練する。	2 • 後	60	2		0		0			0	
0	園芸 I	四季の植物の育て方と用土、肥料など園芸基礎を学ぶ事によりお客様からの園芸相談や商品解説を時代に合った方法、言葉で解説できるようになり、実習作業でより理解も深まるようになる。		90	3		0		0	Δ		0	
0	園芸Ⅱ	実店舗で実習する事で、店頭での対応、仕事内容が具体的に 理解でき、就職後即役立つことを学ぶ。	2 • 通	60	2		0		0	Δ		0	
0	エクステリアプランナー I	ェクステリア関する材料・施工方法等の知識を習得する。2 年次にエクステリアプランナー2級の資格合格を目指す。	1 · 通	30	1	0			0		0		
0	エクステリアプランナーⅡ	外部空間(エクステリア)に関する材料・施工方法等の知識を勉強し、他の授業での課題等に活かすとともに、エクステリア業界等の就職に有利になる。エクステリアプランナー2級の資格合格を目指す。		30	1	0	Δ		0		0		
0	空間表現	「自分の素材」をみつけ、理論的かつ実践的な「空間造形 力」を身につける。	1 • 通	30	1		0			0	0		
0	ガーデンデザイン	ガーデンデザインに限らず、エクステリア全般について紹介 し、エクステリアの仕事に必要な知識を得る。	2 • 前	30	1		0		0			0	
0	フラワービジネス論	フラワービジネスの基本知識の習得。産地生産、市場流通、 病害虫、法令の基礎的な知識を学ぶ。	1 • 後	90	3	0			0			0	
0	ブライダル基礎	ブライダルブランナーとして基礎知識を習得し、全日本ブライダル協会が主催する「ジュニアライセンス検定試験」取得を目指す。ブライダル施設の見学や現場のそれぞれの担当者の役割について学習し、テーブルマナーについて理解を深める。	1 • 通	90	3	0			0			0	
0	サービス接遇	サービス業とはどのようなものかを考え、ビジネスの場での サービス接遇というもの、顧客との接し方、具体的な考え 方・行動の仕方・会話方法などを学ぶ。	2 • 通	30	1	0			0		0		
0	接客マナー	人前でも臆することなく自信を持って堂々と話ができるようにし、美しい立ち居振る舞いができ、正しい滑舌、正しい敬語を使い、好印象を与える接客ができる。		30	1		0		0			0	
0	セールスプロモーション I	小売店舗における販売促進の基本的手法と重要さの理解でき、より集客につながる表現方法を習得する。	1 • 通	30	1		0		0			0	
0	セールスプロモーションⅡ	次世代のフラワーショップで販売する新商品の企画提案できる人材になる。就職した際に、様々な企画が提案でき、時代に合った、即戦力となるスタッフになる。プロモーションとマーケティングの関連の基礎。		60	2		0		0			0	
0	ラッピング装飾	商業ラッピングの基礎知識を身に付け慶弔贈答の基本的な包 装ができる。 「商業ラッピング3級検定試験」の合格を目指す。	1 • 後	30	1	0			0			0	
0	生け花	日本伝統の華道について学習する。流派は国風華道会・小 原・池坊・草月・古流松藤会。	1 · 後	30	1		0		0			0	
0	ショップマネージメントI	店舗運営に必要な売上・仕入と在庫、利益等、計数管理に関する基本知識を習得できる	1 • 前	30	1		0		0			0	
0	ショップマネージメントⅡ	店舗責任者・売場責任者として計数管理を応用し、品揃え・ 仕入・販促企画と連動した売上目標の設定から売上分析がで きる	2 • 通	30	1		0		0			0	
0	実習店舗	オリジナルショップを提案することを通し、会社の設立と経営について学習する。	2 • 通	60	2			0	0	0		0	

	キャリアプラン I	学生生活における心構えを身につける。さらに、コミュニ	l :	30	1	0			0			0	
	キャリアプランⅡ			30	1	0			0		0	0	
	インターンシップ I	生花店や園芸店、青果市場等、お花関連企業に出向き研修先 現場において業務研修を5日間行う。	2 · 前	60	2			0		0	0	0	0
	産学連携プロジェクトI	清水港フラワーショー及び、デザインアラモードのフラワー ショップの準備とフラワーショップ実習を行う。	1 · 通	30	1		Δ	0	0	Δ	0	0	
	産学連携プロジェクトⅡ	地域での対外イベントに参加するを通し、コミュニケーション能力の向上、責任感を持って行動することを学ぶ。	2 • 通	30	1		Δ	0	Δ	0	0	0	
	卒業制作	学生としての集大成。自分自身の勉強した事柄全てを一つの 作品にこめて作ることで2年間の実力を知る。	2 · 通	90	3		Δ	0	0			0	
0	研修旅行	訪問先の国や地域での文化や生活に触れ、視野を広めるとと もに、異文化理解を深めることを目指す。		60	2			0		0	0		
0	色彩検定3級講座	色彩理論の基礎である配色法・伝達法・心理的作用等を確認 し、色彩検定3級合格を目指した演習を行なう。		30	1		0		0			0	
0	色彩検定 2 級講座	プ。ファッションやインテリア、景観色彩など各分野でのカ		30	1		0		0			0	
0	色彩検定1級講座	色彩実務担当者として色彩設計に携わることができるレベル の内容を学習する。色彩検定 1 級合格を目指す。		30	1		0		0			0	
0	色彩検定UC級講座			30	1		0		0			0	
0	パーソナルカラー(モジュール I)講座			30	1		0		0			0	
0	パーソナルカラー(モジュール ΙΙ)講座			30	1		0		0			0	
0	ビジネス実務マナー検定講座	ビジネス社会の基本ルール (=職場常識) について学習する。ビジネス実務マナー検定合格を目指す。		30	1	0			0			0	
0	マンガ検定講座	マンガ表現の描画技術を磨き、豊かな表現力を養う。漫画能 力検定の合格を目指す。		30	1		0		0			0	
0	イラストレーター基礎講座	adobe Illustratorの基本的な使用方法について学習する。 POP制作等に展開できる力を養う。		30	1		0		0			0	
0	フォトショップ基礎講座	adobe `Photoshopの基本的な使用方法について学習する。写 真加工等に展開できる力を養う。		30	1		0		0			0	
0	イラストレーター検定講座			30	1		0		0			0	
		キャリアプランⅡ インターンシップ I 産学連携プロジェクト I 産学連携プロジェクト II 卒業制作 〇 色彩検定3級講座 〇 色彩検定1級講座 〇 色彩検定UC級講座 〇 パーソナルカラー(モジュール I) 講座 〇 パーソナルカラー(モジュール II) 講座 〇 パーソナルカラー(モジュール II) 講座 〇 イラストレーター基礎講座 〇 フォトショップ基礎講座 〇 フォトショップ基礎講座	# キャリアブラン I		# キャリアブラン I	キャリアブランI	# キャリアプラン I 学生生活におけるの情况を食化この音の表別語における面積を	# キャリアプラン I 学生活法に対する機大を向につける。まるに、3 30 1 0 1 0 1 0 1 1 0 1 1 0 1 1 0 1 1 1 0 1	### キャリアプラン I 学生生活における心臓、表別につける。さらに、コミュニーケーシュンがのを強化し、今後の歌劇は満面における回激に関 通 30 1 ○ □ コミュニケーションがの性化を基限、自己アビールを実践で で設置する。と参えとしてのマナーを身につけ、社会に出る 全 第 30 1 ○ □ □ 日本リアプラン II 早在地下棚里走、青泉市場等。お宅間達企業に出向き研修者 前 30 1 □ □ □ 産学連携プロジェクト II 別派港フラワーショー及び、デザインアラモードのフラワー 1 30 1 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	キャリアブランI	# キャリアブラン1	# キャリアブラン I 学生生活におけるの構造を向につける。含らに、うまに、うまに、	キャリアブラン1

0	フォトショップ検定講座	adobe Illustratorの基本的な使用方法及び様々な機能について学習する。Illustratorクリエイター能力認定試験合格を目指す。	30	1		0	0	(0
0	3DCAD基礎講座	機械系または建築系の3次元CADの基本的な使用方法について学習する。、3DCADを用いた設計の基本を学習し簡単な設計図の作成能力を身に付ける。	30	1		0	0	(0
0	2DCAD基礎講座	機械系または建築系の2次元CADの基本的な使用方法について学習する。CADを用いた設計の基本を学習し簡単な設計図の作成能力を身に付ける。	30	1		0	0	(0
0	SNS活用	マーケティングにおけるSNSの活用方法について、実践的に 学ぶ。同時にSNSを活用した顧客エンゲージメント向上につ いて考える。	30	1		0	0	(0
0	写真	シャッタースピード、絞り、被写界深度など、写真の基礎的 項目を学びながら、SNS等で発信する際のビジュアル表現に ついて演習を行なう。	30	1		0	0	(0
0	映像編集講座	映像撮影から、その編集方法までを学習する。同時に映像による効果的な演出方法について考え、マーケティングに活用するための演習を行なう。	30	1		0	0	0	
0	ビジネスアプリケーション	ビジネスシーンで一般的に用いられる、ワープロ・表計算ソフトの使用方法を学ぶ。表計算については、検定試験に挑戦する。	30	1		0	0	0	
0	デッサン演習	デッサンカ向上を目的とした講座である。それぞれのモチーフに向き合い、物の形をとらえ、表現する基本的な力を養う。	30	1		0	0	(0
0	イラストレーション基礎	様々な画材を用いたイラストレーション手法について学ぶ。	30	1		0	0	(0
0	イラストレーション演習	イラストレーションの技術を活かした作品制作を行なう。	30	1		0	0	(0
0	ファッションデザイン画	デザイン画を描くための基礎を学習する。絵を描く事の楽しさにふれ、自身のデザインを表現する為の技術を身につける。人体の構造を学び、プロポーションを正しく理解する。	30	1		0	0	0	
0	素材研究(金属)	身近ではあるが加工には特殊な技術が必要になる金属を実際 に加工し、素材としての金属の特性や特徴を理解する。	30	1		0	0	(0
0	素材研究(革)	ファッションや雑貨に使われる素材の中から革に注目し、素 材としての特性や特徴を理解し、作品を制作する。	30	1		0	0	(0
0	英会話講座	英会話の基礎を学ぶ。英会話を通じて、グローバル意識を育 み、積極的にコミュニケーションを図る力を養う。	30	1		0	0	(0
0	中国語基礎講座	中国語の基礎並びに中国文化について学習し国際理解を深める。また、中国語による基本的な接客用語を学び、外国人旅行客に対応した接客力を身に付ける。	30	1		0	0	(0
0	韓国語基礎講座	韓国語の基礎ならびに韓国文化について学習し国際理解を深める。また、韓国語による基本的な接客用語を学び、外国人旅行客に対応した接客力を身に付ける。	30	1		0	0	(0
0	心理学	心理学の基礎を学ぶことで、人の成長・発達と心理との関係、日常生活と心の健康との関係などについて理解する	30	1	0		0	(0
0	アロマテラピー	アロマテラピーの正しい基礎知識を学ぶ。癒しや美容に係わる仕事を視野に入れ、ビューティー&ヘルスケアの知識を深める。	30	1		0	0	(0

0	<u>茶</u> 道	日本の伝統芸術茶道を通して、自然との関わり方を学ぶ。	30	1			0	0			0	
	米坦	日本の伝統云帆米坦を通じて、日然この関わり力を子か。	30									_
0	華道	日本の伝統芸術華道を通して、自然との関わり方を学ぶ。	30	1			0	0			0	
0	コピーライティング講座	情報発信をする際の言葉を創作する力を身につける。言葉によって興味を引き付ける方法を考え、創作し、発信するまでの過程を経験する。	30	1		0		0			0	
0	ラッピング講座	商業ラッピングの基礎知識を身に付け、慶弔贈答の基本的な 包装ができるようになることを目的とする。	30	1		0		0			0	
0	服飾造形基礎	人体構造や原型についての基礎知識を学び、縫製についての 基礎、応用を習得する。洋服の修繕について実践も行なう。	30	1		0		0			0	
0	知的所有権講座	著作権、意匠権、商標権、不正競争防止法等の事例や法令を 通して、知的所有権に関する基本的な概念について学びま す。	30	1	0			0			0	
0	フラワーアレンジメント講座	フラワー業界の概要について学ぶとともに、様々なデザイン やスタイルのパリエーションのアレンジメントを制作できる よう、生花を主に演習する。	30	1		0		0			0	
0	モデルウォーキング	ファッションショーを視野に入れ、モデルウォーキングを学ぶ。美しい立ち振る舞いについて研究し、SNS用の動画発信等の場面でも活かす。	30	1		0		0			0	
0	セルフプロモーション講座	グループ演習を通して、自分自身をプレゼンテーションする 能力の向上を目指す。	30	1		0		0			0	
0	作品制作	自らの目的に合ったデザイン作品の制作を行なう講座である。ポートフォリオ作品の充実を目指す。	30	1			0	0			0	
0	就職講座	就職活動に向け、自己分析を行ない、キャリア設計を行な う。同時に希望就職先に向けた対策を実施する。	30	1		0		0			0	
0	デザインプロジェクト活動	デザインのチカラを活かしたプロジェクト活動を行なう。	30	1			0	0			0	
0	地域連携プロジェクト活動	地域団体主催のプロジェクト活動に、継続的に参加する。	30	1			0		0		0	
0	資格取得講座 I	デザインに関する資格取得に挑戦し、自らのキャリアアップ につなげる。	30	1		0		0			0	
0	資格取得講座Ⅱ	ファッション・ビューティー分野に関する資格取得に挑戦 し、自らのキャリアアップにつなげる。	30	1		0		0			0	
0	SDGs推進プロジェクト	SDGs推進プロジェクト活動に継続的に参加し、人と環境がより良く共存できる社会の実現について考え実践する。	30	1			0	0			0	
0	ボランティア活動 I	地域のボランティア活動に継続的に参加することで、ボランティアマインドを体得し、人間性やコミュニケーションの向上を図る。	60	2			0		0	0		
0	ボランティア活動Ⅱ	地域のボランティア活動に継続的に参加することで、ボラン ティアマインドを体得し、人間性やコミュニケーションの向 上を図る。	30	1			0		0	0		

0	インターンシップ I	関連企業等にて、1週間の職場体験(インターンシップ)を 行なう。デザイン・ファッション業界の現場をりあるに経験 する。		60	2			0		0	0		
0	インターンシップⅡ	関連企業等にて、3日間程度の職場体験(インターンシップ)を行なう。デザイン・ファッション業界の現場をりあるに経験する。		30	1			0		0	0		
0	チャレンジプログラム I	外部コンテストや、企業とのコラボレーション、地域貢献に 繋がるイベントにチャレンジするプログラム。		30	1			0	0		0	0	
0	チャレンジプログラムⅡ	外部コンテストや、企業とのコラボレーション、地域貢献に 繋がるイベントにチャレンジするプログラム。		30	1			0	0		0	0	
0	チャレンジプログラムⅢ	外部コンテストや、企業とのコラボレーション、地域貢献に 繋がるイベントにチャレンジするプログラム。		30	1			0	0		0	0	
0	チャレンジプログラムⅣ	外部コンテストや、企業とのコラボレーション、地域貢献に 繋がるイベントにチャレンジするプログラム。		30	1			0	0		0	0	
0	チャレンジプログラムⅤ	外部コンテストや、企業とのコラボレーション、地域貢献に 繋がるイベントにチャレンジするプログラム。		30	1			0	0		0	0	
	合計 94科目 1950単位時間(65 単位)									位)			

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
十未安什及い腹修刀丛	1文本が1月寸	
必須科目の成績評価において不可(評価点60点未満)がなく、年間出席時限数が年間消化時間の85%以	1 学年の学期区分	2期
上であり、学納金が未納でないこと。	1学期の授業期間	18週

- |上でのり、子崎田県の小町によりこととこと。 (留意事項) 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について〇を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。